

日本看護系大学協議会 看護学教育質向上委員会
2020年度 COVID-19 に伴う看護学実習への影響調査
A 調査・B 調査報告書

2021年4月

目次

1. 調査の趣旨・目的	1 ページ
2. 調査方法	2 ページ
3. 分析方法	3 ページ
4. 調査結果	3 ページ
5. 新しい看護学実習とは	11 ページ
6. 最後に	12 ページ

調査データ

A 調査結果	13 ページ
B 調査結果	38 ページ
実習変更に伴う対応・工夫(代替え)	80 ページ

1. 調査の趣旨・目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、2020年1月以降、全国の看護系大学は臨地実習の中止、延期を余儀なくされ、その代替えとなる学内実習、遠隔実習等に切り替える準備に追われた。2月28日に新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設等の対応についての事務連絡(文部科学省・厚生労働省)が出され、6月1日には再度修正事務連絡があり、学校養成所等の運営に係る取り扱い、保健師助産師看護師国家試験の受験資格に係る取り扱いが示された。既に多くの大学からは、臨地実習ができない状況を受け止め、それに代わる様々な取り組みが実施されていることが伝えられていた。

2020年度新規に発足した看護学教育質向上委員会は、この現状を受け止め、2020年1月以降の臨地実習がどのように行われたのか、行われなかった場合どのような代替え方法で取り組んだのか、代替え実習は各大学が設けている臨地実習到達目標に達することができたのか、何が到達できて、そしてできない到達目標は何であったのか、などを調査することとした。

さらに、基礎看護学実習、各領域別看護学実習によっても、その臨地実習の可能性が異なることから、実習科目ごとの調査の必要性、加えて、コロナウイルス感染の第1波、第2波のどの時期から開始する実習であるかなど、コロナウイルス感染の状況によっても異なることから、どの時期の実態を知る調査かを分ける必要があり、2つの調査を実施することにした。また、この2つの調査には、専門領域実習を実際に動かしている教員の考え、管理者としての考えの両方を反映することも含まれていた。

この調査の素案は9月までに構想したものであるが、既にこの時期において、この1年、代替えで頑張れば、来年度以降は従来の臨地実習に戻るといった考えを持つ大学関係者はいなくなっていた。今後、With コロナ、Post コロナの中での、新しい実習体系の模索の必要性を認識していた。

以上のことから、コロナウイルス感染症によって、看護学実習はどのような影響を受けたのか、そしてどのような代替えを考え、実習科目を学生に提供したのか、これらを明らかにすることで、今後の新しい実習の在り方を検討する資料とすることを目的に会員校の皆様にご協力頂き、その結果をここに報告する。

尚、この調査は、日本私立看護系大学協会と合同で実施された調査である。

2. 調査方法

1) デザイン

横断調査、URL(質問紙)メール配信留め置き法

2) 対象

A調査: 日本看護系大学協議会会員校と日本私立看護系大学協会会員校の代表者

B調査: 日本看護系大学協議会会員校と日本私立看護系大学協会会員校が開講している各実習科目の担当責任者

3) 調査期間

2020年10月9日(金)～11月6日(金)延長期間含め

4) 調査内容

A調査:

- (1) 実習変更の有無: ①臨地の日数・時間の短縮の有無②臨地の実習時期の変更・延期の有無③臨地実習施設の変更の有無④学内実習への変更の有無⑤遠隔実習への変更の有無
- (2) 臨地実習を実施するにあたり、COVID-19 対策・調整について(学生指導について)
- (3) 感染予防のために実習施設と調整・確認していること
- (4) COVID-19 感染における看護学実習経費への影響
- (5) 実習に関連する経常経費予算の執行額の変化
- (6) COVID-19 に伴う看護学実習への影響についての自由記述

B調査

- (1) 担当の実習科目: ①実習科目名②開講学年③開講学期④実習開講時期⑤単位数⑥必修・選択⑦該当する専門領域
- (2) COVID-19 による担当実習科目の変更の有無
- (3) 実習科目の変更(有)の変更内容: ①変更決定時期②変更理由③変更した学生数④実習時期の変更の有無⑤実習時間の変更の有無⑥実習施設の変更の有無⑦実習施設毎の学生数の変更の有無⑧実習中止の有無⑨遠隔授業形式への変更の有無
- (4) 実習内容・方法変更の対応・工夫(代替え): ①シミュレーターの活用の有無②視聴覚教材の活用の有無③事例の活用の有無④実習指導者の招聘の有無⑤患者(看護の対象)の招聘の有無⑥XR(仮想現実 VR、拡張現実 AR、複合現実 MR)活用の有無
- (5) 学修体験の格差の是正の対応の有無、具体的対応方法、自由記述
- (6) 実習目標の達成状況: ①知識に関する到達状況②技術に関する到達状況③態度に関する到達状況④達成困難な到達目標について⑤具体的な到達目標記述
- (7) 実習形態の変更: ①実習形態②遠隔実習形式でよかったこと③学内実習形式によってよかったこと④具体的な工夫、実習到達目標に効果的であった取り組み記述
- (8) COVID-19 に伴う実習への影響について

3. 分析方法

記述統計

4. 調査結果

下記の結果は、日本看護系大学協議会会員校のみの結果である。

1)A 調査

2020年9月および10月以降に開講した臨地実習について、主には臨地実習の変更の有無、どのような変更のもとで実習が行われたか、領域によってその様相は異なるのかを調査した。さらに、臨地実習に向けて、学生に対する感染対策指導はどのようであったか、また、臨地実習施設と行った感染対策に関する調整はどのようなものであったかの実態である。

(1)回収率

全国で日本看護系大学協議会会員校は、2020年10月の時点で287校であった。回収率は247校86.1%で、回答した大学の内訳は、国立大学38校90.5%、公立大学43校86.0%、私立大学164校85.0%、省庁大学校2校100%であった。

(2)臨地実習の変更の有無

2020年9月以降に開講予定の、のべ実習開講科目は2,140科目で、そのうち変更なしは15.7%、変更有が83.4%であった。

実習形態の変更予定の上位3位は、在宅看護学、老年看護学、小児看護学の順であった。変更なしで実習を予定している割合が多かった領域は助産学であった。ブロック別で見ると、北海道・東北ブロックは変更なしで実習を予定している割合が24.6%と一番高く、関東は、変更なしが9.5%にとどまっていた。

(3)実習の変更(臨地の日数・1日の実習時間の短縮)

臨地における実習日数及び1日の臨地での実習時間の短縮が予定されていた。領域別にみると、成人看護学で変更なしは8.3%と一番少なく、助産学の変更なしの割合が28.1%と一番多かった。

(4)実習時期の変更および延期

実習時期の変更に関しては、変更なしで実施した割合が平均49.7%と約半分であり、変更有は4割であった。臨地での実習時期の変更や延期は、ブロック別で見ると北海道・東北、関東、関西・近畿、中国・四国で変更なしの割合が半数以上であるのに対し、九州・沖縄は変更有が50%を超えていた。中部は変更有・無が同程度であった。

(5)実習施設の変更

看護の統合と実践、助産学は実習施設の変更を半数以上で予定していたが、その他の領域は実習施設の変更を予定していない割合が高かった。ブロック別にみても、すべてのブロックで変更していない割合が多かった。

(6)学内実習への変更

学内実習への変更は、全体で約8割が予定をしていた。その中で、基礎看護学実習では、学内実習への変更なしが約25%、助産学実習では33%に及んでいた。

(7) 遠隔実習への変更

遠隔実習への変更の有無の割合は、約半々であった。領域別でみると遠隔への変更の割合が多い領域は、成人看護学、精神看護学、在宅看護学、看護の統合と実践、公衆衛生看護学実習であったのに対し、遠隔実習を取り入れていない割合が多い領域は、基礎看護学、老年看護学、母性看護学、小児看護学、助産学であった。ブロック別では、関東、中部、関西・近畿が、遠隔実習を取り入れた割合が多いブロックであり、北海道・東北、中国・四国、九州・沖縄が、遠隔実習を取り入れていない割合が多いブロックであった。特に中国・四国は7割で遠隔実習を取り入れていなかった。

(8) 臨地実習に向けての COVID-19 対策・調整について(学生指導として行ったこと)

感染対策における学生指導として、調査項目は24項目を挙げた。資料の表に示す項目で、9割以上の大学が学生に課した項目は、「感染拡大地域への移動自粛もしくは禁止」「課外活動の自粛もしくは禁止」「行事・集会への参加自粛もしくは禁止」「アルバイトの自粛もしくは禁止」「集団での飲食自粛もしくは禁止」「毎日の健康チェック」「体調不良・発熱時の大学への報告」「行動記録表のチェック」「健康管理(休息、運動、栄養)」「濃厚接触者、感染者が身近に発生した場合の大学への連絡」「予防接種の実施(インフルエンザ・小児感染症)」「実習に向けた感染予防オリエンテーション」「マスク着用・手洗いの奨励」「教室・実習室での感染対策」「学内更衣室での感染対策」「学内昼食場所での感染対策」「学生自習室での感染対策」であった。「PCR検査等の実施と実習施設への証明書の提出」は4割程度、「マスク、手指消毒剤等の購入推奨」「感染予防行動のための講話」「公共交通機関利用時の注意事項」は、8割前後であった。

(9) 臨地実習に向けての受け入れ施設との調整・確認について

COVID-19によってもたらされた、臨地実習受け入れ施設との調整・確認については、23項目から調整有り無しで調査を行った。この中で、大学と実習施設で調整・確認された項目のうち、9割以上の調整・確認のあった項目は、「学生の体調管理方法」「学生の実習可否判断基準(発熱・自覚症状、行動履歴)」「学生が感染者、濃厚接触者となった場合の対応」「学生の実習時間外の過ごし方」「感染防護用具の準備」であった。8割以上の調整・確認項目は、「受け入れ人数」「受け入れ日数」「実習時間(臨地での実習時間、開始時間、終了時間)」「使用病棟」「実習方法の調整(申し送りの参加、看護ケア方法、見学へ変更)」「カンファレンスの開催方法」「学生の記録場所の確保と3密対策」「学生の更衣場所の確保と3密対策」「学生の昼食場所の確保と3密対策」「学生が使用する更衣室・昼食場所の消毒」「実習施設への入室方法」が主な調整・確認であった。

(10) 実習で使用する COVID-19 感染防護用具の購入者について

調査では6感染防護用具の経費負担者について調査した。5感染防護用具については大学側が経費負担者になっていたが、使い捨て手袋に関しては、実習施設側が負担している割合が高かった。学生の負担は感染防護用具に関してはほぼなかったが、実習時のマスクに関しては、約3割の大学が学生に負担させていた。

(11) 実習に関連する経常経費予算の執行額の変化

6項目について調査を行った。「実習委託費」に関しては、減額と変化なしがほぼ同割合であった。「実習に伴う旅費」に関しても減額もしくは変化なしであった。「通信費」は変化なしと増額がほぼ同割合であった。「消耗品」「人件費」に関しては変化なしが一番多く、「教材費(書籍、視聴覚教材、実習室物品)」は増額した割合が約6割で、6項目の中で増額の割合が高かった。

(12) COVID-19に伴う看護学実習の影響についての自由記述:大きく5つにまとめることができた。

①新人看護師になることの不安:

- ・看護実践能力の修得不足(未熟な看護実践を患者に提供する)
- ・現4年生、3年生も臨地実習ができていない
- ・就職先病院等の看護教育の現状認識の不足および新人教育体制への心配
- ・卒業生に対する大学独自の追実習が必要ではないか

②コロナ禍での臨地実習の現状

- ・学生の直接ケアの制限(見学実習、シャドーイング、カンファレンスのみ)
- ・実践能力(対象把握能力、状況・患者の変化対応能力、社会性能力、コミュニケーション能力)の低下および看護職や多職種との連携・交渉能力の低下

③コロナ禍での実習に対する学生の反応

- ・やるべきではなかったという意見(感染する、家族との関係)
- ・オンライン実習は学生を疲弊させた。長い自粛による学生の体力低下
- ・アルバイト制限など2週間前行動制限。感染管理の厳格さ
- ・実習前、実習中の感染・体調管理教育で欠席者が減った
- ・コロナ感染対策のPPE、PCR検査などによる経費増大

④臨地実習のための調整

- ・教科科目(実習施設)による臨地実習の困難感
- ・実習に臨むための施設との調整に時間がかかりすぎ
- ・学内実習などにより準備、実習そのものの教員負担の増大(教育エフォートがさらに増加)
- ・学生間の不公平感(実習ができた学生・できない学生)
- ・学生が実習することへの病院への苦情、受け持ち拒否
- ・自大学に附属病院を持っている大学は、比較的実習ができています

⑤今後の臨地実習の在り方

- ・単発ではなく、継続的に臨地実習の在り方を考える必要がある
- ・臨地実習に対する具体的な体制作りの必要性
- ・学内と臨地の組み合わせ実習が、今後の実践力の育成にどう影響するか、経過を追う必要がある
- ・教員の教材作成能力が求められる
- ・ディプロマ・ポリシーの再評価が必要
- ・学内演習、実習の限界
- ・代替えはうまくいったのではないか(模擬患者、オンライン臨床講義、シミュレーション、電子カルテ形式)

2)B 調査

2020年1月～9月までに開講し終了した臨地実習について、実習科目責任者からそれぞれ回答いただいた結果である。各大学によって、実習科目名、科目数、科目時期も異なっていること、回答も自由意思に任されているため、N数は各領域によって必ずしも一致していない。B調査は主に、実習内容・方法の変更のほか、臨地実習の変更に伴う具体的な代替えの方法、また、学生による学修体験の格差の是正法、代替えに伴う実習目標の到達状況の結果、学内実習、遠隔実習のよかった点、実習施設との調整・確認についての結果である。

(1)担当実習科目の概要

回答者の担当実習科目の学年は、3年生あるいは4年生の科目が8割を占めていた。実習開講時期は、5月～9月の間に集中していた。実習単位数としては、2単位の実習が54.1%と半数を占め、ほとんどは必修科目であった。

(2) COVID-19 流行の社会的影響を受けたことによる、実習内容・方法の変更の有無

実習内容・方法の変更となった科目は 86.9%で、全く影響なく変更しなかった科目は 12.9%のみであった。

(3) 変更決定時期

実習科目の開講時期とも関係しているが、開講 1 か月以上前、開講 3-4 週間前には、実習内容の変更が決定していた実習科目が多かった。しかし小児看護学実習は、開講 1-2 週間前に決定した割合が 2 番目に多く、助産学は開講 1-2 週間、開講直前に変更を決定した割合が 40%近くとなっていた。

(4) 実習の変更理由

「実習施設の方針」による理由が最も多く、次いで「大学・学部・学科の方針」であった。「実習担当教員と実習施設の協議結果」という理由も 2 割程度であった。施設側の方針による変更の割合が特に多かった領域は、助産学実習、公衆衛生看護学実習であった。

(5) 変更の影響を受けた学生の割合

開講時期により、学生への影響に学生間で影響があるのではないかと考えられたが、履修者全員に影響があったと回答した割合が多かった。領域別に、成人看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学、在宅看護学では一部(5 割の学生)と回答する割合も 15%~19%あった。

(6) 実習内容・方法の変更(時期の変更・延期含む)

実習時期の変更があったのは、成人看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学、看護の統合と実践、助産学、公衆衛生看護学で、変更なしを上回っていた。変更なしは、基礎看護学、老年看護学、在宅看護学で多かった。しかし、変更の時期の有無に関しては、大きな差はなかった。

(7) 実習内容・方法の変更(臨地での実習時間の短縮)

全体の約 6 割の実習科目が実習時間の短縮をしていた。

(8) 実習内容・方法の変更(実習施設の変更)

6 領域においては、実習施設を変更していなかった割合が多かった。一方、変更有の割合が多かった領域は、老年看護学、在宅看護学、助産学実習であった。

(9) 実習内容・方法の変更(実習施設の学生受け入れ人数の縮小)

学生の受け入れ人数を縮小せず行われた実習科目が多かった。しかし、縮小有の実習科目の割合が多かったのは、基礎看護学、小児看護学、母性看護学であった。

(10) 実習内容・方法の変更(臨地での実習中止)

全領域で臨地実習の中止の割合は非常に多かった。しかし、臨地実習中止なしの割合が多かった領域は、基礎看護学、助産学実習、公衆衛生看護学実習であった。これらの実習科目に関しては 3 割強が中止なしで実施していた。

(11) 実習内容・方法の変更(学内実習への変更)

全領域において、約 8 割が学内実習へと変更していた。

(12) 実習内容・方法の変更(遠隔実習への変更)

遠隔授業形式の実習への変更は、約 6 割の実習科目で行っていた。しかし、領域別で見ると助産学実習は、約 3 割しか遠隔実習を行っていなかった。

(13) 実習内容・方法の変更に伴う代替えの実際

- ①シミュレーターの活用は、全体では 37.2%が活用したのみであった。その中で、母性看護学実習で 68.2%、助産学実習で 77.3%において、シミュレーターの活用が行われていた。シミュレーター活用が一番少ない領域は、精神看護学、公衆衛生看護学実習であった。
- ②視聴覚教材については、全体で 75.5%が活用されていた。市販の視聴覚教材、市販のものと教員作成の混合が多く活用されていた。
- ③事例の活用は、代替え実習の工夫として、80.1%が活用していた。教員が改めて作成した事例の活用が多く、次に既存の事例と教員作成の事例の組み合わせを活用していた。その中で、基礎看護学では事例の活用はしないという割合が約 30%であった。
- ④実習指導者の招聘に関しては、約 36%が活用していた。実習指導者を招聘している場合は、オンライン(ライブ配信、双方向型)で実施している割合が多かった。
- ⑤患者(看護の対象者)の招聘に関しては、全体で 13%のみが活用していた。患者の招聘は老年看護学、在宅看護学、公衆衛生看護学実習で多く行っており、オンライン(ライブ配信、双方型)が主に活用されていた。
- ⑥XR(仮想現実 VR、拡張現実 AR、複合現実 MR)の活用については 10.5%であり、約 1 割であった。市販のものよりも教員作成の教材が多く、成人看護学、助産学で主に活用されていた。ブロック別では、関西・近畿ブロックで多く活用していた。

(14) 自由記述(代替えをどのように行ったのか)

専門領域によって代替え方法は異なるのではないかとということで調査したが、対象や場所、看護計画立案による実践が異なるが、代替えするツールはほとんど変わらないことから、どのような目的のためにどのようなツールが工夫されて使われたかを示していく。

- ①臨地を知る、状況を知るという目的を達成するために、学内に病室等の再現をする、実習病院、実習先の動画撮影を行い、学生がそれを視聴していた。さらに臨場感を出すためにこれを 360 度カメラで撮影した VR の活用を行っていた。また、既存の実習先の案内動画があればそれを利用するということも行われていた。基礎看護学において、看護学生の実習日の 1 日の流れをビデオで視聴する。また、遠隔実習においても実習着の着用をすることで緊張感を持たせる試みが行われていた。
- ②専門職(看護職、その他多職種)を知るについては、領域のそれぞれの専門職、連携のある多職種を招聘し、オンラインによる講義、メッセージ(ライブ配信)、また、オンデマンド配信(教員の撮影)を行っていた。
- ③患者等の対象者の理解・コミュニケーション能力の向上において活用していたのは、模擬患者であった。模擬患者は様々であり、学生同士で模擬患者になる、教員や臨床経験のある大学院生がその役を演じる、あるいは専門の模擬患者を招聘していた。また、実際の患者を通じての患者理解、コミュニケーション能力を高める方法を工夫していた。その一つが、オンライン(iPad)による実際の患者とのコミュニケーションであり、教員と患者のやり取り(IC レコード記録)を学生が聴く、患者とのチャット機能による応答、面談、教員が出向き、LINE ビデオ機能を使って実施。できるだけ、実際の患者、家族、対象者、当事者とのリアルなコミュニケーションを可能にする努力が上記機能を使って行われていた。
- ④看護過程の展開(情報収集、アセスメント、計画立案、実施、評価)の代替えとして、市販の事例、学会協議会等の提示事例、教員自ら作成の事例、現在入院中・療養中の患者の情報(倫理承認・本人同意)から実施していた。それを 1 回にとどまらず、数例繰り返すことも実施されていた。特徴的だった

のが、1日の患者の変化をとらえることとして、経時的に患者情報を変える。経日的に患者の情報を変えることで、それに対応できるアセスメント能力を養う試みを実施していた例がある。このためにWEBカルテを作成し、その中から学生が経日的に経時変化をとらえることができるようにしていた。看護過程の展開に伴う実践は、模擬患者とのロールプレイ、模擬患者とのシミュレーション、寸劇シナリオなどを通して行っていた。さらに、看護計画立案→計画実施→評価(遠隔、学内とも)では、成人看護学、慢性看護学では、患者教育の実践(模擬患者等に対し)、老年看護学では、レクリエーション企画と実践(模擬患者)、評価として、ディブリーフィング(学生、教員、実習指導者)、頻回のカンファレンスをオンラインで実施し、その場に実習指導者が立ち会うこともあった。学生同士のグループワークのほかにジグソーグループワーク(学習同士の協力や教え合いを促進する共同学習)の活用、クラウド型教育支援サービスの活用、市販VR(シナリオ・ベースド)バーチャルシミュレーションなど、新しい学習方法や学習機器がこの時期に取り込まれていた。

- ⑤看護技術、実践能力等の代替えに関しては、学生の技術(注射)、模擬患者へのV/Sチェック実践などのビデオ撮影後にそのビデオ視聴を通じてのリフレクション、およびディブリーフィングにより、技術の向上を図る。VR:シャドーイング疑似体験(3次元)や、シミュレーション演習の動画教材(3次元)からのリフレクション、およびディブリーフィングの実施などがあった。また、シミュレーションでもタスク型シミュレーションからシナリオ型シミュレーション(助産学)の段階的实施による実践力の向上を図るなどがあった。

(15) 学生の学修体験の格差の是正について

学生の学修体験の格差に対する是正は、対応有と対応なしが約半々であった。対応有の場合は、学生間での学修の共有を行っていた。

(16) 実習代替えによる実習目標の到達状況

- ①知識に関すること: 臨地実習時と同程度からそれ以上が、72.3%であった。この中でやや上回ったが24.5%であった。領域別に違いは認められなかった。
- ②技術に関すること: 同程度が18.6%、やや下回ったが31.0%、大きく下回ったが15.4%、判断できないが22.8%であった。領域別の回答をみると、全領域で一番多い回答がやや下回ったであるが、2番目に多い評価は、基礎看護学、母性看護学、看護の統合と実践においては、同程度であったと評価しているものが多く、一方成人看護学、小児看護学、助産学実習では、大きく下回ったであった。
- ③態度に関すること: 全体では、同程度が42.9%で、次に多いのが判断できないであった。領域別においても同様な順位で評価していたが、小児看護学では、やや下回ったの評価が2番目であった。
- ④到達が困難であった到達目標の有無: 約半数が、到達困難であった到達目標があると回答していた。その中で、基礎看護学と看護の統合と実践に関しては、達成が困難な到達目標がなかったと回答した割合が多かった。
- ⑤専門領域毎に共通の困難な到達目標について(自由記述より)

基礎看護学: 「実際の患者・家族とコミュニケーションや関わりができない」「看護師の実践を見ることができなかった」「チーム医療・カンファレンスに参加できなかった」「専門職への報告ができなかった」「現場での緊張感が味わえない、失敗体験が少ないため社会人の基礎力の育成ができない」在宅看護学: 「訪問看護の回数の減少や中止による家庭における看護の多様性の実感不足」成人看護学: 「オペ室、GICU・EICU、退院調整部門、外来化学療法室等の中止により症状・苦痛緩和ケア、周手術期看護としての回復促進ケア、合併症予防ケア、セルフケア、患者教育ケア、治療・検査のケア、継続ケアの理解の不足」「病を抱える患者と家族への倫理的配慮の理解」により、目標の変更を行った。老年看護学: 受け入れ施設の減少、家族の面会制限による「高齢者の価値観や意思決定を尊重した関わり方・姿勢や態度の振り返り」「高齢者の自立・自律を尊重した個別性のある看護援助の実施」「要介

護状況にある高齢者の理解、援助の実施と評価」「廃用性症候群予防のケアの実施と評価」「認知症高齢者の理解、関わりやケアの実施と評価」「排泄介助や入浴介助の技術(模擬患者ではできない)」「介護保険制度の理解」などの不足があり、目標の変更を行った。小児看護学:子どもの模擬患者がないことにより、「子どもが嫌がることへの対応」「子どもの多様性の理解」「発達障がいの子どもの理解」「成長・発達・個別性に合わせた対応やケアの実施」「子どもを尊重、特徴を踏まえた倫理的行動」「安全に配慮した環境整備、関わりやケア」の不足があり、目標の変更を行った。母性看護学:母親学級の未開催、分娩期実習の中止、新生児訪問実習の中止などにより「母子関係、親子関係成立への援助」「シミュレーターでは学べないモニター装着、沐浴ケア等ケアの実施・評価」「産科・ハイリスク医療の施設、NICU等における看護職の役割」の実施不足があった。助産学:継続事例、分娩介助10例を達成できないことによる「産婦や家族の心理的側面の理解」「内診の技術、分娩第1期後半から分娩後2時間までの助産技術」「NICUにおけるハイリスク新生児の看護」「学生の主体性、職業的アイデンティティの醸成」不足。公衆衛生看護学:「家庭訪問、継続訪問、乳幼児健診、健康教育、健康相談における技術習得」「地域住民と協働しての健康増進活動・地区活動の進め方」「地区診断の手法としての地区視診やインタビュー」「保健所、市町村保健センターの機能、健康危機管理の実際、産業保健等における保健師活動の理解」の不足。

(17) 臨地実習の短縮、中止による実習の形態

実習形態の変更は、遠隔授業形式 25.3%、遠隔実習と学内実習の併用 32.7%、学内実習 28.8%であった。専門領域によって実習の形態が異なるかを見ると、成人看護学、老年看護学、母性看護学、小児看護学は、遠隔授業形式と学内実習の併用の割合が多いのに比べ、基礎看護学と助産学では、学内実習の割合が多く、精神看護学、在宅看護学は遠隔授業形式の実習が多くなっていた。また、地域別でみると、北海道・東北、中部、中国・四国、九州・沖縄では、学内実習形式が多く活用され、関東、関西・近畿は、遠隔授業形式と学内演習の併用が上位となっていた。

(18) 変更した実習形態による「よかったこと」について

- ①遠隔授業形式について:「学生の学修進度が把握しやすい」では、57.6%がそう思うと答えていた。「学生の参加状況が把握しやすい」では 60.0%、「学生に教材が提示しやすい」57.6%、「学生の自己学習時間が増えた」が 61.9%であった。しかし、「学生とのコミュニケーションがとりやすい」「実習の準備が軽減した」「学生の学修意欲が高まった」については、よかったこととしては、あまり認識されなかった。
- ②学内実習について:遠隔授業形式と比較して、さらに高い割合で「よかった」と認識していた。遠隔授業形式では「よかった」という認識が低かった「学生とのコミュニケーションがとりやすい」においては、学内実習では、よかった項目として認識されていた。「実習の準備の軽減」「学生意欲について」はよかったという認識が低かったが、遠隔授業ほどの評価ではなかった。

(19) 感染予防のための実習施設と調整・確認していることについて

これらの項目はA調査においても調査している項目である。A調査は2020年の9月以降の実習についてであることから、COVID-19感染対策の準備期間があり、十分な調整が行われていた。しかし、B調査は、2020年1月以降が対象であったことから、第1波感染のもとで手探りだったこと、実習そのものが代替え、中止、延期になっていたこともあり、十分な調整が行われないか、臨床との調整は必要なかったため無回答が多かったと考えられる。

(20) 領域別実習責任者の自由回答から

基礎実習を受講する学生はまさに看護について初学者であることから、実践の場に身を置くことの体験に価値をもっていた。そのこともあり、コミュニケーション体験不足、看護技術習得不足を懸念している

教員の記述が多かった。1月～9月は、実習中止の見通しが科目責任者では予測がつかない状況があり、突然に実習施設側からの「実習中止」連絡であったり、大学の方針としての「実習中止」であったりと、準備が十分でないままの見切り発車であったり、また、臨地に行ける場合と行けなかった場合に備えるというダブルセットアップなど、教員の負担が非常に多かったことがあげられる。

成人看護学の科目責任者から特に特徴的であったのは、臨地実習での学びは、患者と医療者との関係性の構築、チーム医療における多職種との連携、さらに職業的倫理観、患者・家族の生のニーズと苦悩に応答するための適切な看護実践能力、患者の病状変化や臨床推論能力の育成ができない、適応した実践能力の評価ができないなど、実践の学びができていないことを記述していた。そして実体験することの重みを実感していた。一方で、実習でできなかったことからわかる、実践能力を身に着けるためのエッセンスとはなにか、あるいは、短期間の実習で、何を臨地実習で学ばせるのかを常に意識して指導する必要性などが記述されていた。また、学内実習に代替えたことによる副産物は、対象理解が深まり、看護過程展開がよくなるようになったとの記述がみられ、さらに、振り返りやカンファレンスの充実が学生の学びの深まりを高めたとの記述があった。

老年看護学では、対象が高齢者であり、実習施設が高齢者施設（老人保健施設、療養型病床）であることから、今年度の COVID-19 により実習施設から実習受け入れの中止が多かった領域である。多くの大学が、今後においても見通しがつかないとの記述が多かった。工夫として、高齢者施設と遠隔実習を試みようとしたが、オンライン環境が整っていない施設が多く、新しい試みもなかなか難しいとの記述もあった。この領域の対象者は感染症等のハイリスク群であることから、今後においても感染予防に留意した新たな実習計画の必要があるとの記述もあった。新たな実習方法の検討には、「教員のマンパワーや力量」「シミュレーターなどの保有数」などが影響を受けるのではないかという記述もあった。

母性看護学実習では、ほとんどの実習施設は、母親学級などの集団教育、家族面会、夫立ち合い分娩の中止が続いている。それに伴い学生の受け入れは、前述の理由が障害となって実習受け入れを中止する施設と同じ状態でも、実習を受け入れる施設で2分していた。少子化で、臨地実習施設の確保が難しい領域であることから、シミュレーション演習が多く取り入れられていた領域でもあり、学内実習、遠隔実習にスムーズに入ることができ、今回の困難感を述べることは少なかった。反面、実習における実際に触れる、本物を見ての体験不足を懸念する記述はあった。

小児看護学実習では、小児病院、保育園、幼稚園などの施設等での実習ができていないことが多く、実際の子どものコミュニケーションの体験が不足していた。子どもとのコミュニケーションの代替えは難しく、子どもの模擬患者はいない、教員、学生が子どもの模擬患者になることにやはり限界があったことが記述された。卒後においてここが補填されていくというの難しいという意見もあった。臨地実習を体験していないことで、小児系に進むキャリア形成が築けないのではないかという懸念があった。

精神看護学の対象者の中には、感染予防行動をとれない方もおり、対象選定が制限されるなどの問題を記述していた。また臨地実習の短縮が対象者との人間関係構築などを困難にしていた。精神看護学領域の臨地実習施設は、民間を主とする小規模病院であり、コロナ禍という特殊の状況で、独自の対応の判断は難しいという記述があった。

在宅看護学では、ほとんどの大学で訪問看護師との同行訪問は不可能であったことを記述していた。在宅看護学実習が実施されていても、ステーションにいる時間が多くなっていた。感染対応における考え方の違いがあったことによる。また、これにより在宅療養支援のイメージがつきにくいという意見もあった。

助産学実習では、指定規則に分娩介助10例程度があり、この10例が達成できたところは安堵し、直接事例が1例から2例で、残りが学内実習であったことで、学生の卒後に対する不安を大きくもっているようであった。多くの場合は助産学実習の受け入れに対して、施設側は好意的であることが多かった。施設では、家族面会、夫立ち合いを中止している分、助産学生の受け入れが良かったという意見もあった。その中で、大学内の判断が全国とは異なる判断であったことから、自大学の助産選択学生に対して、不

利益を生じさせたという記述もあり、大学の方針、病院側の考えに左右されてしまうコロナ禍実習のあり方に問題提起がされていた。

公衆衛生看護学実習では、COVID-19 の対応に追われている保健所は多忙を極め、実習受け入れ施設となる保健福祉センター等は、各種保健事業を感染対策のために中止していることから多くの大学は学内実習に切り替えていた。一方で、臨地実習ができたという大学に関しては、COVID-19 の良い影響として、感染担当部署における COVID-19 対応を見聞きすることで、危機管理、人権擁護などを幅広く気づくことができていたという記述があった。また、地区診断、住民ヒヤリングを通して、COVID-19 感染下の生活の実態を学ぶなど、この時期に臨地実習を行えたことによる学びの深さがあったことが記述されていた。

5. 新しい看護学実習とは

この報告書をまとめている 2021 年 3 月末から 4 月にかけて、日本における COVID-19 感染は、第 4 波の兆しが見えているところ、既に第 4 波が到来しているところと、まだまだこの感染症との闘いは続いている。そして、臨地実習は、実習施設からのやむなくの実習中止の連絡のもとに、学内実習を中心とした実習運営にあたらうとしている。

2020 年の看護学実習を運営し、学び得たものとは何であったのかを考えていく。

1) 看護学実習を止めないために

国公立に関係なく、自大学に附属病院のある大学は、主な実習先がその附属病院であるため、実習を止めることなく行うことができていた。さらにハイリスク感染地域以外の感染拡大の少ない地域の看護系大学は予定通り、あるいはそれに準じた方法で行っていた。また、それらの大学は COVID-19 感染の重症度の高い患者を受け入れる施設ではあるが、安全管理(感染対策)室など感染症の専門家チームを有していることが多く、対処がスムーズであることから、その対処ができることで、受け入れがよかったと考える。それ以外の施設においては、2020 年の 4 月、5 月はその対策は間に合わないことやマンパワーの不足から実習受け入れ中止になっていたが、9 月以降にはその準備が整ったこと、感染拡大状況を鑑みての実習受け入れが始まっていた。しかし、老年看護学、在宅看護学では、これまで実習を行っていた実習施設から施設変更をする割合が多かった。これらの実習は高齢者で、COVID-19 感染ハイリスク者を対象としていることからこのような状況になったと考えられる。

多くの大学は臨地実習を行うことを目標に、実習時期を変更する、1 施設、1 病棟の実習受け入れ人数の制限、受け入れ日数の短縮、1 日の実習開始時間や終了時間の変更、使用病棟や使用部署の変更にも従い、臨地実習が少しでもできるような努力をしていた。臨地実習の大切さを知るからこそ、実習施設とのギリギリの調整を行いながら臨地実習に学生を臨ませる努力をしていた。

実習に臨むにあたって、学生は実習 2 週間前からの体調管理と健康チェック、実習に臨んでからも朝晩の体温測定、行動履歴など感染管理対策が徹底されていた。万が一に備え、学生が感染者になった場合、濃厚接触者になった場合などの対応方法が調整されていた。学生は実習外の生活も管理されていた。不要不急の都道府県外への移動の禁止、飲食店などのアルバイトの禁止などが課せられた。これにより、看護 4 年生は、就職活動制限、アルバイト収入の激減による生活困窮苦も余儀なくされた。これらのことはほとんどの実習科目を実施するにあたって行われた厳重な感染管理の対策であった。

さらに、実習を実施するにあたって PCR 検査の受検義務を課す実習施設等があり、全体の 45%であった。PCR 検査の 1 回のコストは非常に高く、これを大学が負担するのか、学生個人に負担させるのか、昨年は、PCR 検査そのものの検査数が少なく、陰性証明のハードルが高すぎ、実習そのものを断念せざるを得ない状況にまきこまれている大学もあった。

感染対策を徹底するために、受け持ち患者を持たない、重症患者から軽症患者など 6 割がその状況に置かれた。さらに実習方法をシャドーイングや見学など、約 7 割が直接的なケアへの参加は極力避ける方向に進んだ。学生の厚生関係において、学生の記録場所の確保、更衣室の確保、昼食場所の確保と 3 密対策の徹底が行われていた。実習施設では、更衣室、昼食場所の消毒、感染防護用具の準備、実習施設への入室方法、実習施設設備の利用法など、ありとあらゆる感染対策法がとられて、実習に臨んでいた。これまで、看護学実習生の実習中のクラスター発生はなく、学生、教員、実習施設の三身一体の感染対策が功を奏したといっても過言ではない。この度卒業した看護系大学 4 年生は、4 年間を通して一度も臨地実習に行けなかったという学生は少ないと考えられる。

2) 学内実習・遠隔実習を振り返る

全実習期間、一部実習期間の実習中止に対し、学内実習への変更が 8 割、そして遠隔実習への変更が約 6 割、さらに学内実習と遠隔実習のミックス実習も実施されていた。学内、遠隔の実習は、多くの教材が活用され実施された。その中で、一番多く活用されたのは視聴覚教材であり、市販のもの、教員作成によるものなどで約 8 割がこの教材を使用していた。この教材は知識の獲得に活用される教材であり、実習達成目標において知識の獲得は、臨地実習と比べ同程度以上、やや上回るが多いことからして効果的であったことが考えられる。また、視聴覚教材と同じ割合で教材の中で多く活用されたのは、事例の活用である。学内の演習では、ほとんどが一度看護過程を展開できればいい方であるが、今回の学内、遠隔実習では、複数回の事例展開が工夫を凝らして行われ、問題解決思考が備わったという意見が、「学生は看護過程が書けるようになった」という教員の発言の中に多く聞かれた。シミュレーション教材は、テクニカルスキル獲得とシナリオをベースにした状況設定による臨床推論能力獲得を目的にした教材であるが、これらを利用したのは 35%にとどまり、どちらを目的にしたかは今回の調査からは読み取れなかったが、実習達成目標において、技術の獲得は臨地実習と比べやや下回る、大きく下回ったなどの回答が多く、学内、遠隔実習の限界があることは否めない。信頼関係を中心にした人間関係形成は、患者の招聘、実習指導者の招聘を通してみることができるが、実習指導者の招聘は 4 割程度、患者の招聘は 2 割にすぎず、難しさがあった。実習の達成目標の態度においては、臨地実習と同程度と評価するのが 4 割であり、何よりもこの状況で、実習の態度は評価できないというのが回答であった。今回教材の中に、新しい試みとして看護教育の中に XR シミュレーション教材がどれだけ浸透しているのか調査した。その結果 2 割弱にすぎず、その浸透度はまだまだであることが明らかになった。しかし、教員が自ら XR シミュレーションの教材作りに挑んでいた。その具体例は、資料で参考にしてもらいたい。

6. 最後に

今回の調査を通して見えてきたのは、従来の臨地実習の在り方を変えなければならないということである。従来の実習形態は、COVID-19 に代表される感染症に対し、非常にもろい実習体系であった。感染症により実習施設が機能を失うと、それにより実習中止という甚大な被害を被った。ということは、看護学教育の危機管理として、これらに耐えうる実習体系を構築しなければならないということである。

また、この対策法として、今回の学内・遠隔実習で試みられた代替え教材は、知識の獲得、問題解決思考過程、臨床推論を養う方法として活用できること、臨地実習に臨む前の実習形式として取り入れることが可能であることが分かってきた。しかし、技術の面、人間関係性の構築にはやはり、臨地の実習の代替えはなく、危機管理という面から考えるのであれば、それぞれの特徴を生かした効率のいいハイブリットの実習形式を今後考えていく必要がある。

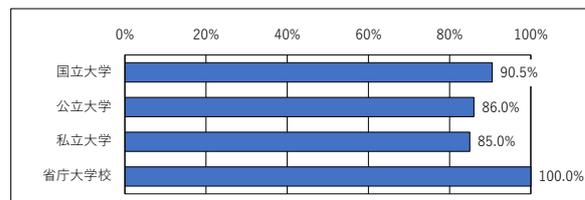
全国の看護系大学の実習に臨むにあたっての感染管理は、十分に感染防御の側面から耐えうるものであったことが証明されたと考える。しかし with/after コロナの中での看護学実習のための感染予防指針、そして何よりも医療系学生への早期のワクチン接種が待たれるところである。

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

調査票 回収結果

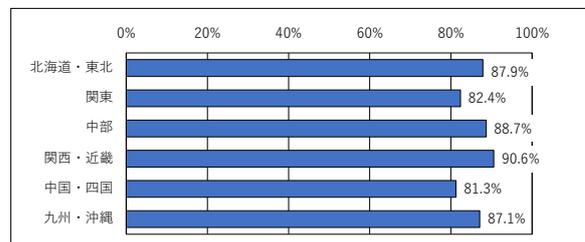
国公立区分

No.	カテゴリー名	配布数	回収数	%
1	国立大学	42	38	90.5%
2	公立大学	50	43	86.0%
3	私立大学	193	164	85.0%
4	省庁大学校	2	2	100.0%
	全体	287	247	86.1%



設置ブロック

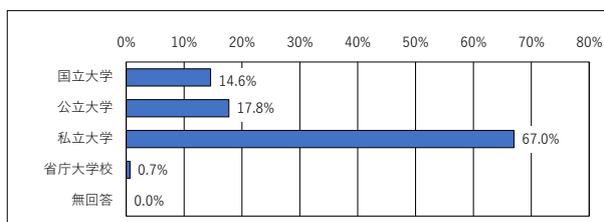
No.	カテゴリー名	配布数	回収数	%
1	北海道・東北	33	29	87.9%
2	関東	85	70	82.4%
3	中部	53	47	88.7%
4	関西・近畿	53	48	90.6%
5	中国・四国	32	26	81.3%
6	九州・沖縄	31	27	87.1%
	全体	287	247	86.1%



1. 2020年9月～10月以降、開講予定あるいは開講している実習科目についてご回答ください。

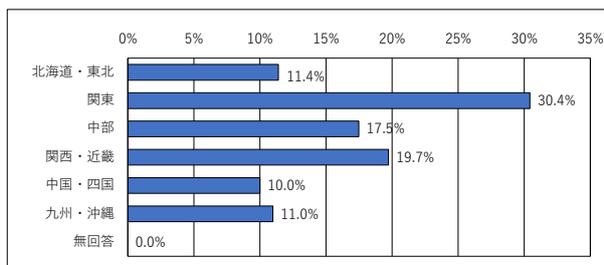
国公立区分

No.	カテゴリー名	n	%
1	国立大学	312	14.6%
2	公立大学	380	17.8%
3	私立大学	1434	67.0%
4	省庁大学校	14	0.7%
	無回答	0	0.0%
	全体	2140	100.0%



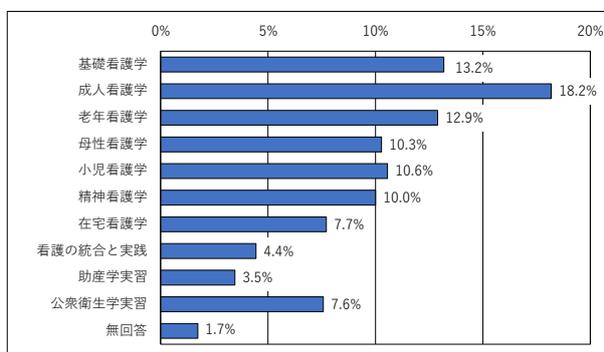
設置ブロック

No.	カテゴリー名	n	%
1	北海道・東北	244	11.4%
2	関東	651	30.4%
3	中部	374	17.5%
4	関西・近畿	422	19.7%
5	中国・四国	214	10.0%
6	九州・沖縄	235	11.0%
	無回答	0	0.0%
	全体	2140	100.0%



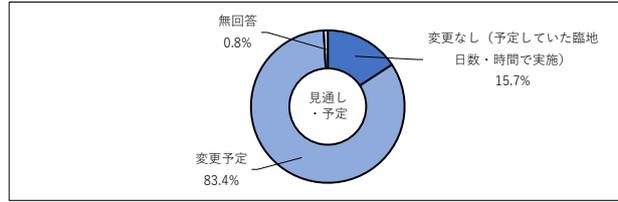
専門領域

No.	カテゴリー名	n	%
1	基礎看護学	282	13.2%
2	成人看護学	389	18.2%
3	老年看護学	276	12.9%
4	母性看護学	220	10.3%
5	小児看護学	226	10.6%
6	精神看護学	214	10.0%
7	在宅看護学	165	7.7%
8	看護の統合と実践	95	4.4%
9	助産学実習	74	3.5%
10	公衆衛生看護学実習	162	7.6%
	無回答	37	1.7%
	全体	2140	100.0%



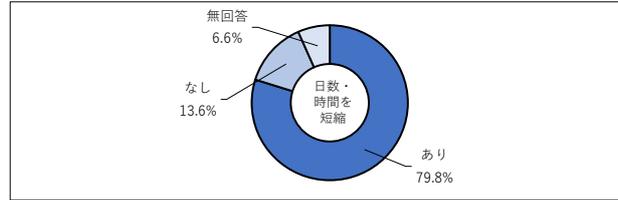
見直し・予定

No.	カテゴリー名	n	%
1	変更なし（予定していた臨地日数・時間で実施）	337	15.7%
2	変更予定	1785	83.4%
	無回答	18	0.8%
	全体	2140	100.0%



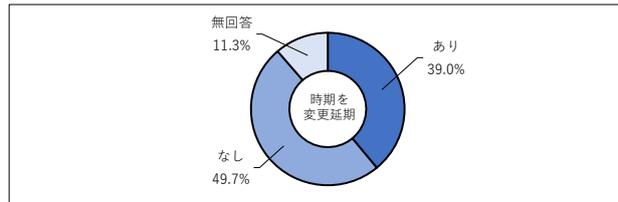
臨地の日数・時間を短縮

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり	1425	79.8%
2	なし	242	13.6%
	無回答	118	6.6%
	非該当	355	
	全体	1785	100.0%



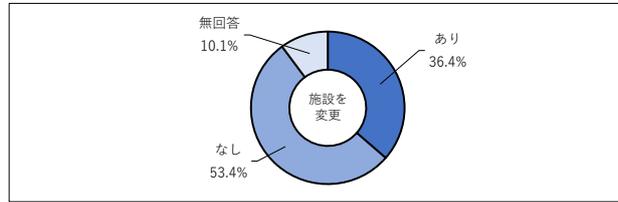
臨地での実習時期を変更・延期

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり	696	39.0%
2	なし	887	49.7%
	無回答	202	11.3%
	非該当	355	
	全体	1785	100.0%



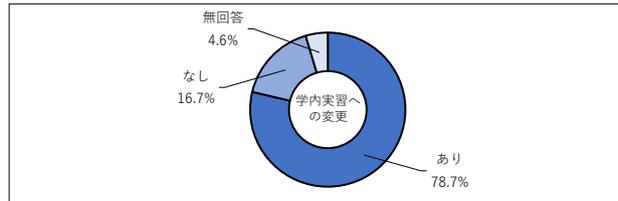
実習施設を変更

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり	650	36.4%
2	なし	954	53.4%
	無回答	181	10.1%
	非該当	355	
	全体	1785	100.0%



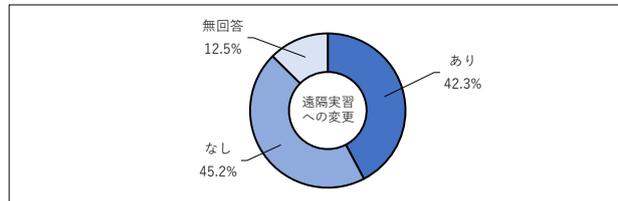
学内実習への変更

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり	1405	78.7%
2	なし	298	16.7%
	無回答	82	4.6%
	非該当	355	
	全体	1785	100.0%



遠隔実習への変更

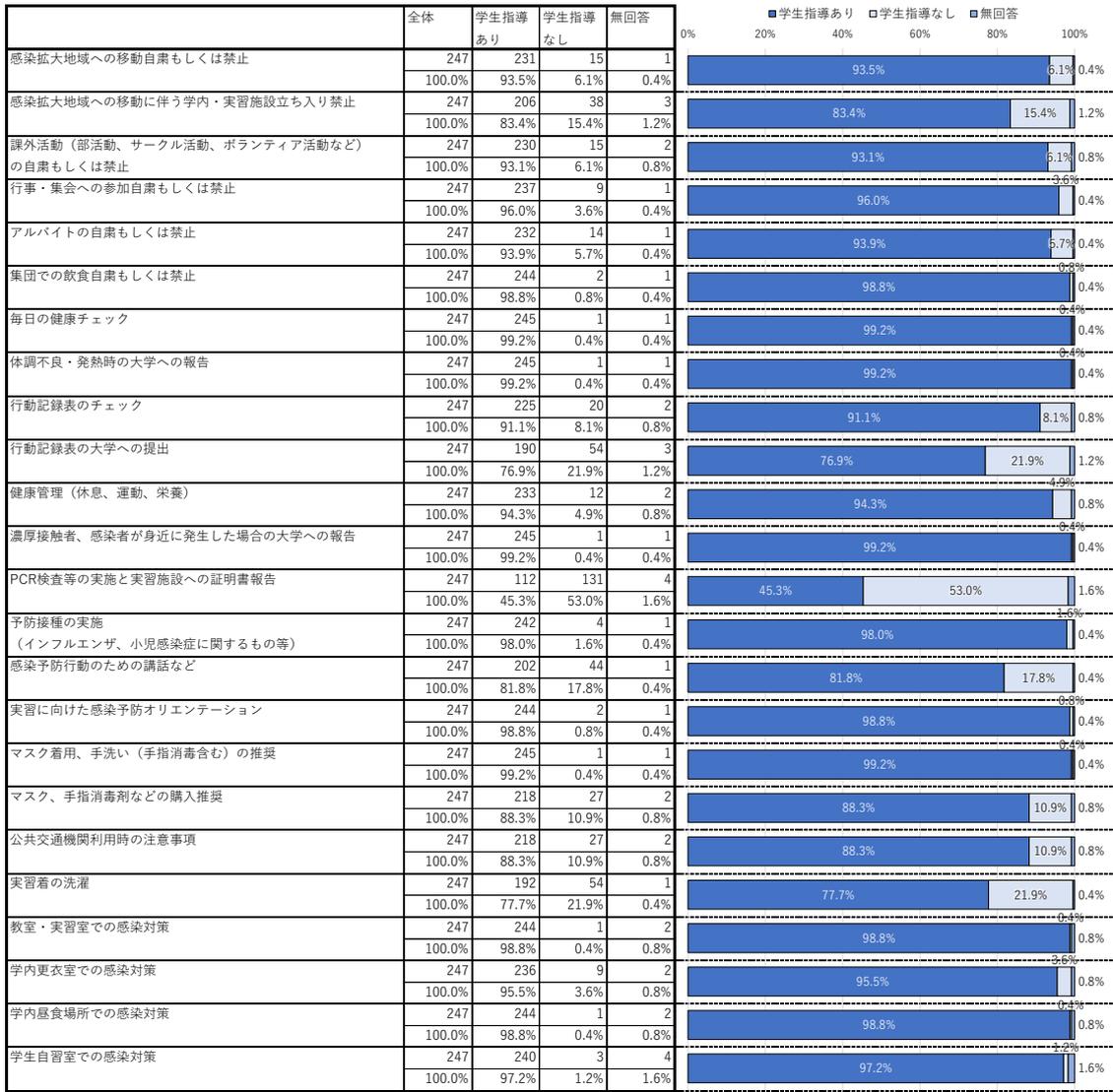
No.	カテゴリー名	n	%
1	あり	755	42.3%
2	なし	806	45.2%
	無回答	224	12.5%
	非該当	355	
	全体	1785	100.0%



調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

1. 臨地実習に向けて、学生指導で行っているものすべてについて、プルダウンリストから選択してください。



調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

2. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、ブルダウンリストから選択してください。

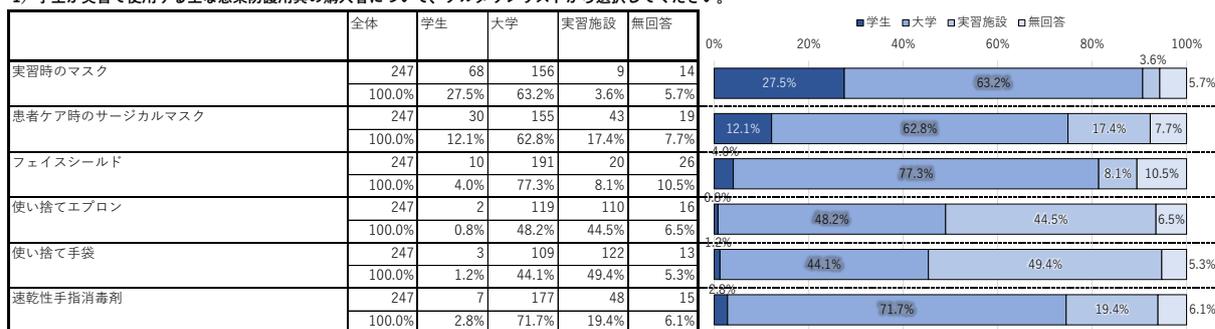
	全体	調整あり	調整なし	無回答	
実習時期	247	194	44	9	78.5% 17.8% 3.6%
	100.0%	78.5%	17.8%	3.6%	
受け入れ人数	247	206	32	9	83.4% 13.0% 3.6%
	100.0%	83.4%	13.0%	3.6%	
受け入れ日数	247	210	27	10	85.0% 10.9% 4.0%
	100.0%	85.0%	10.9%	4.0%	
実習時間 (臨地での実習時間、開始時間・終了時間など)	247	198	41	8	80.2% 16.6% 3.2%
	100.0%	80.2%	16.6%	3.2%	
使用病棟・部署	247	201	37	9	81.4% 15.0% 3.6%
	100.0%	81.4%	15.0%	3.6%	
学生の体調管理方法	247	235	6	6	95.1% 2.4% 2.4%
	100.0%	95.1%	2.4%	2.4%	
学生の実習可否判断基準 (発熱、自覚症状、健康観察の結果、行動履歴など)	247	236	5	6	95.5% 2.0% 2.4%
	100.0%	95.5%	2.0%	2.4%	
学生が感染もしくは、濃厚接触者になった場合の対応方法	247	236	5	6	95.5% 2.0% 2.4%
	100.0%	95.5%	2.0%	2.4%	
学生の実習時間外のごし方 (都道府県外への外出、アルバイト等)	247	230	9	8	93.1% 3.6% 3.2%
	100.0%	93.1%	3.6%	3.2%	
PCR検査等の実施と結果の開示	247	134	103	10	54.3% 41.7% 4.0%
	100.0%	54.3%	41.7%	4.0%	
受け持ち患者	247	178	58	11	72.1% 23.5% 4.5%
	100.0%	72.1%	23.5%	4.5%	
実習方法の調整 (申し送り参加、看護ケア方法、見学への変更など)	247	202	34	11	81.8% 13.8% 4.5%
	100.0%	81.8%	13.8%	4.5%	
カンファレンス開催方法	247	199	38	10	80.6% 15.4% 4.0%
	100.0%	80.6%	15.4%	4.0%	
電子カルテならびにカルテ室の使用方法	247	157	80	10	63.6% 32.4% 4.0%
	100.0%	63.6%	32.4%	4.0%	
学生記録場所の確保と3密対策	247	209	28	10	84.6% 11.3% 4.0%
	100.0%	84.6%	11.3%	4.0%	
学生更衣場所の確保と3密対策	247	211	25	11	85.4% 10.1% 4.5%
	100.0%	85.4%	10.1%	4.5%	
学生昼食場所の確保と3密対策	247	218	18	11	88.3% 7.3% 4.5%
	100.0%	88.3%	7.3%	4.5%	
学生が使用する更衣室・昼食場所等の消毒	247	208	28	11	84.2% 11.3% 4.5%
	100.0%	84.2%	11.3%	4.5%	
感染防護用具の準備	247	227	13	7	91.9% 5.3% 2.8%
	100.0%	91.9%	5.3%	2.8%	
実習施設への入室方法 (入り口、入室時の健康チェックなど)	247	210	27	10	85.0% 10.9% 4.0%
	100.0%	85.0%	10.9%	4.0%	
実習施設設備の使用 (エレベーター、廊下、売店など)	247	177	60	10	71.7% 24.3% 4.0%
	100.0%	71.7%	24.3%	4.0%	
実習施設の移動可能場所、病棟までの通路など	247	178	59	10	72.1% 23.9% 4.0%
	100.0%	72.1%	23.9%	4.0%	
実習委託費の変更	247	65	171	11	26.3% 69.2% 4.5%
	100.0%	26.3%	69.2%	4.5%	

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

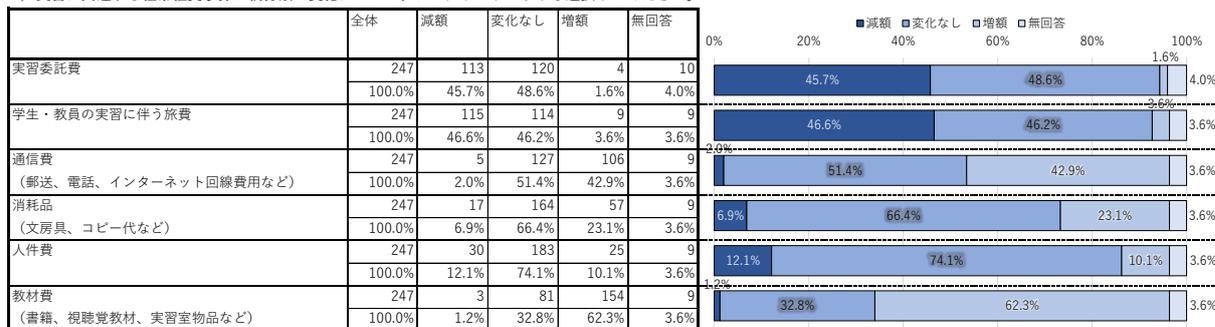
II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

3. COVID-19 流行による看護学実習経費への影響についてお答えください。

1) 学生が実習で使用する主な感染防護用具の購入者について、ブルダウリストから選択してください。



2) 実習に関連する経常経費予算の執行額の変化について、ブルダウリストから選択してください。



調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

1. 2020年9月～10月以降、開講予定あるいは開講している実習科目についてご回答ください。

	合計	専門領域										
		基礎看護学	成人看護学	老年看護学	母性看護学	小児看護学	精神看護学	在宅看護学	看護の統合と実践	助産学実習	公衆衛生看護学実習	無回答
全体	2140	282	389	276	220	226	214	165	95	74	162	37
	100.0%	13.2%	18.2%	12.9%	10.3%	10.6%	10.0%	7.7%	4.4%	3.5%	7.6%	1.7%
設置ブロック												
北海道・東北	244	35	42	30	29	26	20	15	16	10	18	3
	100.0%	14.3%	17.2%	12.3%	11.9%	10.7%	8.2%	6.1%	6.6%	4.1%	7.4%	1.2%
関東	651	88	119	87	61	63	64	54	42	20	49	4
	100.0%	13.5%	18.3%	13.4%	9.4%	9.7%	9.8%	8.3%	6.5%	3.1%	7.5%	0.6%
中部	374	54	63	47	35	40	37	30	17	16	30	5
	100.0%	14.4%	16.8%	12.6%	9.4%	10.7%	9.9%	8.0%	4.5%	4.3%	8.0%	1.3%
関西・近畿	422	49	80	56	43	46	45	33	7	19	34	10
	100.0%	11.6%	19.0%	13.3%	10.2%	10.9%	10.7%	7.8%	1.7%	4.5%	8.1%	2.4%
中国・四国	214	29	45	28	26	24	22	15	3	7	15	0
	100.0%	13.6%	21.0%	13.1%	12.1%	11.2%	10.3%	7.0%	1.4%	3.3%	7.0%	0.0%
九州・沖縄	235	27	40	28	26	27	26	18	10	2	16	15
	100.0%	11.5%	17.0%	11.9%	11.1%	11.5%	11.1%	7.7%	4.3%	0.9%	6.8%	6.4%

1) 見直し・予定

	合計	見直し・予定		
		必要なし	変更予定	無回答
全体	2140	337	1785	18
	100.0%	15.7%	83.4%	0.8%
専門領域				
基礎看護学	282	48	226	8
	100.0%	17.0%	80.1%	2.8%
成人看護学	389	64	325	0
	100.0%	16.5%	83.5%	0.0%
老年看護学	276	31	245	0
	100.0%	11.2%	88.8%	0.0%
母性看護学	220	35	184	1
	100.0%	15.9%	83.6%	0.5%
小児看護学	226	35	191	0
	100.0%	15.5%	84.5%	0.0%
精神看護学	214	38	175	1
	100.0%	17.8%	81.8%	0.5%
在宅看護学	165	17	147	1
	100.0%	10.3%	89.1%	0.6%
看護の統合と実践	95	11	80	4
	100.0%	11.6%	84.2%	4.2%
助産学実習	74	17	57	0
	100.0%	23.0%	77.0%	0.0%
公衆衛生看護学実習	162	29	132	1
	100.0%	17.9%	81.5%	0.6%
無回答	37	12	23	2
	100.0%	32.4%	62.2%	5.4%
設置ブロック				
北海道・東北	244	60	183	1
	100.0%	24.6%	75.0%	0.4%
関東	651	62	584	5
	100.0%	9.5%	89.7%	0.8%
中部	374	68	301	5
	100.0%	18.2%	80.5%	1.3%
関西・近畿	422	75	346	1
	100.0%	17.8%	82.0%	0.2%
中国・四国	214	37	174	3
	100.0%	17.3%	81.3%	1.4%
九州・沖縄	235	35	197	3
	100.0%	14.9%	83.8%	1.3%

2) 臨地の日数・時間を短縮

	合計	臨地の日数・時間を短縮		
		あり	なし	無回答
全体	1785	1425	242	118
	100.0%	79.8%	13.6%	6.6%
専門領域				
基礎看護学	226	169	34	23
	100.0%	74.8%	15.0%	10.2%
成人看護学	325	282	27	16
	100.0%	86.8%	8.3%	4.9%
老年看護学	245	190	35	20
	100.0%	77.6%	14.3%	8.2%
母性看護学	184	157	19	8
	100.0%	85.3%	10.3%	4.3%
小児看護学	191	157	22	12
	100.0%	82.2%	11.5%	6.3%
精神看護学	175	142	21	12
	100.0%	81.1%	12.0%	6.9%
在宅看護学	147	110	25	12
	100.0%	74.8%	17.0%	8.2%
看護の統合と実践	80	62	12	6
	100.0%	77.5%	15.0%	7.5%
助産学実習	57	40	16	1
	100.0%	70.2%	28.1%	1.8%
公衆衛生看護学実習	132	101	26	5
	100.0%	76.5%	19.7%	3.8%
無回答	23	15	5	3
	100.0%	65.2%	21.7%	13.0%
設置ブロック				
北海道・東北	183	113	38	32
	100.0%	61.7%	20.8%	17.5%
関東	584	485	68	31
	100.0%	83.0%	11.6%	5.3%
中部	301	234	40	27
	100.0%	77.7%	13.3%	9.0%
関西・近畿	346	275	51	20
	100.0%	79.5%	14.7%	5.8%
中国・四国	174	155	19	0
	100.0%	89.1%	10.9%	0.0%
九州・沖縄	197	163	26	8
	100.0%	82.7%	13.2%	4.1%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

1. 2020年9月～10月以降、開講予定あるいは開講している実習科目についてご回答ください。

3) 臨地での実習時期を変更・延期

		合計	臨地での実習時期を変更・延期		
			あり	なし	無回答
全体		1785	696	887	202
		100.0%	39.0%	49.7%	11.3%
専門領域	基礎看護学	226	81	114	31
		100.0%	35.8%	50.4%	13.7%
	成人看護学	325	131	157	37
		100.0%	40.3%	48.3%	11.4%
	老年看護学	245	81	134	30
		100.0%	33.1%	54.7%	12.2%
	母性看護学	184	70	94	20
		100.0%	38.0%	51.1%	10.9%
	小児看護学	191	74	95	22
		100.0%	38.7%	49.7%	11.5%
	精神看護学	175	64	94	17
		100.0%	36.6%	53.7%	9.7%
	在宅看護学	147	38	89	20
		100.0%	25.9%	60.5%	13.6%
看護の統合と実践	80	39	35	6	
	100.0%	48.8%	43.8%	7.5%	
助産学実習	57	34	19	4	
	100.0%	59.6%	33.3%	7.0%	
公衆衛生看護学実習	132	75	49	8	
	100.0%	56.8%	37.1%	6.1%	
無回答	23	9	7	7	
	100.0%	39.1%	30.4%	30.4%	
設置ブロック	北海道・東北	183	41	95	47
		100.0%	22.4%	51.9%	25.7%
	関東	584	223	301	60
		100.0%	38.2%	51.5%	10.3%
	中部	301	136	130	35
		100.0%	45.2%	43.2%	11.6%
	関西・近畿	346	109	189	48
		100.0%	31.5%	54.6%	13.9%
中国・四国	174	80	94	0	
	100.0%	46.0%	54.0%	0.0%	
九州・沖縄	197	107	78	12	
	100.0%	54.3%	39.6%	6.1%	

4) 実習施設を変更

		合計	実習施設を変更		
			あり	なし	無回答
全体		1785	650	954	181
		100.0%	36.4%	53.4%	10.1%
専門領域	基礎看護学	226	78	120	28
		100.0%	34.5%	53.1%	12.4%
	成人看護学	325	92	198	35
		100.0%	28.3%	60.9%	10.8%
	老年看護学	245	100	122	23
		100.0%	40.8%	49.8%	9.4%
	母性看護学	184	58	109	17
		100.0%	31.5%	59.2%	9.2%
	小児看護学	191	67	101	23
		100.0%	35.1%	52.9%	12.0%
	精神看護学	175	68	93	14
		100.0%	38.9%	53.1%	8.0%
	在宅看護学	147	66	69	12
		100.0%	44.9%	46.9%	8.2%
看護の統合と実践	80	41	33	6	
	100.0%	51.3%	41.3%	7.5%	
助産学実習	57	29	23	5	
	100.0%	50.9%	40.4%	8.8%	
公衆衛生看護学実習	132	38	82	12	
	100.0%	28.8%	62.1%	9.1%	
無回答	23	13	4	6	
	100.0%	56.5%	17.4%	26.1%	
設置ブロック	北海道・東北	183	58	79	46
		100.0%	31.7%	43.2%	25.1%
	関東	584	258	284	42
		100.0%	44.2%	48.6%	7.2%
	中部	301	108	158	35
		100.0%	35.9%	52.5%	11.6%
	関西・近畿	346	117	185	44
		100.0%	33.8%	53.5%	12.7%
中国・四国	174	48	124	2	
	100.0%	27.6%	71.3%	1.1%	
九州・沖縄	197	61	124	12	
	100.0%	31.0%	62.9%	6.1%	

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

1. 2020年9月～10月以降、開講予定あるいは開講している実習科目についてご回答ください。

5) 学内実習への変更

		合計	学内実習への変更		
			あり	なし	無回答
全体		1785	1405	298	82
		100.0%	78.7%	16.7%	4.6%
専門領域	基礎看護学	226	160	56	10
		100.0%	70.8%	24.8%	4.4%
	成人看護学	325	264	45	16
		100.0%	81.2%	13.8%	4.9%
	老年看護学	245	205	32	8
		100.0%	83.7%	13.1%	3.3%
	母性看護学	184	154	22	8
		100.0%	83.7%	12.0%	4.3%
	小児看護学	191	154	29	8
		100.0%	80.6%	15.2%	4.2%
	精神看護学	175	132	32	11
		100.0%	75.4%	18.3%	6.3%
	在宅看護学	147	117	24	6
		100.0%	79.6%	16.3%	4.1%
	看護の統合と実践	80	70	7	3
		100.0%	87.5%	8.8%	3.8%
	助産学実習	57	37	19	1
		100.0%	64.9%	33.3%	1.8%
	公衆衛生看護学実習	132	98	27	7
		100.0%	74.2%	20.5%	5.3%
	無回答	23	14	5	4
		100.0%	60.9%	21.7%	17.4%
設置ブロック	北海道・東北	183	129	33	21
		100.0%	70.5%	18.0%	11.5%
	関東	584	457	102	25
		100.0%	78.3%	17.5%	4.3%
	中部	301	254	41	6
		100.0%	84.4%	13.6%	2.0%
	関西・近畿	346	273	47	26
		100.0%	78.9%	13.6%	7.5%
	中国・四国	174	133	41	0
		100.0%	76.4%	23.6%	0.0%
	九州・沖縄	197	159	34	4
		100.0%	80.7%	17.3%	2.0%

6) 遠隔実習への変更

		合計	遠隔実習への変更		
			あり	なし	無回答
全体		1785	755	806	224
		100.0%	42.3%	45.2%	12.5%
専門領域	基礎看護学	226	74	120	32
		100.0%	32.7%	53.1%	14.2%
	成人看護学	325	148	133	44
		100.0%	45.5%	40.9%	13.5%
	老年看護学	245	106	111	28
		100.0%	43.3%	45.3%	11.4%
	母性看護学	184	73	88	23
		100.0%	39.7%	47.8%	12.5%
	小児看護学	191	74	91	26
		100.0%	38.7%	47.6%	13.6%
	精神看護学	175	81	74	20
		100.0%	46.3%	42.3%	11.4%
	在宅看護学	147	76	55	16
		100.0%	51.7%	37.4%	10.9%
	看護の統合と実践	80	42	30	8
		100.0%	52.5%	37.5%	10.0%
	助産学実習	57	12	40	5
		100.0%	21.1%	70.2%	8.8%
	公衆衛生看護学実習	132	62	57	13
		100.0%	47.0%	43.2%	9.8%
	無回答	23	7	7	9
		100.0%	30.4%	30.4%	39.1%
設置ブロック	北海道・東北	183	50	79	54
		100.0%	27.3%	43.2%	29.5%
	関東	584	293	241	50
		100.0%	50.2%	41.3%	8.6%
	中部	301	140	131	30
		100.0%	46.5%	43.5%	10.0%
	関西・近畿	346	159	136	51
		100.0%	46.0%	39.3%	14.7%
	中国・四国	174	27	124	23
		100.0%	15.5%	71.3%	13.2%
	九州・沖縄	197	86	95	16
		100.0%	43.7%	48.2%	8.1%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

1. 臨地実習に向けて、学生指導で行っているものすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

感染拡大地域への移動自粛もしくは禁止

		合計	感染拡大地域への移動自粛もしくは禁止		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	231 93.5%	15 6.1%	1 0.4%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	29 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	58 81.7%	13 18.3%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	45 97.8%	0 0.0%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	47 97.9%	1 2.1%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

感染拡大地域への移動に伴う学内・実習施設立ち入り禁止

		合計	感染拡大地域への移動に伴う学内・実習施設立ち入り禁止		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	206 83.4%	38 15.4%	3 1.2%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	23 79.3%	5 17.2%	1 3.4%
	関東	71 100.0%	49 69.0%	21 29.6%	1 1.4%
	中部	46 100.0%	43 93.5%	2 4.3%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	40 83.3%	8 16.7%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	25 92.6%	2 7.4%	0 0.0%

課外活動（部活動、サークル活動、ボランティア活動など）の自粛もしくは禁止

		合計	課外活動（部活動、サークル活動、ボランティア活動など）の自粛もしくは禁止		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	230 93.1%	15 6.1%	2 0.8%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	22 75.9%	6 20.7%	1 3.4%
	関東	71 100.0%	68 95.8%	3 4.2%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	43 93.5%	2 4.3%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	47 97.9%	1 2.1%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	25 96.2%	1 3.8%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	25 92.6%	2 7.4%	0 0.0%

行事・集会への参加自粛もしくは禁止

		合計	行事・集会への参加自粛もしくは禁止		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	237 96.0%	9 3.6%	1 0.4%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	26 89.7%	3 10.3%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	68 95.8%	3 4.2%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	45 97.8%	0 0.0%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	47 97.9%	1 2.1%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	25 92.6%	2 7.4%	0 0.0%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

1. 臨地実習に向けて、学生指導で行っているものすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

アルバイトの自粛もしくは禁止

		合計	アルバイトの自粛もしくは禁止		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	232 93.9%	14 5.7%	1 0.4%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	25 86.2%	4 13.8%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	68 95.8%	3 4.2%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	41 89.1%	4 8.7%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	24 92.3%	2 7.7%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

集団での飲食自粛もしくは禁止

		合計	集団での飲食自粛もしくは禁止		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	244 98.8%	2 0.8%	1 0.4%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	28 96.6%	1 3.4%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	71 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	45 97.8%	0 0.0%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

毎日の健康チェック

		合計	毎日の健康チェック		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	245 99.2%	1 0.4%	1 0.4%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	29 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	71 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	45 97.8%	0 0.0%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

体調不良・発熱時の大学への報告

		合計	体調不良・発熱時の大学への報告		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	245 99.2%	1 0.4%	1 0.4%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	29 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	71 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	45 97.8%	0 0.0%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

1. 臨地実習に向けて、学生指導で行っているものすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

行動記録表のチェック

		合計	行動記録表のチェック		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	225 91.1%	20 8.1%	2 0.8%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	27 93.1%	1 3.4%	1 3.4%
	関東	71 100.0%	63 88.7%	8 11.3%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	40 87.0%	5 10.9%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	47 97.9%	1 2.1%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	23 88.5%	3 11.5%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	25 92.6%	2 7.4%	0 0.0%

行動記録表の大学への提出

		合計	行動記録表の大学への提出		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	190 76.9%	54 21.9%	3 1.2%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	23 79.3%	5 17.2%	1 3.4%
	関東	71 100.0%	52 73.2%	19 26.8%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	36 78.3%	9 19.6%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	37 77.1%	10 20.8%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	21 80.8%	5 19.2%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	21 77.8%	6 22.2%	0 0.0%

健康管理（休息、運動、栄養）

		合計	健康管理（休息、運動、栄養）		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	233 94.3%	12 4.9%	2 0.8%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	25 86.2%	4 13.8%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	66 93.0%	4 5.6%	1 1.4%
	中部	46 100.0%	45 97.8%	0 0.0%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	47 97.9%	1 2.1%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	25 96.2%	1 3.8%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	25 92.6%	2 7.4%	0 0.0%

濃厚接触者、感染者が身近に発生した場合の大学への報告

		合計	濃厚接触者、感染者が身近に発生した場合の大学への報告		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	245 99.2%	1 0.4%	1 0.4%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	29 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	71 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	45 97.8%	0 0.0%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

1. 臨地実習に向けて、学生指導で行っているものすべてについて、ブルダウリストから選択してください。

PCR検査等の実施と実習施設への証明書報告

		合計	PCR検査等の実施と実習施設への証明書報告		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	112 45.3%	131 53.0%	4 1.6%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	11 37.9%	17 58.6%	1 3.4%
	関東	71 100.0%	37 52.1%	33 46.5%	1 1.4%
	中部	46 100.0%	15 32.6%	29 63.0%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	26 54.2%	22 45.8%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	10 38.5%	16 61.5%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	13 48.1%	14 51.9%	0 0.0%

予防接種の実施（インフルエンザ、小児感染症に関するもの等）

		合計	予防接種の実施（インフルエンザ、小児感染症に関するもの等）		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	242 98.0%	4 1.6%	1 0.4%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	28 96.6%	1 3.4%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	71 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	45 97.8%	0 0.0%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	24 92.3%	2 7.7%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

感染予防行動のための講話など

		合計	感染予防行動のための講話など		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	202 81.8%	44 17.8%	1 0.4%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	22 75.9%	7 24.1%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	59 83.1%	12 16.9%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	35 76.1%	10 21.7%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	41 85.4%	7 14.6%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	21 80.8%	5 19.2%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	24 88.9%	3 11.1%	0 0.0%

実習に向けた感染予防オリエンテーション

		合計	実習に向けた感染予防オリエンテーション		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	244 98.8%	2 0.8%	1 0.4%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	29 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	71 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	44 95.7%	1 2.2%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

1. 臨地実習に向けて、学生指導で行っているものすべてについて、ブルダウリストから選択してください。

マスク着用、手洗い（手指消毒含む）の推奨

		合計	マスク着用、手洗い（手指消毒含む）の推奨		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	245 99.2%	1 0.4%	1 0.4%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	29 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	71 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	45 97.8%	0 0.0%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

マスク、手指消毒剤などの購入推奨

		合計	マスク、手指消毒剤などの購入推奨		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	218 88.3%	27 10.9%	2 0.8%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	23 79.3%	5 17.2%	1 3.4%
	関東	71 100.0%	62 87.3%	9 12.7%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	41 89.1%	4 8.7%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	47 97.9%	1 2.1%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	23 88.5%	3 11.5%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	22 81.5%	5 18.5%	0 0.0%

公共交通機関利用時の注意事項

		合計	公共交通機関利用時の注意事項		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	218 88.3%	27 10.9%	2 0.8%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	24 82.8%	4 13.8%	1 3.4%
	関東	71 100.0%	60 84.5%	11 15.5%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	40 87.0%	5 10.9%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	46 95.8%	2 4.2%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	24 92.3%	2 7.7%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	24 88.9%	3 11.1%	0 0.0%

実習着の洗濯

		合計	実習着の洗濯		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	192 77.7%	54 21.9%	1 0.4%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	19 65.5%	10 34.5%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	53 74.6%	18 25.4%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	35 76.1%	10 21.7%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	41 85.4%	7 14.6%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	21 80.8%	5 19.2%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	23 85.2%	4 14.8%	0 0.0%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

II. 臨地実習（再開予定も含む）に向けてのCOVID-19対策・調整についてお聞かせください。

1. 臨地実習に向けて、学生指導で行っているものすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

教室・実習室での感染対策

		合計	教室・実習室での感染対策		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	244 98.8%	1 0.4%	2 0.8%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	28 96.6%	0 0.0%	1 3.4%
	関東	71 100.0%	71 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	45 97.8%	0 0.0%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

学内更衣室での感染対策

		合計	学内更衣室での感染対策		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	236 95.5%	9 3.6%	2 0.8%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	25 86.2%	3 10.3%	1 3.4%
	関東	71 100.0%	70 98.6%	1 1.4%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	41 89.1%	4 8.7%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

学内昼食場所での感染対策

		合計	学内昼食場所での感染対策		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	244 98.8%	1 0.4%	2 0.8%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	28 96.6%	0 0.0%	1 3.4%
	関東	71 100.0%	71 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	45 97.8%	0 0.0%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

学生自習室での感染対策

		合計	学生自習室での感染対策		
			学生指導あり	学生指導なし	無回答
全体		247 100.0%	240 97.2%	3 1.2%	4 1.6%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	28 96.6%	0 0.0%	1 3.4%
	関東	71 100.0%	69 97.2%	2 2.8%	0 0.0%
	中部	46 100.0%	45 97.8%	0 0.0%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	46 95.8%	0 0.0%	2 4.2%
	中国・四国	26 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

2. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

実習時期

	合計	実習時期			
		調整あり	調整なし	無回答	
全体	247 100.0%	194 78.5%	44 17.8%	9 3.6%	
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	18 62.1%	7 24.1%	4 13.8%
	関東	71 100.0%	58 81.7%	11 15.5%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	33 71.7%	12 26.1%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	39 81.3%	8 16.7%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	21 80.8%	4 15.4%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	25 92.6%	2 7.4%	0 0.0%

受け入れ人数

	合計	受け入れ人数			
		調整あり	調整なし	無回答	
全体	247 100.0%	206 83.4%	32 13.0%	9 3.6%	
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	21 72.4%	5 17.2%	3 10.3%
	関東	71 100.0%	61 85.9%	8 11.3%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	37 80.4%	7 15.2%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	41 85.4%	6 12.5%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	22 84.6%	3 11.5%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	24 88.9%	3 11.1%	0 0.0%

受け入れ日数

	合計	受け入れ日数			
		調整あり	調整なし	無回答	
全体	247 100.0%	210 85.0%	27 10.9%	10 4.0%	
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	18 62.1%	7 24.1%	4 13.8%
	関東	71 100.0%	63 88.7%	6 8.5%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	37 80.4%	7 15.2%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	42 87.5%	5 10.4%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	24 92.3%	1 3.8%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

実習時間（臨地での実習時間、開始時間・終了時間など）

	合計	実習時間（臨地での実習時間、開始時間・終了時間など）			
		調整あり	調整なし	無回答	
全体	247 100.0%	198 80.2%	41 16.6%	8 3.2%	
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	17 58.6%	9 31.0%	3 10.3%
	関東	71 100.0%	58 81.7%	11 15.5%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	35 76.1%	9 19.6%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	42 87.5%	6 12.5%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	22 84.6%	3 11.5%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	24 88.9%	3 11.1%	0 0.0%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

2. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

使用病棟・部署

	合計	使用病棟・部署			
		調整あり	調整なし	無回答	
全体	247 100.0%	201 81.4%	37 15.0%	9 3.6%	
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	19 65.5%	5 17.2%	5 17.2%
	関東	71 100.0%	62 87.3%	7 9.9%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	36 78.3%	9 19.6%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	39 81.3%	8 16.7%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	21 80.8%	5 19.2%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	24 88.9%	3 11.1%	0 0.0%

学生の体調管理方法

	合計	学生の体調管理方法			
		調整あり	調整なし	無回答	
全体	247 100.0%	235 95.1%	6 2.4%	6 2.4%	
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	27 93.1%	0 0.0%	2 6.9%
	関東	71 100.0%	67 94.4%	2 2.8%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	43 93.5%	2 4.3%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	46 95.8%	1 2.1%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

学生の実習可否判断基準（発熱、自覚症状、健康観察の結果、行動履歴など）

	合計	学生の实習可否判断基準（発熱、自覚症状、健康観察の結果、行動履歴など）			
		調整あり	調整なし	無回答	
全体	247 100.0%	236 95.5%	5 2.0%	6 2.4%	
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	26 89.7%	1 3.4%	2 6.9%
	関東	71 100.0%	69 97.2%	0 0.0%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	43 93.5%	2 4.3%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	47 97.9%	0 0.0%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	25 92.6%	2 7.4%	0 0.0%

学生が感染もしくは、濃厚接触者になった場合の対応方法

	合計	学生が感染もしくは、濃厚接触者になった場合の対応方法			
		調整あり	調整なし	無回答	
全体	247 100.0%	236 95.5%	5 2.0%	6 2.4%	
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	26 89.7%	1 3.4%	2 6.9%
	関東	71 100.0%	68 95.8%	1 1.4%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	43 93.5%	2 4.3%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	中国・四国	26 100.0%	25 96.2%	0 0.0%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

2. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、ブルダウンリストから選択してください。

学生の実習時間外の過ごし方（都道府県外への外出、アルバイト等）

	合計	学生の实習時間外の過ごし方（都道府県外への外出、アルバイト等）			
		調整あり	調整なし	無回答	
全体	247 100.0%	230 93.1%	9 3.6%	8 3.2%	
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	25 86.2%	1 3.4%	3 10.3%
	関東	71 100.0%	68 95.8%	1 1.4%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	41 89.1%	4 8.7%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	45 93.8%	2 4.2%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	25 96.2%	0 0.0%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%

PCR検査等の実施と結果の開示

	合計	PCR検査等の実施と結果の開示			
		調整あり	調整なし	無回答	
全体	247 100.0%	134 54.3%	103 41.7%	10 4.0%	
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	17 58.6%	9 31.0%	3 10.3%
	関東	71 100.0%	43 60.6%	26 36.6%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	19 41.3%	24 52.2%	3 6.5%
	関西・近畿	48 100.0%	28 58.3%	19 39.6%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	10 38.5%	15 57.7%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	17 63.0%	10 37.0%	0 0.0%

受け持ち患者

	合計	受け持ち患者			
		調整あり	調整なし	無回答	
全体	247 100.0%	178 72.1%	58 23.5%	11 4.5%	
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	16 55.2%	8 27.6%	5 17.2%
	関東	71 100.0%	51 71.8%	18 25.4%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	31 67.4%	13 28.3%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	37 77.1%	10 20.8%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	20 76.9%	5 19.2%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	23 85.2%	4 14.8%	0 0.0%

実習方法の調整（申し送り参加、看護ケア方法、見学への変更など）

	合計	実習方法の調整（申し送り参加、看護ケア方法、見学への変更など）			
		調整あり	調整なし	無回答	
全体	247 100.0%	202 81.8%	34 13.8%	11 4.5%	
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	18 62.1%	6 20.7%	5 17.2%
	関東	71 100.0%	59 83.1%	10 14.1%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	37 80.4%	7 15.2%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	41 85.4%	6 12.5%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	22 84.6%	3 11.5%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	25 92.6%	2 7.4%	0 0.0%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

2. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

カンファレンス開催方法

	合計	カンファレンス開催方法			
		調整あり	調整なし	無回答	
全体	247 100.0%	199 80.6%	38 15.4%	10 4.0%	
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	18 62.1%	7 24.1%	4 13.8%
	関東	71 100.0%	59 83.1%	10 14.1%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	36 78.3%	8 17.4%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	41 85.4%	6 12.5%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	22 84.6%	3 11.5%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	23 85.2%	4 14.8%	0 0.0%

電子カルテならびにカルテ室の使用方法

	合計	電子カルテならびにカルテ室の使用方法			
		調整あり	調整なし	無回答	
全体	247 100.0%	157 63.6%	80 32.4%	10 4.0%	
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	12 41.4%	13 44.8%	4 13.8%
	関東	71 100.0%	42 59.2%	27 38.0%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	27 58.7%	17 37.0%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	37 77.1%	10 20.8%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	18 69.2%	7 26.9%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	21 77.8%	6 22.2%	0 0.0%

学生記録場所の確保と3密対策

	合計	学生記録場所の確保と3密対策			
		調整あり	調整なし	無回答	
全体	247 100.0%	209 84.6%	28 11.3%	10 4.0%	
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	20 69.0%	5 17.2%	4 13.8%
	関東	71 100.0%	60 84.5%	9 12.7%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	38 82.6%	6 13.0%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	42 87.5%	5 10.4%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	24 92.3%	1 3.8%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	25 92.6%	2 7.4%	0 0.0%

学生更衣場所の確保と3密対策

	合計	学生更衣場所の確保と3密対策			
		調整あり	調整なし	無回答	
全体	247 100.0%	211 85.4%	25 10.1%	11 4.5%	
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	20 69.0%	4 13.8%	5 17.2%
	関東	71 100.0%	61 85.9%	8 11.3%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	38 82.6%	6 13.0%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	44 91.7%	3 6.3%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	24 92.3%	1 3.8%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	24 88.9%	3 11.1%	0 0.0%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

2. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

学生昼食場所の確保と3密対策

		合計	学生昼食場所の確保と3密対策		
			調整あり	調整なし	無回答
全体		247 100.0%	218 88.3%	18 7.3%	11 4.5%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	21 72.4%	3 10.3%	5 17.2%
	関東	71 100.0%	64 90.1%	5 7.0%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	39 84.8%	5 10.9%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	44 91.7%	3 6.3%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	25 96.2%	0 0.0%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	25 92.6%	2 7.4%	0 0.0%

学生が使用する更衣室・昼食場所等の消毒

		合計	学生が使用する更衣室・昼食場所等の消毒		
			調整あり	調整なし	無回答
全体		247 100.0%	208 84.2%	28 11.3%	11 4.5%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	21 72.4%	3 10.3%	5 17.2%
	関東	71 100.0%	62 87.3%	7 9.9%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	34 73.9%	10 21.7%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	43 89.6%	4 8.3%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	25 96.2%	0 0.0%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	23 85.2%	4 14.8%	0 0.0%

感染防護用具の準備

		合計	感染防護用具の準備		
			調整あり	調整なし	無回答
全体		247 100.0%	227 91.9%	13 5.3%	7 2.8%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	25 86.2%	1 3.4%	3 10.3%
	関東	71 100.0%	67 94.4%	2 2.8%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	40 87.0%	5 10.9%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	45 93.8%	2 4.2%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	24 88.9%	3 11.1%	0 0.0%

実習施設への入室方法（入り口、入室時の健康チェックなど）

		合計	実習施設への入室方法（入り口、入室時の健康チェックなど）		
			調整あり	調整なし	無回答
全体		247 100.0%	210 85.0%	27 10.9%	10 4.0%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	19 65.5%	5 17.2%	5 17.2%
	関東	71 100.0%	62 87.3%	7 9.9%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	38 82.6%	7 15.2%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	44 91.7%	3 6.3%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	23 88.5%	2 7.7%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	24 88.9%	3 11.1%	0 0.0%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

2. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

実習施設設備の使用方法（エレベーター、廊下、売店など）

		合計	実習施設設備の使用方法（エレベーター、廊下、売店など）		
			調整あり	調整なし	無回答
全体		247 100.0%	177 71.7%	60 24.3%	10 4.0%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	16 55.2%	8 27.6%	5 17.2%
	関東	71 100.0%	52 73.2%	17 23.9%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	30 65.2%	15 32.6%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	37 77.1%	10 20.8%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	19 73.1%	6 23.1%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	23 85.2%	4 14.8%	0 0.0%

実習施設の移動可能場所、病棟までの通路など

		合計	実習施設の移動可能場所、病棟までの通路など		
			調整あり	調整なし	無回答
全体		247 100.0%	178 72.1%	59 23.9%	10 4.0%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	15 51.7%	9 31.0%	5 17.2%
	関東	71 100.0%	53 74.6%	16 22.5%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	34 73.9%	11 23.9%	1 2.2%
	関西・近畿	48 100.0%	36 75.0%	11 22.9%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	20 76.9%	5 19.2%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	20 74.1%	7 25.9%	0 0.0%

実習委託費の変更

		合計	実習委託費の変更		
			調整あり	調整なし	無回答
全体		247 100.0%	65 26.3%	171 69.2%	11 4.5%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	6 20.7%	19 65.5%	4 13.8%
	関東	71 100.0%	18 25.4%	51 71.8%	2 2.8%
	中部	46 100.0%	7 15.2%	36 78.3%	3 6.5%
	関西・近畿	48 100.0%	17 35.4%	30 62.5%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	9 34.6%	17 65.4%	0 0.0%
	九州・沖縄	27 100.0%	8 29.6%	18 66.7%	1 3.7%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

3. COVID-19 流行による看護学実習経費への影響についてお答えください。

- 1) 学生が実習で使用する主な感染防護用具の購入者について、プルダウンリストから選択してください。

実習時のマスク

		合計	実習時のマスク			
			学生	大学	実習施設	無回答
全体		247 100.0%	68 27.5%	156 63.2%	9 3.6%	14 5.7%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	12 41.4%	16 55.2%	1 3.4%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	15 21.1%	47 66.2%	3 4.2%	6 8.5%
	中部	46 100.0%	14 30.4%	27 58.7%	2 4.3%	3 6.5%
	関西・近畿	48 100.0%	9 18.8%	36 75.0%	1 2.1%	2 4.2%
	中国・四国	26 100.0%	7 26.9%	17 65.4%	1 3.8%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	11 40.7%	13 48.1%	1 3.7%	2 7.4%

患者ケア時のサージカルマスク

		合計	患者ケア時のサージカルマスク			
			学生	大学	実習施設	無回答
全体		247 100.0%	30 12.1%	155 62.8%	43 17.4%	19 7.7%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	5 17.2%	22 75.9%	1 3.4%	1 3.4%
	関東	71 100.0%	5 7.0%	38 53.5%	22 31.0%	6 8.5%
	中部	46 100.0%	6 13.0%	24 52.2%	10 21.7%	6 13.0%
	関西・近畿	48 100.0%	7 14.6%	38 79.2%	1 2.1%	2 4.2%
	中国・四国	26 100.0%	3 11.5%	18 69.2%	4 15.4%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	4 14.8%	15 55.6%	5 18.5%	3 11.1%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

3. COVID-19 流行による看護学実習経費への影響についてお答えください。

1) 学生が実習で使用する主な感染防護用具の購入者について、プルダウンリストから選択してください。

フェイスシールド

		合計	フェイスシールド			
			学生	大学	実習施設	無回答
全体		247 100.0%	10 4.0%	191 77.3%	20 8.1%	26 10.5%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	0 0.0%	19 65.5%	5 17.2%	5 17.2%
	関東	71 100.0%	4 5.6%	53 74.6%	7 9.9%	7 9.9%
	中部	46 100.0%	0 0.0%	39 84.8%	4 8.7%	3 6.5%
	関西・近畿	48 100.0%	4 8.3%	39 81.3%	2 4.2%	3 6.3%
	中国・四国	26 100.0%	0 0.0%	23 88.5%	1 3.8%	2 7.7%
	九州・沖縄	27 100.0%	2 7.4%	18 66.7%	1 3.7%	6 22.2%

使い捨てエプロン

		合計	使い捨てエプロン			
			学生	大学	実習施設	無回答
全体		247 100.0%	2 0.8%	119 48.2%	110 44.5%	16 6.5%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	0 0.0%	15 51.7%	14 48.3%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	1 1.4%	24 33.8%	40 56.3%	6 8.5%
	中部	46 100.0%	0 0.0%	27 58.7%	16 34.8%	3 6.5%
	関西・近畿	48 100.0%	1 2.1%	26 54.2%	19 39.6%	2 4.2%
	中国・四国	26 100.0%	0 0.0%	15 57.7%	9 34.6%	2 7.7%
	九州・沖縄	27 100.0%	0 0.0%	12 44.4%	12 44.4%	3 11.1%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

3. COVID-19 流行による看護学実習経費への影響についてお答えください。

- 1) 学生が実習で使用する主な感染防護用具の購入者について、プルダウンリストから選択してください。

使い捨て手袋

		合計	使い捨て手袋			
			学生	大学	実習施設	無回答
全体		247 100.0%	3 1.2%	109 44.1%	122 49.4%	13 5.3%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	1 3.4%	11 37.9%	17 58.6%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	0 0.0%	23 32.4%	42 59.2%	6 8.5%
	中部	46 100.0%	1 2.2%	26 56.5%	17 37.0%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	1 2.1%	23 47.9%	22 45.8%	2 4.2%
	中国・四国	26 100.0%	0 0.0%	13 50.0%	12 46.2%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	0 0.0%	13 48.1%	12 44.4%	2 7.4%

速乾性手指消毒剤

		合計	速乾性手指消毒剤			
			学生	大学	実習施設	無回答
全体		247 100.0%	7 2.8%	177 71.7%	48 19.4%	15 6.1%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	0 0.0%	20 69.0%	9 31.0%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	2 2.8%	47 66.2%	16 22.5%	6 8.5%
	中部	46 100.0%	1 2.2%	36 78.3%	6 13.0%	3 6.5%
	関西・近畿	48 100.0%	3 6.3%	41 85.4%	2 4.2%	2 4.2%
	中国・四国	26 100.0%	1 3.8%	15 57.7%	9 34.6%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	0 0.0%	18 66.7%	6 22.2%	3 11.1%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

3. COVID-19 流行による看護学実習経費への影響についてお答えください。

2) 実習に関連する経常経費予算の執行額の変化について、プルダウンリストから選択してください。

実習委託費

		合計	実習委託費			
			減額	変化なし	増額	無回答
全体		247 100.0%	113 45.7%	120 48.6%	4 1.6%	10 4.0%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	17 58.6%	12 41.4%	0 0.0%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	31 43.7%	35 49.3%	1 1.4%	4 5.6%
	中部	46 100.0%	16 34.8%	27 58.7%	1 2.2%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	23 47.9%	22 45.8%	2 4.2%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	15 57.7%	10 38.5%	0 0.0%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	11 40.7%	14 51.9%	0 0.0%	2 7.4%

学生・教員の実習に伴う旅費

		合計	学生・教員の実習に伴う旅費			
			減額	変化なし	増額	無回答
全体		247 100.0%	115 46.6%	114 46.2%	9 3.6%	9 3.6%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	11 37.9%	17 58.6%	1 3.4%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	35 49.3%	29 40.8%	3 4.2%	4 5.6%
	中部	46 100.0%	19 41.3%	23 50.0%	2 4.3%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	25 52.1%	20 41.7%	2 4.2%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	12 46.2%	12 46.2%	1 3.8%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	13 48.1%	13 48.1%	0 0.0%	1 3.7%

通信費（郵送、電話、インターネット回線費用など）

		合計	通信費（郵送、電話、インターネット回線費用など）			
			減額	変化なし	増額	無回答
全体		247 100.0%	5 2.0%	127 51.4%	106 42.9%	9 3.6%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	1 3.4%	19 65.5%	9 31.0%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	1 1.4%	35 49.3%	31 43.7%	4 5.6%
	中部	46 100.0%	0 0.0%	27 58.7%	17 37.0%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	0 0.0%	19 39.6%	28 58.3%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	0 0.0%	14 53.8%	11 42.3%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	3 11.1%	13 48.1%	10 37.0%	1 3.7%

消耗品（文房具、コピー代など）

		合計	消耗品（文房具、コピー代など）			
			減額	変化なし	増額	無回答
全体		247 100.0%	17 6.9%	164 66.4%	57 23.1%	9 3.6%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	0 0.0%	22 75.9%	7 24.1%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	13 18.3%	42 59.2%	12 16.9%	4 5.6%
	中部	46 100.0%	1 2.2%	32 69.6%	11 23.9%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	0 0.0%	32 66.7%	15 31.3%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	1 3.8%	17 65.4%	7 26.9%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	2 7.4%	19 70.4%	5 18.5%	1 3.7%

調査A <日本看護系大学協議会(JANPU)>

3. COVID-19 流行による看護学実習経費への影響についてお答えください。
 2) 実習に関連する経常経費予算の執行額の変化について、プルダウンリストから選択してください。

人件費

		合計	人件費			
			減額	変化なし	増額	無回答
全体		247 100.0%	30 12.1%	183 74.1%	25 10.1%	9 3.6%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	5 17.2%	21 72.4%	3 10.3%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	12 16.9%	50 70.4%	5 7.0%	4 5.6%
	中部	46 100.0%	6 13.0%	34 73.9%	4 8.7%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	2 4.2%	38 79.2%	7 14.6%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	2 7.7%	19 73.1%	4 15.4%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	3 11.1%	21 77.8%	2 7.4%	1 3.7%

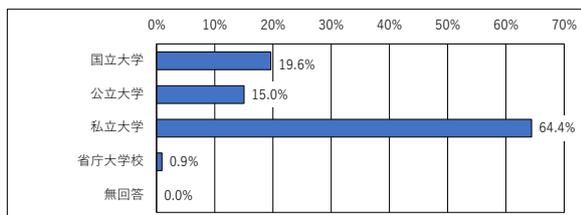
教材費（書籍、視聴覚教材、実習室物品など）

		合計	教材費（書籍、視聴覚教材、実習室物品など）			
			減額	変化なし	増額	無回答
全体		247 100.0%	3 1.2%	81 32.8%	154 62.3%	9 3.6%
設置ブロック	北海道・東北	29 100.0%	0 0.0%	7 24.1%	22 75.9%	0 0.0%
	関東	71 100.0%	3 4.2%	22 31.0%	42 59.2%	4 5.6%
	中部	46 100.0%	0 0.0%	18 39.1%	26 56.5%	2 4.3%
	関西・近畿	48 100.0%	0 0.0%	14 29.2%	33 68.8%	1 2.1%
	中国・四国	26 100.0%	0 0.0%	9 34.6%	16 61.5%	1 3.8%
	九州・沖縄	27 100.0%	0 0.0%	11 40.7%	15 55.6%	1 3.7%

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

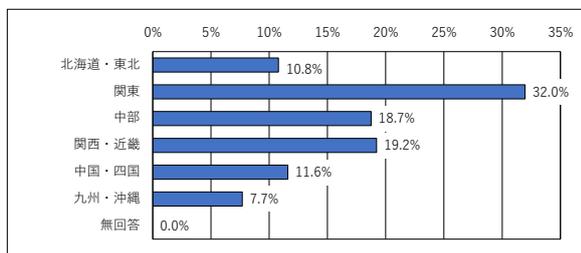
国公立区分

No.	カテゴリ名	n	%
1	国立大学	291	19.6%
2	公立大学	223	15.0%
3	私立大学	955	64.4%
4	省庁大学校	14	0.9%
	無回答	0	0.0%
	全体	1483	100.0%



設置ブロック

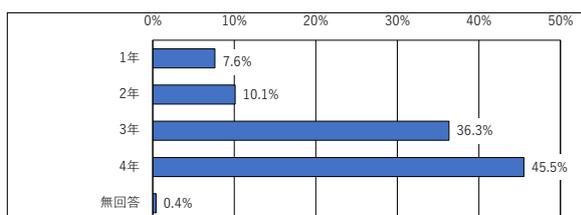
No.	カテゴリ名	n	%
1	北海道・東北	160	10.8%
2	関東	474	32.0%
3	中部	278	18.7%
4	関西・近畿	285	19.2%
5	中国・四国	172	11.6%
6	九州・沖縄	114	7.7%
7	無回答	0	0.0%
	全体	1483	100.0%



I. ご担当の実習科目についてご記入ください。

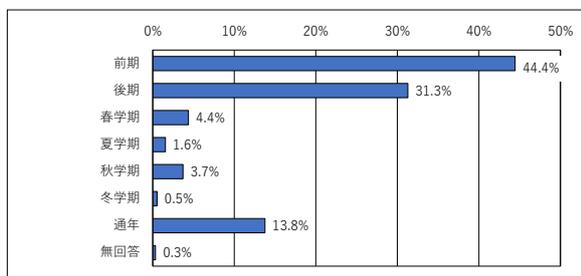
学年等

No.	カテゴリ名	n	%
1	1年	113	7.6%
2	2年	150	10.1%
3	3年	539	36.3%
4	4年	675	45.5%
	無回答	6	0.4%
	全体	1483	100.0%



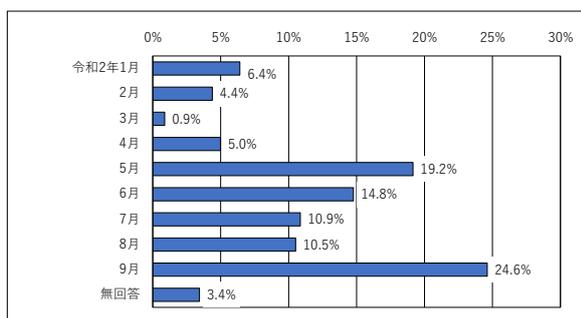
開講学期

No.	カテゴリ名	n	%
1	前期	659	44.4%
2	後期	464	31.3%
3	春学期	65	4.4%
4	夏学期	23	1.6%
5	秋学期	55	3.7%
6	冬学期	8	0.5%
7	通年	204	13.8%
	無回答	5	0.3%
	全体	1483	100.0%



実習開講時期(予定時期_2020年)

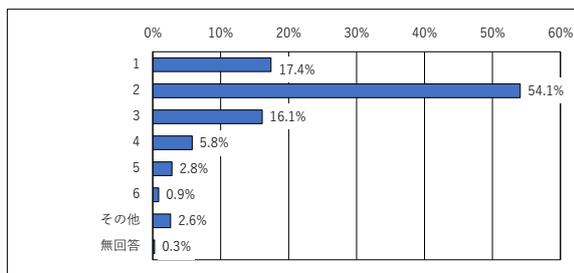
No.	カテゴリ名	n	%
1	令和2年1月	95	6.4%
2	2月	65	4.4%
3	3月	13	0.9%
4	4月	74	5.0%
5	5月	284	19.2%
6	6月	219	14.8%
7	7月	161	10.9%
8	8月	156	10.5%
9	9月	365	24.6%
	無回答	51	3.4%
	全体	1483	100.0%



調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

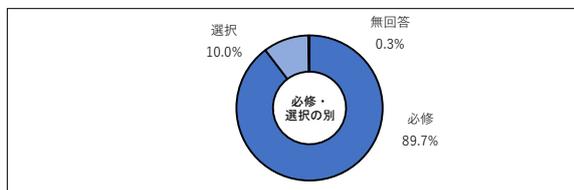
単位数

No.	カテゴリー名	n	%
1		258	17.4%
2		802	54.1%
3		239	16.1%
4		86	5.8%
5		42	2.8%
6		13	0.9%
7	その他	39	2.6%
	無回答	4	0.3%
	全体	1483	100.0%



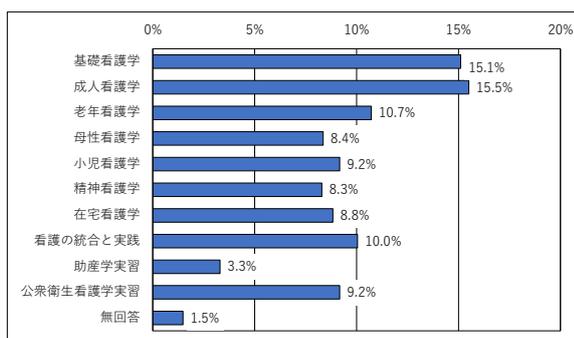
必修・選択の別

No.	カテゴリー名	n	%
1	必修	1330	89.7%
2	選択	149	10.0%
	無回答	4	0.3%
	全体	1483	100.0%



該当する専門領域

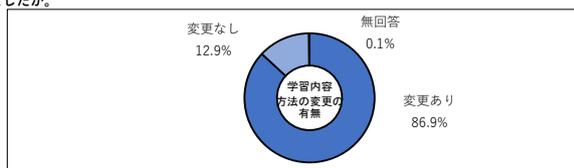
No.	カテゴリー名	n	%
1	基礎看護学	224	15.1%
2	成人看護学	230	15.5%
3	老年看護学	159	10.7%
4	母性看護学	124	8.4%
5	小児看護学	136	9.2%
6	精神看護学	123	8.3%
7	在宅看護学	131	8.8%
8	看護の統合と実践	149	10.0%
9	助産学実習	49	3.3%
10	公衆衛生看護学実習	136	9.2%
	無回答	22	1.5%
	全体	1483	100.0%



II. COVID-19 流行による社会的影響を受け、ご担当の科目において、実習内容・方法を変更しましたか。

実習内容・方法の変更の有無

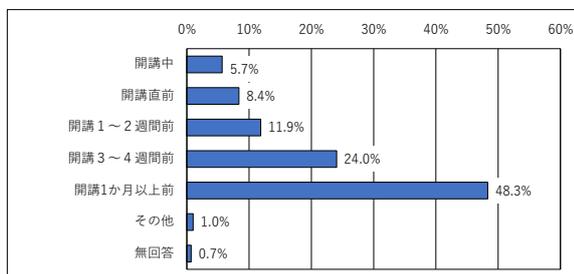
No.	カテゴリー名	n	%
1	変更あり⇒以下の質問に回答ください	1289	86.9%
2	変更なし⇒回答はここで終了です	192	12.9%
	無回答	2	0.1%
	全体	1483	100.0%



III. ご担当の科目の実習内容・方法の変更について、お尋ねします。

変更決定時期

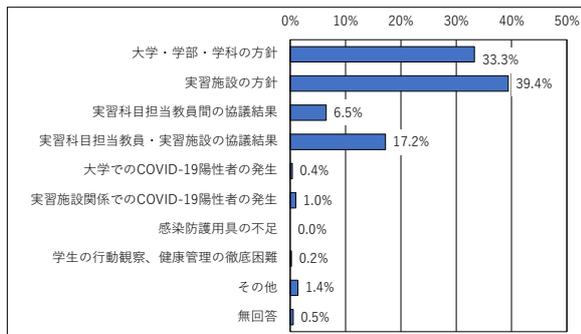
No.	カテゴリー名	n	%
1	開講中	73	5.7%
2	開講直前	108	8.4%
3	開講1～2週間前	153	11.9%
4	開講3～4週間前	310	24.0%
5	開講1か月以上前	623	48.3%
6	その他	13	1.0%
	無回答	9	0.7%
	非該当	194	0.0%
	全体	1289	100.0%



調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

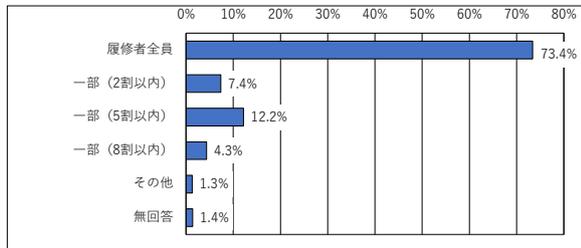
変更理由 (主たる理由1つを選択ください)

No.	カテゴリー名	n	%
1	大学・学部・学科の方針	429	33.3%
2	実習施設の方針	508	39.4%
3	実習科目担当教員間の協議結果	84	6.5%
4	実習科目担当教員・実習施設の協議結果	222	17.2%
5	大学でのCOVID-19陽性者の発生	5	0.4%
6	実習施設関係でのCOVID-19陽性者の発生	13	1.0%
7	感染防護用具 (マスク、手指消毒剤) の不足	0	0.0%
8	学生の行動観察、健康管理の徹底困難	3	0.2%
9	その他	18	1.4%
	無回答	7	0.5%
	非該当	194	0.0%
	全体	1289	100.0%



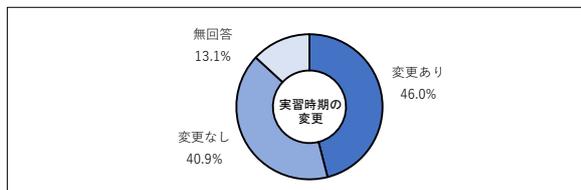
変更した学生数

No.	カテゴリー名	n	%
1	履修者全員	946	73.4%
2	一部 (2割以内)	95	7.4%
3	一部 (5割以内)	157	12.2%
4	一部 (8割以内)	56	4.3%
5	その他	17	1.3%
	無回答	18	1.4%
	非該当	194	0.0%
	全体	1289	100.0%



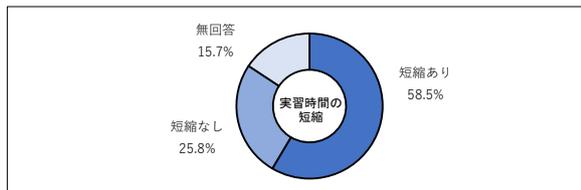
臨床での実習時期の変更 (延期含む)

No.	カテゴリー名	n	%
1	変更あり	593	46.0%
2	変更なし	527	40.9%
	無回答	169	13.1%
	非該当	194	0.0%
	全体	1289	100.0%



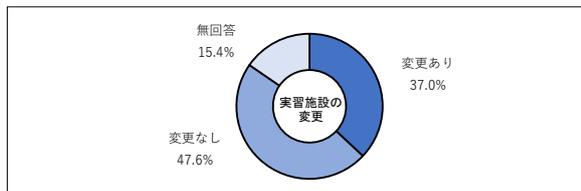
臨床での実習時間の短縮

No.	カテゴリー名	n	%
1	短縮あり	754	58.5%
2	短縮なし	333	25.8%
	無回答	202	15.7%
	非該当	194	0.0%
	全体	1289	100.0%



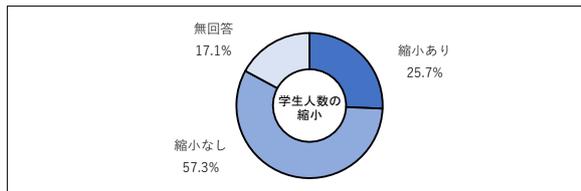
実習施設の変更

No.	カテゴリー名	n	%
1	変更あり	477	37.0%
2	変更なし	614	47.6%
	無回答	198	15.4%
	非該当	194	0.0%
	全体	1289	100.0%



実習施設ごとの学生人数の縮小

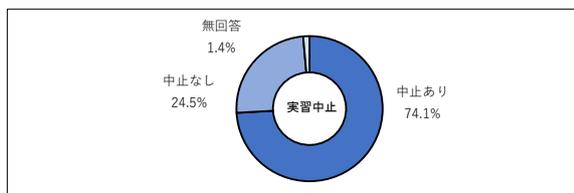
No.	カテゴリー名	n	%
1	縮小あり	331	25.7%
2	縮小なし	738	57.3%
	無回答	220	17.1%
	非該当	194	0.0%
	全体	1289	100.0%



調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

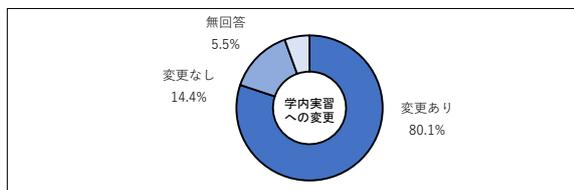
臨地での実習中止

No.	カテゴリー名	n	%
1	中止あり	955	74.1%
2	中止なし	316	24.5%
	無回答	18	1.4%
	非該当	194	
	全体	1289	100.0%



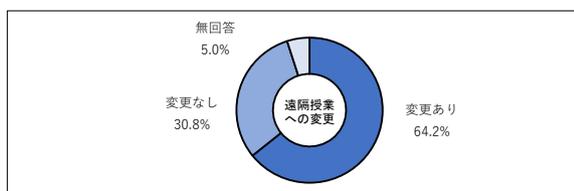
学内実習への変更

No.	カテゴリー名	n	%
1	変更あり	1033	80.1%
2	変更なし	185	14.4%
	無回答	71	5.5%
	非該当	194	
	全体	1289	100.0%



遠隔授業形式※による実習への変更

No.	カテゴリー名	n	%
1	変更あり	828	64.2%
2	変更なし	397	30.8%
	無回答	64	5.0%
	非該当	194	
	全体	1289	100.0%

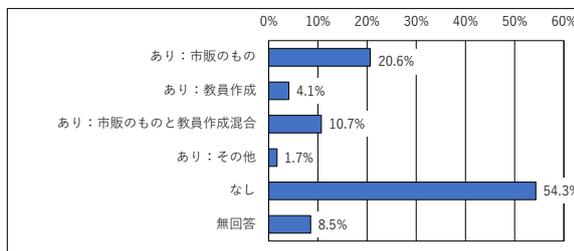


IV. 臨地での実習延期・短縮・中止に伴う、実習内容・方法変更の対応・工夫（代替え）についてお聞かせください。

1. 対応・工夫（代替え）の実際

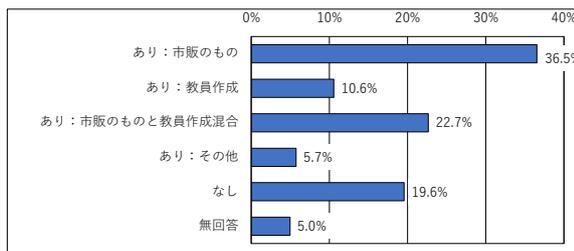
シミュレーターの活用

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり：市販のもの	266	20.6%
2	あり：教員作成	53	4.1%
3	あり：市販のものと教員作成混合	138	10.7%
4	あり：その他	22	1.7%
5	なし	700	54.3%
	無回答	110	8.5%
	非該当	194	
	全体	1289	100.0%



視聴覚教材の活用

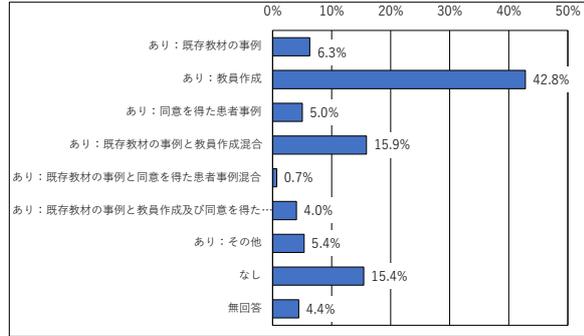
No.	カテゴリー名	n	%
1	あり：市販のもの	471	36.5%
2	あり：教員作成	136	10.6%
3	あり：市販のものと教員作成混合	292	22.7%
4	あり：その他	74	5.7%
5	なし	252	19.6%
	無回答	64	5.0%
	非該当	194	
	全体	1289	100.0%



調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

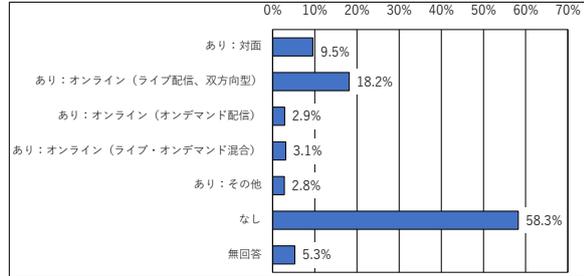
事例の活用

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり：既存教材の事例	81	6.3%
2	あり：教員作成	552	42.8%
3	あり：同意を得た患者事例	65	5.0%
4	あり：既存教材の事例と教員作成混合	205	15.9%
5	あり：既存教材の事例と同意を得た患者事例混合	9	0.7%
6	あり：既存教材の事例と教員作成及び同意を得た患者事例混合	52	4.0%
7	あり：その他	69	5.4%
8	なし	199	15.4%
	無回答	57	4.4%
	非該当	194	
	全体	1289	100.0%



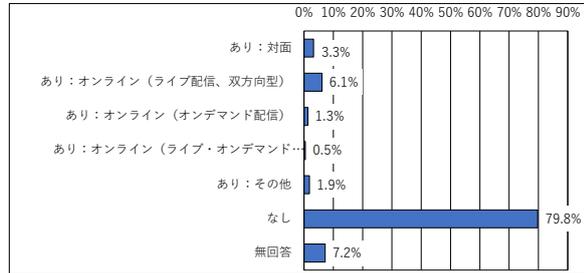
実習指導者の招聘

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり：対面	123	9.5%
2	あり：オンライン（ライブ配信、双方向型）	234	18.2%
3	あり：オンライン（オンデマンド配信）	37	2.9%
4	あり：オンライン（ライブ・オンデマンド混合）	40	3.1%
5	あり：その他	36	2.8%
6	なし	751	58.3%
	無回答	68	5.3%
	非該当	194	
	全体	1289	100.0%



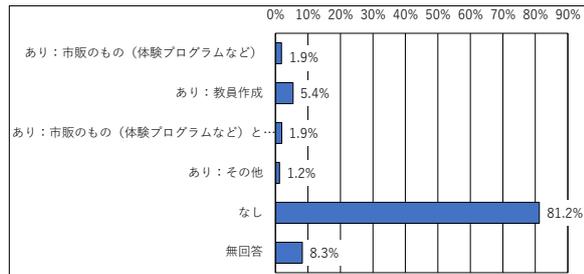
患者（看護の対象）の招聘

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり：対面	42	3.3%
2	あり：オンライン（ライブ配信、双方向型）	79	6.1%
3	あり：オンライン（オンデマンド配信）	17	1.3%
4	あり：オンライン（ライブ・オンデマンド混合）	6	0.5%
5	あり：その他	24	1.9%
6	なし	1028	79.8%
	無回答	93	7.2%
	非該当	194	0.0%
	全体	1289	100.0%



XR（仮想現実VR、拡張現実AR、複合現実MR）演習

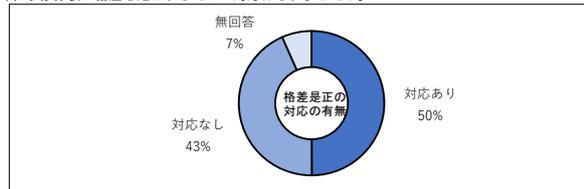
No.	カテゴリー名	n	%
1	あり：市販のもの（体験プログラムなど）	24	1.9%
2	あり：教員作成	70	5.4%
3	あり：市販のもの（体験プログラムなど）と教員作成の混合	25	1.9%
4	あり：その他	16	1.2%
5	なし	1047	81.2%
	無回答	107	8.3%
	非該当	194	0.0%
	全体	1289	100.0%



2. 学生によって実習内容・方法が異なった場合(例：臨地での実習有無、受け持ち患者の有無など)、学修体験の格差を是正するための対応はされましたか。

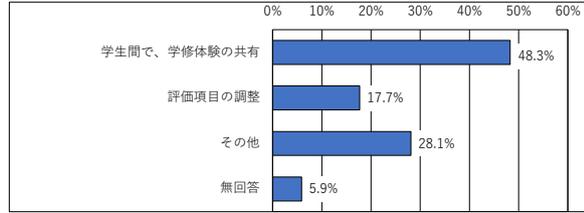
1) 学修体験の格差を是正するための対応の有無

No.	カテゴリー名	n	%
1	対応あり	644	50.0%
2	対応なし	560	43.4%
	無回答	85	6.6%
	非該当	194	0.0%
	全体	1289	100.0%



2) 対応の具体的な内容

No.	カテゴリー名	n	%
1	学生間で、学修体験の共有	311	48.3%
2	評価項目の調整	114	17.7%
3	その他	181	28.1%
	無回答	38	5.9%
	非該当	839	0.0%
	全体	644	100.0%

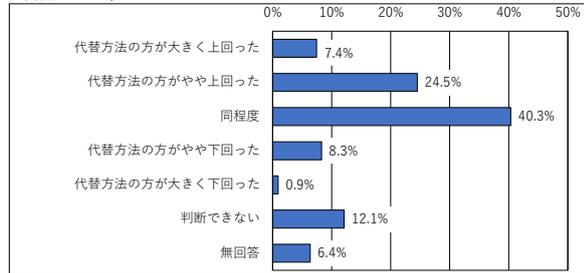


3. 臨地での実習短縮・中止に伴い、実習内容・方法の変更への対応・工夫（代替え）の結果、実習目標の到達状況についてお聞かせください。

1) 知識・技術・態度に関する実習目標の到達状況について、通常の実習内容・方法と比べてご回答ください。

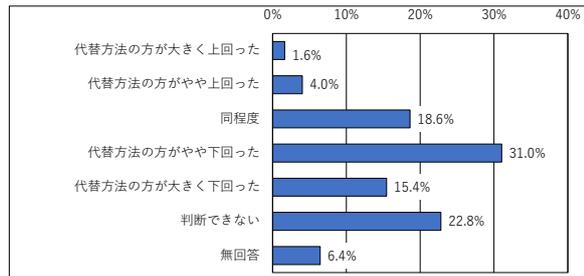
知識に関すること

No.	カテゴリー名	n	%
1	代替方法の方が大きく上回った	96	7.4%
2	代替方法の方がやや上回った	316	24.5%
3	同程度	520	40.3%
4	代替方法の方がやや下回った	107	8.3%
5	代替方法の方が大きく下回った	12	0.9%
6	判断できない	156	12.1%
	無回答	82	6.4%
	非該当	194	0.0%
	全体	1289	100.0%



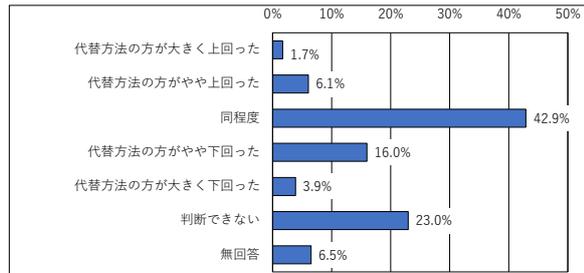
技術に関すること

No.	カテゴリー名	n	%
1	代替方法の方が大きく上回った	21	1.6%
2	代替方法の方がやや上回った	52	4.0%
3	同程度	240	18.6%
4	代替方法の方がやや下回った	400	31.0%
5	代替方法の方が大きく下回った	199	15.4%
6	判断できない	294	22.8%
	無回答	83	6.4%
	非該当	194	0.0%
	全体	1289	100.0%



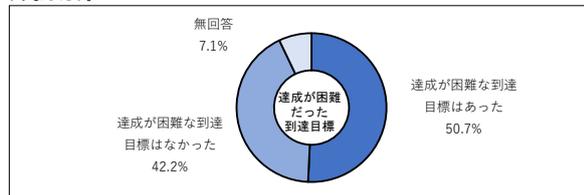
態度に関すること

No.	カテゴリー名	n	%
1	代替方法の方が大きく上回った	22	1.7%
2	代替方法の方がやや上回った	78	6.1%
3	同程度	553	42.9%
4	代替方法の方がやや下回った	206	16.0%
5	代替方法の方が大きく下回った	50	3.9%
6	判断できない	296	23.0%
	無回答	84	6.5%
	非該当	194	0.0%
	全体	1289	100.0%



2) 実習内容・方法の変更への対応・工夫(代替え)を行っても、到達が困難であった到達目標はありましたか。

No.	カテゴリー名	n	%
1	達成が困難な到達目標はあった	654	50.7%
2	達成が困難な到達目標はなかった	544	42.2%
	無回答	91	7.1%
	非該当	194	0.0%
	全体	1289	100.0%



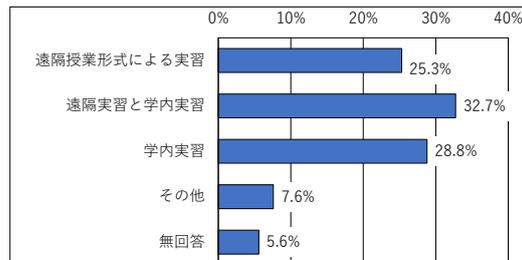
調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

V. 臨地での実習延期・短縮・中止に伴う、ご担当科目の実習形態の変更についてお聞かせください。

1. 実習形態について、プルダウンリストから選択してください。

実習形態について

カテゴリー名	n	%
遠隔授業形式による実習	326	25.3%
遠隔実習と学内実習	422	32.7%
学内実習	371	28.8%
その他	98	7.6%
無回答	72	5.6%
非該当	194	
全体	1289	100.0%



2. 遠隔授業形式による実習と学内実習でのよかった点を選択してください。

1) 遠隔授業形式による実習のよかった点

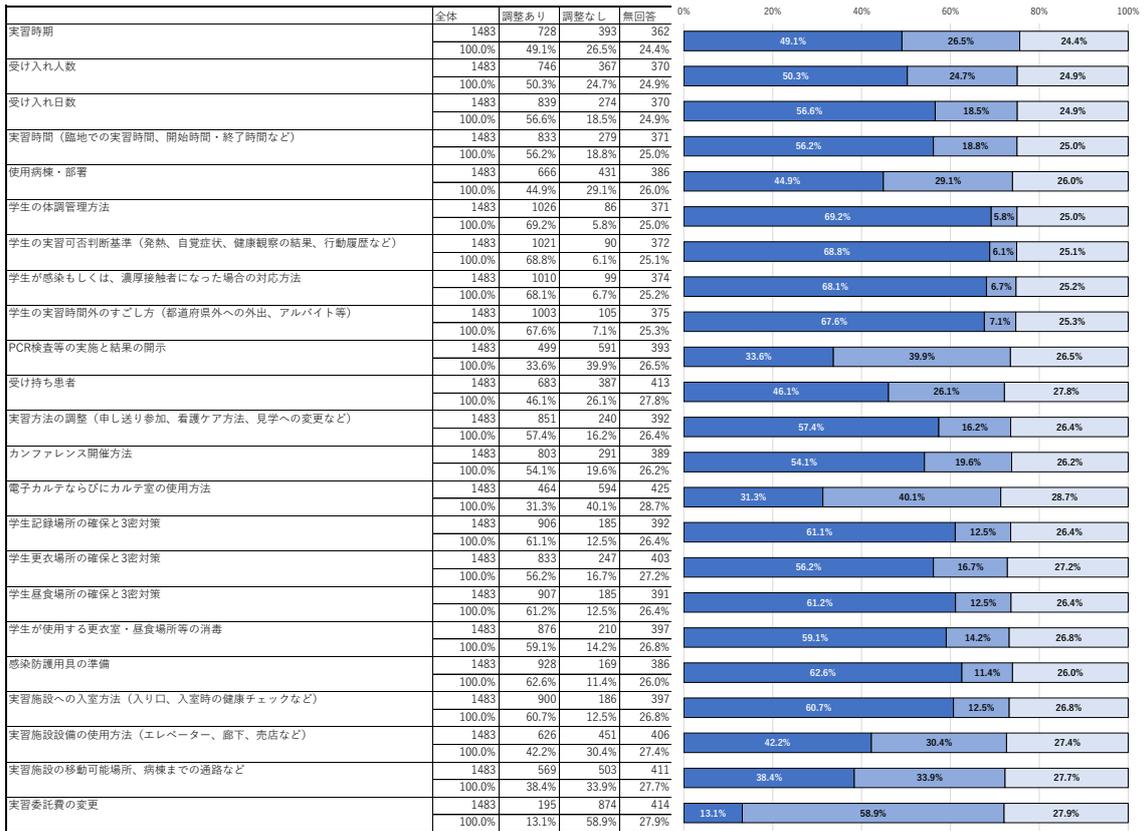
	全体	よかった点であると思う	よかった点であるとは思わない	無回答
学生の学修進度が把握しやすい	846	487	248	111
	100.0%	57.6%	29.3%	13.1%
学生の参加状況が把握しやすい	846	508	229	109
	100.0%	60.0%	27.1%	12.9%
学生に教材が提示しやすい	846	487	248	111
	100.0%	57.6%	29.3%	13.1%
学生とコミュニケーションがとりやすい	846	266	472	108
	100.0%	31.4%	55.8%	12.8%
実習の準備が軽減した	846	68	653	125
	100.0%	8.0%	77.2%	14.8%
学生の学修意欲が高まった	846	224	497	125
	100.0%	26.5%	58.7%	14.8%
学生の自己学修時間が増えた	846	524	203	119
	100.0%	61.9%	24.0%	14.1%

2) 学内実習のよかった点

	全体	よかった点であると思う	よかった点であるとは思わない	無回答
学生の学修進度が把握しやすい	891	632	146	113
	100.0%	70.9%	16.4%	12.7%
学生の参加状況が把握しやすい	891	645	128	118
	100.0%	72.4%	14.4%	13.2%
学生に教材が提示しやすい	891	579	195	117
	100.0%	65.0%	21.9%	13.1%
学生とコミュニケーションがとりやすい	891	610	163	118
	100.0%	68.5%	18.3%	13.2%
実習の準備が軽減した	891	82	679	130
	100.0%	9.2%	76.2%	14.6%
学生の学修意欲が高まった	891	323	437	131
	100.0%	36.3%	49.0%	14.7%
学生の自己学修時間が増えた	891	497	267	127
	100.0%	55.8%	30.0%	14.3%

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

VII. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、ブルダウンリストから選択してください。



調査B<日本看護系大学協議会(JANPU)>

1. ご担当の実習科目についてご記入ください。

	合計	学年等					
		1	2	3	4	無回答	
全体	1483	113	150	539	675	6	
	100.0%	7.6%	10.1%	36.3%	45.5%	0.4%	
該当する専門領域	基礎看護学	224	92	113	8	11	0
		100.0%	41.1%	50.4%	3.6%	4.9%	0.0%
	成人看護学	230	1	3	141	85	0
		100.0%	0.4%	1.3%	61.3%	37.0%	0.0%
	老年看護学	159	3	15	88	53	0
		100.0%	1.9%	9.4%	55.3%	33.3%	0.0%
	母性看護学	124	1	2	76	45	0
		100.0%	0.8%	1.6%	61.3%	36.3%	0.0%
	小児看護学	136	1	4	86	45	0
		100.0%	0.7%	2.9%	63.2%	33.1%	0.0%
	精神看護学	123	1	3	64	54	1
		100.0%	0.8%	2.4%	52.0%	43.9%	0.8%
	在宅看護学	131	1	0	56	73	1
		100.0%	0.8%	0.0%	42.7%	55.7%	0.8%
看護の統合と実践	149	3	5	4	136	1	
	100.0%	2.0%	3.4%	2.7%	91.3%	0.7%	
助産学実習	49	0	0	0	49	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
公衆衛生看護学実習	136	4	1	12	119	0	
	100.0%	2.9%	0.7%	8.8%	87.5%	0.0%	
無回答	22	6	4	4	5	3	
	100.0%	27.3%	18.2%	18.2%	22.7%	13.6%	
設置ブロック	北海道・東北	160	9	13	63	85	0
		100.0%	5.6%	8.1%	33.1%	53.1%	0.0%
	関東	474	30	50	188	205	1
		100.0%	6.3%	10.5%	39.7%	43.2%	0.2%
	中部	278	23	27	85	141	2
		100.0%	8.3%	9.7%	30.6%	50.7%	0.7%
	関西・近畿	285	29	32	110	113	1
		100.0%	10.2%	11.2%	38.6%	39.6%	0.4%
中国・四国	172	11	16	57	87	1	
	100.0%	6.4%	9.3%	33.1%	50.6%	0.6%	
九州・沖縄	114	11	12	46	44	1	
	100.0%	9.6%	10.5%	40.4%	38.6%	0.9%	

	合計	開講学期								
		前期	後期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	通年	無回答	
全体	1483	659	464	65	23	55	8	204	5	
	100.0%	44.4%	31.3%	4.4%	1.6%	3.7%	0.5%	13.8%	0.3%	
該当する専門領域	基礎看護学	224	109	73	10	11	9	1	9	2
		100.0%	48.7%	32.6%	4.5%	4.9%	4.0%	0.4%	4.0%	0.9%
	成人看護学	230	82	93	8	3	10	1	33	0
		100.0%	35.7%	40.4%	3.5%	1.3%	4.3%	0.4%	14.3%	0.0%
	老年看護学	159	58	71	8	3	5	0	14	0
		100.0%	36.5%	44.7%	5.0%	1.9%	3.1%	0.0%	8.8%	0.0%
	母性看護学	124	35	53	4	0	6	1	25	0
		100.0%	28.2%	42.7%	3.2%	0.0%	4.8%	0.8%	20.2%	0.0%
	小児看護学	136	48	52	3	0	7	2	24	0
		100.0%	35.3%	38.2%	2.2%	0.0%	5.1%	1.5%	17.6%	0.0%
	精神看護学	123	47	45	3	0	5	2	21	0
		100.0%	38.2%	36.6%	2.4%	0.0%	4.1%	1.6%	17.1%	0.0%
	在宅看護学	131	70	37	7	1	5	1	10	0
		100.0%	53.4%	28.2%	5.3%	0.8%	3.8%	0.8%	7.6%	0.0%
看護の統合と実践	149	108	14	11	4	1	0	11	0	
	100.0%	72.5%	9.4%	7.4%	2.7%	0.7%	0.0%	7.4%	0.0%	
助産学実習	49	16	5	0	0	1	0	27	0	
	100.0%	32.7%	10.2%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	55.1%	0.0%	
公衆衛生看護学実習	136	74	19	11	1	6	0	25	0	
	100.0%	54.4%	14.0%	8.1%	0.7%	4.4%	0.0%	18.4%	0.0%	
無回答	22	12	2	0	0	0	0	5	3	
	100.0%	54.5%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.7%	13.6%	
設置ブロック	北海道・東北	160	90	41	2	1	3	1	22	0
		100.0%	56.3%	25.6%	1.3%	0.6%	1.9%	0.6%	13.8%	0.0%
	関東	474	188	166	18	9	33	1	58	1
		100.0%	39.7%	35.0%	3.8%	1.9%	7.0%	0.2%	12.2%	0.2%
	中部	278	145	60	17	2	5	1	47	1
		100.0%	52.2%	21.6%	6.1%	0.7%	1.8%	0.4%	16.9%	0.4%
	関西・近畿	285	107	101	15	4	9	3	44	2
		100.0%	37.5%	35.4%	5.3%	1.4%	3.2%	1.1%	15.4%	0.7%
中国・四国	172	79	50	10	4	5	2	22	0	
	100.0%	45.9%	29.1%	5.8%	2.3%	2.9%	1.2%	12.8%	0.0%	
九州・沖縄	114	50	46	3	3	0	0	11	1	
	100.0%	43.9%	40.4%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	9.6%	0.9%	

調査B<日本看護系大学協議会(JANPU)>

	合計	実習開講時期（予定時期_2020年）										
		令和2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	無回答	
全体	1483	95	65	13	74	284	219	161	156	365	51	
	100.0%	6.4%	4.4%	0.9%	5.0%	19.2%	14.8%	10.9%	10.5%	24.6%	3.4%	
該当する専門領域	基礎看護学	224	8	36	7	3	8	21	25	60	50	6
		100.0%	3.6%	16.1%	3.1%	1.3%	3.6%	9.4%	11.2%	26.8%	22.3%	2.7%
	成人看護学	230	22	6	1	11	52	31	16	15	65	11
		100.0%	9.6%	2.6%	0.4%	4.8%	22.6%	13.5%	7.0%	6.5%	28.3%	4.8%
	老年看護学	159	11	3	2	9	35	17	10	15	53	4
		100.0%	6.9%	1.9%	1.3%	5.7%	22.0%	10.7%	6.3%	9.4%	33.3%	2.5%
	母性看護学	124	16	1	1	9	27	15	7	8	36	4
		100.0%	12.9%	0.8%	0.8%	7.3%	21.8%	12.1%	5.6%	6.5%	29.0%	3.2%
	小児看護学	136	13	4	1	6	29	13	10	7	48	5
		100.0%	9.6%	2.9%	0.7%	4.4%	21.3%	9.6%	7.4%	5.1%	35.3%	3.7%
	精神看護学	123	8	5	0	7	33	18	7	5	34	6
		100.0%	6.5%	4.1%	0.0%	5.7%	26.8%	14.6%	5.7%	4.1%	27.6%	4.9%
	在宅看護学	131	10	1	1	17	39	20	6	5	26	6
		100.0%	7.6%	0.8%	0.8%	13.0%	29.8%	15.3%	4.6%	3.8%	19.8%	4.6%
看護の統合と実践	149	0	1	0	4	19	25	57	19	23	1	
	100.0%	0.0%	0.7%	0.0%	2.7%	12.8%	16.8%	38.3%	12.8%	15.4%	0.7%	
助産学実習	49	0	1	0	2	2	19	9	11	3	2	
	100.0%	0.0%	2.0%	0.0%	4.1%	4.1%	38.8%	18.4%	22.4%	6.1%	4.1%	
公衆衛生看護学実習	136	5	5	0	6	37	38	11	9	22	3	
	100.0%	3.7%	3.7%	0.0%	4.4%	27.2%	27.9%	8.1%	6.6%	16.2%	2.2%	
無回答	22	2	2	0	0	3	2	3	2	5	3	
	100.0%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	13.6%	9.1%	13.6%	9.1%	22.7%	13.6%	
設置ブロック	北海道・東北	160	9	5	0	6	55	22	11	14	32	6
		100.0%	5.6%	3.1%	0.0%	3.8%	34.4%	13.8%	6.9%	8.8%	20.0%	3.8%
	関東	474	22	21	5	12	69	66	73	58	136	12
		100.0%	4.6%	4.4%	1.1%	2.5%	14.6%	13.9%	15.4%	12.2%	28.7%	2.5%
	中部	278	14	10	2	24	72	38	30	29	43	16
		100.0%	5.0%	3.6%	0.7%	8.6%	25.9%	13.7%	10.8%	10.4%	15.5%	5.8%
	関西・近畿	285	28	17	3	13	43	46	28	25	72	10
		100.0%	9.8%	6.0%	1.1%	4.6%	15.1%	16.1%	9.8%	8.8%	25.3%	3.5%
中国・四国	172	15	8	2	14	29	28	13	18	43	2	
	100.0%	8.7%	4.7%	1.2%	8.1%	16.9%	16.3%	7.6%	10.5%	25.0%	1.2%	
九州・沖縄	114	7	4	1	5	16	19	6	12	39	5	
	100.0%	6.1%	3.5%	0.9%	4.4%	14.0%	16.7%	5.3%	10.5%	34.2%	4.4%	

	合計	単位数								無回答
		1	2	3	4	5	6	その他		
全体	1483	258	802	239	86	42	13	39	4	
	100.0%	17.4%	54.1%	16.1%	5.8%	2.8%	0.9%	2.6%	0.3%	
該当する専門領域	基礎看護学	224	107	109	4	2	1	0	1	0
		100.0%	47.8%	48.7%	1.8%	0.9%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%
	成人看護学	230	11	76	116	10	3	12	1	1
		100.0%	4.8%	33.0%	50.4%	4.3%	1.3%	5.2%	0.4%	0.4%
	老年看護学	159	31	63	38	25	0	0	2	0
		100.0%	19.5%	39.6%	23.9%	15.7%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%
	母性看護学	124	3	112	3	2	2	0	2	0
		100.0%	2.4%	90.3%	2.4%	1.6%	1.6%	0.0%	1.6%	0.0%
	小児看護学	136	21	99	11	3	1	0	1	0
		100.0%	15.4%	72.8%	8.1%	2.2%	0.7%	0.0%	0.7%	0.0%
	精神看護学	123	8	103	8	3	1	0	0	0
		100.0%	6.5%	83.7%	6.5%	2.4%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	在宅看護学	131	16	111	2	2	0	0	0	0
		100.0%	12.2%	84.7%	1.5%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
看護の統合と実践	149	24	99	18	6	2	0	0	0	
	100.0%	16.1%	66.4%	12.1%	4.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
助産学実習	49	5	6	4	0	2	0	32	0	
	100.0%	10.2%	12.2%	8.2%	0.0%	4.1%	0.0%	65.3%	0.0%	
公衆衛生看護学実習	136	23	18	32	32	30	1	0	0	
	100.0%	16.9%	13.2%	23.5%	23.5%	22.1%	0.7%	0.0%	0.0%	
無回答	22	9	6	3	1	0	0	0	3	
	100.0%	40.9%	27.3%	13.6%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	
設置ブロック	北海道・東北	160	26	85	33	6	6	1	3	0
		100.0%	16.3%	53.1%	20.6%	3.8%	3.8%	0.6%	1.9%	0.0%
	関東	474	87	261	75	24	12	5	8	2
		100.0%	18.4%	55.1%	15.8%	5.1%	2.5%	1.1%	1.7%	0.4%
	中部	278	50	155	42	13	6	1	10	1
		100.0%	18.0%	55.8%	15.1%	4.7%	2.2%	0.4%	3.6%	0.4%
	関西・近畿	285	47	146	51	23	4	4	10	0
		100.0%	16.5%	51.2%	17.9%	8.1%	1.4%	1.4%	3.5%	0.0%
中国・四国	172	27	97	25	10	7	0	6	0	
	100.0%	15.7%	56.4%	14.5%	5.8%	4.1%	0.0%	3.5%	0.0%	
九州・沖縄	114	21	58	13	10	7	2	2	1	
	100.0%	18.4%	50.9%	11.4%	8.8%	6.1%	1.8%	1.8%	0.9%	

調査B<日本看護系大学協議会(JANPU)>

	合計	必修・選択の別				
		必修	選択	無回答		
全体	1483 100.0%	1330 89.7%	149 10.0%	4 0.3%		
該当する専門領域	基礎看護学	224 100.0%	224 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	成人看護学	230 100.0%	226 98.3%	4 1.7%	0 0.0%	
	老年看護学	159 100.0%	158 99.4%	1 0.6%	0 0.0%	
	母性看護学	124 100.0%	120 96.8%	4 3.2%	0 0.0%	
	小児看護学	136 100.0%	132 97.1%	4 2.9%	0 0.0%	
	精神看護学	123 100.0%	121 98.4%	2 1.6%	0 0.0%	
	在宅看護学	131 100.0%	129 98.5%	2 1.5%	0 0.0%	
	看護の統合と実践	149 100.0%	141 94.6%	8 5.4%	0 0.0%	
	助産学実習	49 100.0%	15 30.6%	34 69.4%	0 0.0%	
	公衆衛生看護学実習	136 100.0%	46 33.8%	89 65.4%	1 0.7%	
	無回答	22 100.0%	18 81.8%	1 4.5%	3 13.6%	
	設置ブロック	北海道・東北	160 100.0%	142 88.8%	18 11.3%	0 0.0%
		関東	474 100.0%	424 89.5%	49 10.3%	1 0.2%
中部		278 100.0%	253 91.0%	24 8.6%	1 0.4%	
関西・近畿		285 100.0%	253 88.8%	31 10.9%	1 0.4%	
中国・四国		172 100.0%	153 89.0%	19 11.0%	0 0.0%	
九州・沖縄		114 100.0%	105 92.1%	8 7.0%	1 0.9%	

	合計	該当する専門領域											
		基礎看護学	成人看護学	老年看護学	母性看護学	小児看護学	精神看護学	在宅看護学	看護の統合と実践	助産学実習	公衆衛生看護学実習	無回答	
全体	1483 100.0%	224 15.1%	230 15.5%	159 10.7%	124 8.4%	136 9.2%	123 8.3%	131 8.8%	149 10.0%	49 3.3%	136 9.2%	22 1.5%	
設置ブロック	北海道・東北	160 100.0%	18 11.3%	23 14.4%	21 13.1%	12 7.5%	17 10.6%	12 7.5%	15 9.4%	3 1.9%	20 12.5%	2 1.3%	
	関東	474 100.0%	73 15.4%	82 17.3%	43 9.1%	37 7.8%	44 9.3%	45 9.5%	39 8.2%	63 13.3%	10 2.1%	35 7.4%	3 0.6%
	中部	278 100.0%	42 15.1%	44 15.8%	30 10.8%	25 9.0%	30 10.8%	23 8.3%	21 7.6%	26 9.4%	13 4.7%	22 7.9%	2 0.7%
	関西・近畿	285 100.0%	47 16.5%	39 13.7%	36 12.6%	25 8.8%	21 7.4%	20 7.0%	27 9.5%	20 7.0%	14 4.9%	24 8.4%	12 4.2%
	中国・四国	172 100.0%	24 14.0%	25 14.5%	16 9.3%	13 7.6%	14 8.1%	16 9.3%	17 9.9%	15 8.7%	7 4.1%	23 13.4%	2 1.2%
	九州・沖縄	114 100.0%	20 17.5%	17 14.9%	13 11.4%	12 10.5%	10 8.8%	7 6.1%	10 8.8%	10 8.8%	2 1.8%	12 10.5%	1 0.9%

II. COVID-19 流行による社会的影響を受け、ご担当の科目において、実習内容・方法を変更しましたか。

	合計	実習内容・方法の変更の有無				
		変更あり	変更なし	無回答		
全体	1483 100.0%	1289 86.9%	192 12.9%	2 0.1%		
該当する専門領域	基礎看護学	224 100.0%	177 79.0%	46 20.5%	1 0.4%	
	成人看護学	230 100.0%	196 85.2%	34 14.8%	0 0.0%	
	老年看護学	159 100.0%	143 89.9%	16 10.1%	0 0.0%	
	母性看護学	124 100.0%	107 86.3%	17 13.7%	0 0.0%	
	小児看護学	136 100.0%	121 89.0%	15 11.0%	0 0.0%	
	精神看護学	123 100.0%	105 85.4%	18 14.6%	0 0.0%	
	在宅看護学	131 100.0%	116 88.5%	15 11.5%	0 0.0%	
	看護の統合と実践	149 100.0%	141 94.6%	8 5.4%	0 0.0%	
	助産学実習	49 100.0%	44 89.8%	5 10.2%	0 0.0%	
	公衆衛生看護学実習	136 100.0%	123 90.4%	13 9.6%	0 0.0%	
	無回答	22 100.0%	16 72.7%	5 22.7%	1 4.5%	
	設置ブロック	北海道・東北	160 100.0%	141 88.1%	19 11.9%	0 0.0%
		関東	474 100.0%	423 89.2%	51 10.8%	0 0.0%
中部		278 100.0%	246 88.5%	32 11.5%	0 0.0%	
関西・近畿		285 100.0%	243 85.3%	42 14.7%	0 0.0%	
中国・四国		172 100.0%	140 81.4%	32 18.6%	0 0.0%	
九州・沖縄		114 100.0%	96 84.2%	16 14.0%	2 1.8%	

調査B<日本看護系大学協議会(JANPU)>

Ⅲ. ご担当の科目の実習内容・方法の変更について、お尋ねします。

	合計	変更決定時期							無回答	
		開講中	開講直前	開講1～2週 間前	開講3～4週 間前	開講1か月以 上前	その他			
全体	1289 100.0%	73 5.7%	108 8.4%	153 11.9%	310 24.0%	623 48.3%	13 1.0%	9 0.7%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	11 6.2%	13 7.3%	12 6.8%	30 16.9%	108 61.0%	1 0.6%	2 1.1%	
	成人看護学	196 100.0%	15 7.7%	15 7.7%	24 12.2%	55 28.1%	83 42.3%	2 1.0%	2 1.0%	
	老年看護学	143 100.0%	4 2.8%	15 10.5%	23 16.1%	35 24.5%	64 44.8%	2 1.4%	0 0.0%	
	母性看護学	107 100.0%	6 5.6%	7 6.5%	14 13.1%	38 35.5%	42 39.3%	0 0.0%	0 0.0%	
	小児看護学	121 100.0%	11 9.1%	6 5.0%	21 17.4%	21 17.4%	56 46.3%	3 2.5%	3 2.5%	
	精神看護学	105 100.0%	5 4.8%	8 7.6%	15 14.3%	22 21.0%	54 51.4%	1 1.0%	0 0.0%	
	在宅看護学	116 100.0%	6 5.2%	16 13.8%	15 12.9%	37 31.9%	42 36.2%	0 0.0%	0 0.0%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	6 4.3%	6 4.3%	7 5.0%	27 19.1%	93 66.0%	2 1.4%	0 0.0%	
	助産学実習	44 100.0%	4 9.1%	9 20.5%	8 18.2%	5 11.4%	17 38.6%	1 2.3%	0 0.0%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	2 1.6%	10 8.1%	13 10.6%	38 30.9%	58 47.2%	1 0.8%	1 0.8%	
	無回答	16 100.0%	3 18.8%	3 18.8%	1 6.3%	2 12.5%	6 37.5%	0 0.0%	1 6.3%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	13 9.2%	9 6.4%	18 12.8%	34 24.1%	66 46.8%	1 0.7%	0 0.0%
		関東	423 100.0%	11 2.6%	19 4.5%	39 9.2%	103 24.3%	246 58.2%	4 0.9%	1 0.2%
中部		246 100.0%	18 7.3%	28 11.4%	31 12.6%	61 24.8%	103 41.9%	3 1.2%	2 0.8%	
関西・近畿		243 100.0%	17 7.0%	18 7.4%	33 13.6%	57 23.5%	116 47.7%	1 0.4%	1 0.4%	
中国・四国		140 100.0%	8 5.7%	26 18.6%	21 15.0%	25 17.9%	56 40.0%	3 2.1%	1 0.7%	
九州・沖縄		96 100.0%	6 6.3%	8 8.3%	11 11.5%	30 31.3%	36 37.5%	1 1.0%	4 4.2%	

	合計	変更理由（主たる理由1つを選択ください）										
		大学・学部・ 学科の方針	実習施設の方 針	実習科目担当 教員間の協議 結果	実習科目担当 教員・実習施 設の協議結果	大学での COVID-19陽 性者の発生	実習施設関係 でのCOVID- 19陽性者の 発生	感染防護用具 (マスク、手 指消毒剤)の 不足	学生の行 動観察、 健康管理 の徹底困 難	その他	無回答	
全体	1289 100.0%	429 33.3%	508 39.4%	84 6.5%	222 17.2%	5 0.4%	13 1.0%	0 0.0%	3 0.2%	18 1.4%	7 0.5%	
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	56 31.6%	54 30.5%	23 13.0%	38 21.5%	0 0.0%	2 1.1%	0 0.0%	1 0.6%	2 1.1%	
	成人看護学	196 100.0%	67 34.2%	81 41.3%	14 7.1%	23 11.7%	1 0.5%	5 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.5%	
	老年看護学	143 100.0%	39 27.3%	58 40.6%	8 5.6%	33 23.1%	1 0.7%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.1%	
	母性看護学	107 100.0%	43 40.2%	42 39.3%	5 4.7%	15 14.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	
	小児看護学	121 100.0%	42 34.7%	43 35.5%	6 5.0%	25 20.7%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	
	精神看護学	105 100.0%	43 41.0%	43 41.0%	6 5.7%	10 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.9%	
	在宅看護学	116 100.0%	43 37.1%	40 34.5%	5 4.3%	24 20.7%	1 0.9%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	1 0.9%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	50 35.5%	54 38.3%	11 7.8%	23 16.3%	2 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	
	助産学実習	44 100.0%	9 20.5%	25 56.8%	1 2.3%	7 15.9%	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.3%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	33 26.8%	60 48.8%	4 3.3%	22 17.9%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.4%	
	無回答	16 100.0%	4 25.0%	8 50.0%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	57 40.4%	43 30.5%	12 8.5%	27 19.1%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%
		関東	423 100.0%	148 35.0%	150 35.5%	28 6.6%	83 19.6%	2 0.5%	3 0.7%	0 0.0%	2 0.5%	6 1.4%
中部		246 100.0%	88 35.8%	94 38.2%	13 5.3%	41 16.7%	1 0.4%	5 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.2%	
関西・近畿		243 100.0%	77 31.7%	111 45.7%	18 7.4%	28 11.5%	1 0.4%	4 1.6%	0 0.0%	1 0.4%	3 1.2%	
中国・四国		140 100.0%	33 23.6%	75 53.6%	6 4.3%	23 16.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.4%	
九州・沖縄		96 100.0%	26 27.1%	35 36.5%	7 7.3%	20 20.8%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.1%	

調査B<日本看護系大学協議会(JANPU)>

Ⅲ. ご担当の科目の実習内容・方法の変更について、お尋ねします。

	合計	変更した学生数							
		履修者全員	一部(2割以内)	一部(5割以内)	一部(8割以内)	その他	無回答		
全体	1289 100.0%	946 73.4%	95 7.4%	157 12.2%	56 4.3%	17 1.3%	18 1.4%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	154 87.0%	7 4.0%	8 4.5%	3 1.7%	2 1.1%	3 1.7%	
	成人看護学	196 100.0%	127 64.8%	18 9.2%	33 16.8%	13 6.6%	1 0.5%	4 2.0%	
	老年看護学	143 100.0%	107 74.8%	9 6.3%	14 9.8%	11 7.7%	2 1.4%	0 0.0%	
	母性看護学	107 100.0%	64 59.8%	14 13.1%	19 17.8%	7 6.5%	2 1.9%	1 0.9%	
	小児看護学	121 100.0%	83 68.6%	7 5.8%	24 19.8%	2 1.7%	1 0.8%	4 3.3%	
	精神看護学	105 100.0%	71 67.6%	7 6.7%	19 18.1%	7 6.7%	0 0.0%	1 1.0%	
	在宅看護学	116 100.0%	79 68.1%	11 9.5%	18 15.5%	4 3.4%	1 0.9%	3 2.6%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	117 83.0%	11 7.8%	7 5.0%	2 1.4%	3 2.1%	1 0.7%	
	助産学実習	44 100.0%	39 88.6%	2 4.5%	2 4.5%	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	95 77.2%	7 5.7%	10 8.1%	7 5.7%	4 3.3%	0 0.0%	
	無回答	16 100.0%	10 62.5%	2 12.5%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	111 78.7%	3 2.1%	19 13.5%	4 2.8%	2 1.4%	2 1.4%
		関東	423 100.0%	334 79.0%	24 5.7%	42 9.9%	13 3.1%	6 1.4%	4 0.9%
中部		246 100.0%	166 67.5%	26 10.6%	34 13.8%	13 5.3%	5 2.0%	2 0.8%	
関西・近畿		243 100.0%	174 71.6%	20 8.2%	31 12.8%	14 5.8%	2 0.8%	2 0.8%	
中国・四国		140 100.0%	101 72.1%	8 5.7%	19 13.6%	9 6.4%	2 1.4%	1 0.7%	
九州・沖縄		96 100.0%	60 62.5%	14 14.6%	12 12.5%	3 3.1%	0 0.0%	7 7.3%	

	合計	臨地での実習時期の変更(延期含む)				
		変更あり	変更なし	無回答		
全体	1289 100.0%	593 46.0%	527 40.9%	169 13.1%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	74 41.8%	78 44.1%	25 14.1%	
	成人看護学	196 100.0%	90 45.9%	83 42.3%	23 11.7%	
	老年看護学	143 100.0%	53 37.1%	67 46.9%	23 16.1%	
	母性看護学	107 100.0%	54 50.5%	44 41.1%	9 8.4%	
	小児看護学	121 100.0%	55 45.5%	49 40.5%	17 14.0%	
	精神看護学	105 100.0%	47 44.8%	43 41.0%	15 14.3%	
	在宅看護学	116 100.0%	44 37.9%	53 45.7%	19 16.4%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	61 43.3%	55 39.0%	25 17.7%	
	助産学実習	44 100.0%	35 79.5%	7 15.9%	2 4.5%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	71 57.7%	46 37.4%	6 4.9%	
	無回答	16 100.0%	9 56.3%	2 12.5%	5 31.3%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	61 43.3%	54 38.3%	26 18.4%
		関東	423 100.0%	203 48.0%	167 39.5%	53 12.5%
中部		246 100.0%	113 45.9%	102 41.5%	31 12.6%	
関西・近畿		243 100.0%	112 46.1%	102 42.0%	29 11.9%	
中国・四国		140 100.0%	59 42.1%	63 45.0%	18 12.9%	
九州・沖縄		96 100.0%	45 46.9%	39 40.6%	12 12.5%	

調査B<日本看護系大学協議会(JANPU)>

Ⅲ. ご担当の科目の実習内容・方法の変更について、お尋ねします。

	合計	臨地での実習時間の短縮				
		短縮あり	短縮なし	無回答		
全体	1289 100.0%	754 58.5%	333 25.8%	202 15.7%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	103 58.2%	44 24.9%	30 16.9%	
	成人看護学	196 100.0%	116 59.2%	47 24.0%	33 16.8%	
	老年看護学	143 100.0%	83 58.0%	31 21.7%	29 20.3%	
	母性看護学	107 100.0%	65 60.7%	31 29.0%	11 10.3%	
	小児看護学	121 100.0%	72 59.5%	31 25.6%	18 14.9%	
	精神看護学	105 100.0%	61 58.1%	28 26.7%	16 15.2%	
	在宅看護学	116 100.0%	61 52.6%	37 31.9%	18 15.5%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	78 55.3%	35 24.8%	28 19.9%	
	助産学実習	44 100.0%	31 70.5%	10 22.7%	3 6.8%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	78 63.4%	36 29.3%	9 7.3%	
	無回答	16 100.0%	6 37.5%	3 18.8%	7 43.8%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	68 48.2%	44 31.2%	29 20.6%
		関東	423 100.0%	262 61.9%	95 22.5%	66 15.6%
		中部	246 100.0%	132 53.7%	79 32.1%	35 14.2%
関西・近畿		243 100.0%	147 60.5%	61 25.1%	35 14.4%	
中国・四国		140 100.0%	82 58.6%	33 23.6%	25 17.9%	
九州・沖縄		96 100.0%	63 65.6%	21 21.9%	12 12.5%	

	合計	実習施設の変更				
		変更あり	変更なし	無回答		
全体	1289 100.0%	477 37.0%	614 47.6%	198 15.4%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	62 35.0%	86 48.6%	29 16.4%	
	成人看護学	196 100.0%	50 25.5%	114 58.2%	32 16.3%	
	老年看護学	143 100.0%	60 42.0%	58 40.6%	25 17.5%	
	母性看護学	107 100.0%	39 36.4%	57 53.3%	11 10.3%	
	小児看護学	121 100.0%	43 35.5%	59 48.8%	19 15.7%	
	精神看護学	105 100.0%	36 34.3%	52 49.5%	17 16.2%	
	在宅看護学	116 100.0%	56 48.3%	41 35.3%	19 16.4%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	56 39.7%	55 39.0%	30 21.3%	
	助産学実習	44 100.0%	26 59.1%	15 34.1%	3 6.8%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	42 34.1%	74 60.2%	7 5.7%	
	無回答	16 100.0%	7 43.8%	3 18.8%	6 37.5%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	55 39.0%	57 40.4%	29 20.6%
		関東	423 100.0%	172 40.7%	186 44.0%	65 15.4%
		中部	246 100.0%	79 32.1%	133 54.1%	34 13.8%
関西・近畿		243 100.0%	95 39.1%	114 46.9%	34 14.0%	
中国・四国		140 100.0%	46 32.9%	73 52.1%	21 15.0%	
九州・沖縄		96 100.0%	30 31.3%	51 53.1%	15 15.6%	

調査B<日本看護系大学協議会(JANPU)>

Ⅲ. ご担当の科目の実習内容・方法の変更について、お尋ねします。

		合計	実習施設ごとの学生人数の縮小		
			縮小あり	縮小なし	無回答
全体		1289 100.0%	331 25.7%	738 57.3%	220 17.1%
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	61 34.5%	83 46.9%	33 18.6%
	成人看護学	196 100.0%	48 24.5%	116 59.2%	32 16.3%
	老年看護学	143 100.0%	34 23.8%	78 54.5%	31 21.7%
	母性看護学	107 100.0%	35 32.7%	60 56.1%	12 11.2%
	小児看護学	121 100.0%	39 32.2%	60 49.6%	22 18.2%
	精神看護学	105 100.0%	27 25.7%	61 58.1%	17 16.2%
	在宅看護学	116 100.0%	33 28.4%	63 54.3%	20 17.2%
	看護の統合と実践	141 100.0%	28 19.9%	82 58.2%	31 22.0%
	助産学実習	44 100.0%	11 25.0%	30 68.2%	3 6.8%
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	13 10.6%	99 80.5%	11 8.9%
	無回答	16 100.0%	2 12.5%	6 37.5%	8 50.0%
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	38 27.0%	71 50.4%
関東		423 100.0%	121 28.6%	229 54.1%	73 17.3%
中部		246 100.0%	58 23.6%	153 62.2%	35 14.2%
関西・近畿		243 100.0%	59 24.3%	147 60.5%	37 15.2%
中国・四国		140 100.0%	32 22.9%	82 58.6%	26 18.6%
九州・沖縄		96 100.0%	23 24.0%	56 58.3%	17 17.7%

		合計	臨地での実習中止		
			中止あり	中止なし	無回答
全体		1289 100.0%	955 74.1%	316 24.5%	18 1.4%
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	113 63.8%	62 35.0%	2 1.1%
	成人看護学	196 100.0%	137 69.9%	53 27.0%	6 3.1%
	老年看護学	143 100.0%	117 81.8%	25 17.5%	1 0.7%
	母性看護学	107 100.0%	87 81.3%	20 18.7%	0 0.0%
	小児看護学	121 100.0%	97 80.2%	22 18.2%	2 1.7%
	精神看護学	105 100.0%	82 78.1%	23 21.9%	0 0.0%
	在宅看護学	116 100.0%	99 85.3%	15 12.9%	2 1.7%
	看護の統合と実践	141 100.0%	104 73.8%	35 24.8%	2 1.4%
	助産学実習	44 100.0%	29 65.9%	15 34.1%	0 0.0%
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	79 64.2%	43 35.0%	1 0.8%
	無回答	16 100.0%	11 68.8%	3 18.8%	2 12.5%
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	113 80.1%	27 19.1%
関東		423 100.0%	301 71.2%	118 27.9%	4 0.9%
中部		246 100.0%	179 72.8%	64 26.0%	3 1.2%
関西・近畿		243 100.0%	195 80.2%	47 19.3%	1 0.4%
中国・四国		140 100.0%	102 72.9%	35 25.0%	3 2.1%
九州・沖縄		96 100.0%	65 67.7%	25 26.0%	6 6.3%

調査B<日本看護系大学協議会(JANPU)>

Ⅲ. ご担当の科目の実習内容・方法の変更について、お尋ねします。

	合計	学内実習への変更				
		変更あり	変更なし	無回答		
全体	1289 100.0%	1033 80.1%	185 14.4%	71 5.5%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	141 79.7%	29 16.4%	7 4.0%	
	成人看護学	196 100.0%	160 81.6%	26 13.3%	10 5.1%	
	老年看護学	143 100.0%	111 77.6%	19 13.3%	13 9.1%	
	母性看護学	107 100.0%	92 86.0%	11 10.3%	4 3.7%	
	小児看護学	121 100.0%	101 83.5%	14 11.6%	6 5.0%	
	精神看護学	105 100.0%	86 81.9%	15 14.3%	4 3.8%	
	在宅看護学	116 100.0%	85 73.3%	20 17.2%	11 9.5%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	111 78.7%	20 14.2%	10 7.1%	
	助産学実習	44 100.0%	34 77.3%	9 20.5%	1 2.3%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	100 81.3%	20 16.3%	3 2.4%	
	無回答	16 100.0%	12 75.0%	2 12.5%	2 12.5%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	117 83.0%	15 10.6%	9 6.4%
		関東	423 100.0%	328 77.5%	68 16.1%	27 6.4%
		中部	246 100.0%	197 80.1%	39 15.9%	10 4.1%
関西・近畿		243 100.0%	205 84.4%	26 10.7%	12 4.9%	
中国・四国		140 100.0%	112 80.0%	23 16.4%	5 3.6%	
九州・沖縄		96 100.0%	74 77.1%	14 14.6%	8 8.3%	

	合計	遠隔授業形式※による実習への変更				
		変更あり	変更なし	無回答		
全体	1289 100.0%	828 64.2%	397 30.8%	64 5.0%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	97 54.8%	69 39.0%	11 6.2%	
	成人看護学	196 100.0%	133 67.9%	53 27.0%	10 5.1%	
	老年看護学	143 100.0%	94 65.7%	35 24.5%	14 9.8%	
	母性看護学	107 100.0%	75 70.1%	30 28.0%	2 1.9%	
	小児看護学	121 100.0%	82 67.8%	32 26.4%	7 5.8%	
	精神看護学	105 100.0%	72 68.6%	30 28.6%	3 2.9%	
	在宅看護学	116 100.0%	81 69.8%	33 28.4%	2 1.7%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	93 66.0%	40 28.4%	8 5.7%	
	助産学実習	44 100.0%	15 34.1%	28 63.6%	1 2.3%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	78 63.4%	42 34.1%	3 2.4%	
	無回答	16 100.0%	8 50.0%	5 31.3%	3 18.8%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	81 57.4%	52 36.9%	8 5.7%
		関東	423 100.0%	288 68.1%	117 27.7%	18 4.3%
		中部	246 100.0%	158 64.2%	75 30.5%	13 5.3%
関西・近畿		243 100.0%	171 70.4%	60 24.7%	12 4.9%	
中国・四国		140 100.0%	71 50.7%	62 44.3%	7 5.0%	
九州・沖縄		96 100.0%	59 61.5%	31 32.3%	6 6.3%	

調査B<日本看護系大学協議会(JANPU)>

IV. 臨地での実習延期・短縮・中止に伴う、実習内容・方法変更の対応・工夫（代替え）についてお聞かせください。

1. 対応・工夫（代替え）の実態

	合計	シミュレーターの活用							
		あり：市販のもの	あり：教員作成	あり：市販のもの と教員作成混合	あり：その他	なし	無回答		
全体	1289 100.0%	266 20.6%	53 4.1%	138 10.7%	22 1.7%	700 54.3%	110 8.5%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	23 13.0%	4 2.3%	9 5.1%	5 2.8%	117 66.1%	19 10.7%	
	成人看護学	196 100.0%	54 27.6%	11 5.6%	32 16.3%	2 1.0%	80 40.8%	17 8.7%	
	老年看護学	143 100.0%	37 25.9%	5 3.5%	8 5.6%	4 2.8%	81 56.6%	8 5.6%	
	母性看護学	107 100.0%	49 45.8%	2 1.9%	19 17.8%	3 2.8%	30 28.0%	4 3.7%	
	小児看護学	121 100.0%	41 33.9%	6 5.0%	15 12.4%	3 2.5%	49 40.5%	7 5.8%	
	精神看護学	105 100.0%	2 1.9%	5 4.8%	6 5.7%	1 1.0%	82 78.1%	9 8.6%	
	在宅看護学	116 100.0%	10 8.6%	7 6.0%	10 8.6%	1 0.9%	74 63.8%	14 12.1%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	23 16.3%	3 2.1%	23 16.3%	2 1.4%	75 53.2%	15 10.6%	
	助産学実習	44 100.0%	21 47.7%	2 4.5%	10 22.7%	1 2.3%	8 18.2%	2 4.5%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	4 3.3%	8 6.5%	5 4.1%	0 0.0%	95 77.2%	11 8.9%	
	無回答	16 100.0%	2 12.5%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	9 56.3%	4 25.0%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	22 15.6%	3 2.1%	17 12.1%	4 2.8%	83 58.9%	12 8.5%
		関東	423 100.0%	94 22.2%	17 4.0%	34 8.0%	8 1.9%	239 56.5%	31 7.3%
		中部	246 100.0%	47 19.1%	12 4.9%	21 8.5%	4 1.6%	139 56.5%	23 9.3%
関西・近畿		243 100.0%	44 18.1%	13 5.3%	30 12.3%	5 2.1%	131 53.9%	20 8.2%	
中国・四国		140 100.0%	37 26.4%	4 2.9%	18 12.9%	0 0.0%	69 49.3%	12 8.6%	
九州・沖縄		96 100.0%	22 22.9%	4 4.2%	18 18.8%	1 1.0%	39 40.6%	12 12.5%	

	合計	視聴覚教材の活用							
		あり：市販のもの	あり：教員作成	あり：市販のもの と教員作成混合	あり：その他	なし	無回答		
全体	1289 100.0%	471 36.5%	136 10.6%	292 22.7%	74 5.7%	252 19.6%	64 5.0%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	48 27.1%	29 16.4%	25 14.1%	10 5.6%	50 28.2%	15 8.5%	
	成人看護学	196 100.0%	70 35.7%	23 11.7%	47 24.0%	4 2.0%	40 20.4%	12 6.1%	
	老年看護学	143 100.0%	67 46.9%	12 8.4%	33 23.1%	8 5.6%	21 14.7%	2 1.4%	
	母性看護学	107 100.0%	45 42.1%	12 11.2%	32 29.9%	3 2.8%	13 12.1%	2 1.9%	
	小児看護学	121 100.0%	60 49.6%	12 9.9%	30 24.8%	4 3.3%	12 9.9%	3 2.5%	
	精神看護学	105 100.0%	42 40.0%	10 9.5%	20 19.0%	16 15.2%	16 15.2%	1 1.0%	
	在宅看護学	116 100.0%	43 37.1%	10 8.6%	23 19.8%	12 10.3%	20 17.2%	8 6.9%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	46 32.6%	15 10.6%	30 21.3%	6 4.3%	35 24.8%	9 6.4%	
	助産学実習	44 100.0%	11 25.0%	1 2.3%	15 34.1%	2 4.5%	13 29.5%	2 4.5%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	38 30.9%	7 5.7%	34 27.6%	8 6.5%	29 23.6%	7 5.7%	
	無回答	16 100.0%	1 6.3%	5 31.3%	3 18.8%	1 6.3%	3 18.8%	3 18.8%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	67 47.5%	7 5.0%	26 18.4%	11 7.8%	27 19.1%	3 2.1%
		関東	423 100.0%	134 31.7%	56 13.2%	96 22.7%	21 5.0%	95 22.5%	21 5.0%
		中部	246 100.0%	103 41.9%	23 9.3%	52 21.1%	18 7.3%	39 15.9%	11 4.5%
関西・近畿		243 100.0%	83 34.2%	25 10.3%	62 25.5%	12 4.9%	51 21.0%	10 4.1%	
中国・四国		140 100.0%	55 39.3%	12 8.6%	37 26.4%	6 4.3%	22 15.7%	8 5.7%	
九州・沖縄		96 100.0%	29 30.2%	13 13.5%	19 19.8%	6 6.3%	18 18.8%	11 11.5%	

調査B<日本看護系大学協議会(JANPU)>

IV. 臨地での実習延期・短縮・中止に伴う、実習内容・方法変更の対応・工夫（代替え）についてお聞かせください。

1. 対応・工夫（代替え）の実態

	合計	事例の活用										
		あり：既存教材の事例	あり：教員作成	あり：同意を得た患者事例	あり：既存教材の事例と教員作成混合	あり：既存教材の事例と同意を得た患者事例混合	あり：既存教材の事例と教員作成及び同意を得た患者事例混合	あり：その他	なし	無回答		
全体	1289 100.0%	81 6.3%	552 42.8%	65 5.0%	205 15.9%	9 0.7%	52 4.0%	69 5.4%	199 15.4%	57 4.4%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	14 7.9%	67 37.9%	5 2.8%	13 7.3%	1 0.6%	0 0.0%	9 5.1%	54 30.5%	14 7.9%	
	成人看護学	196 100.0%	10 5.1%	101 51.5%	6 3.1%	29 14.8%	2 1.0%	10 5.1%	11 5.6%	16 8.2%	11 5.6%	
	老年看護学	143 100.0%	10 7.0%	64 44.8%	7 4.9%	25 17.5%	0 0.0%	8 5.6%	5 3.5%	20 14.0%	4 2.8%	
	母性看護学	107 100.0%	5 4.7%	71 66.4%	1 0.9%	10 9.3%	0 0.0%	3 2.8%	6 5.6%	9 8.4%	2 1.9%	
	小児看護学	121 100.0%	12 9.9%	54 44.6%	5 4.1%	23 19.0%	0 0.0%	3 2.5%	3 2.5%	17 14.0%	4 3.3%	
	精神看護学	105 100.0%	9 8.6%	56 53.3%	3 2.9%	15 14.3%	1 1.0%	1 1.0%	4 3.8%	15 14.3%	1 1.0%	
	在宅看護学	116 100.0%	8 6.9%	34 29.3%	19 16.4%	23 19.8%	1 0.9%	7 6.0%	5 4.3%	15 12.9%	4 3.4%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	8 5.7%	48 34.0%	6 4.3%	31 22.0%	3 2.1%	8 5.7%	7 5.0%	23 16.3%	7 5.0%	
	助産学実習	44 100.0%	0 0.0%	14 31.8%	4 9.1%	9 20.5%	1 2.3%	2 4.5%	7 15.9%	6 13.6%	1 2.3%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	5 4.1%	39 31.7%	7 5.7%	25 20.3%	0 0.0%	9 7.3%	10 8.1%	21 17.1%	7 5.7%	
	無回答	16 100.0%	0 0.0%	4 25.0%	2 12.5%	2 12.5%	0 0.0%	1 6.3%	2 12.5%	3 18.8%	2 12.5%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	9 6.4%	55 39.0%	7 5.0%	28 19.9%	3 2.1%	5 3.5%	7 5.0%	23 16.3%	4 2.8%
		関東	423 100.0%	25 5.9%	191 45.2%	21 5.0%	60 14.2%	3 0.7%	16 3.8%	19 4.5%	73 17.3%	15 3.5%
中部		246 100.0%	16 6.5%	104 42.3%	13 5.3%	33 13.4%	1 0.4%	12 4.9%	14 5.7%	40 16.3%	13 5.3%	
関西・近畿		243 100.0%	20 8.2%	96 39.5%	16 6.6%	42 17.3%	1 0.4%	11 4.5%	16 6.6%	35 14.4%	6 2.5%	
中国・四国		140 100.0%	6 4.3%	64 45.7%	3 2.1%	32 22.9%	1 0.7%	4 2.9%	9 6.4%	12 8.6%	9 6.4%	
九州・沖縄		96 100.0%	5 5.2%	42 43.8%	5 5.2%	10 10.4%	0 0.0%	4 4.2%	4 4.2%	16 16.7%	10 10.4%	

	合計	実習指導者の招聘								
		あり：対面	あり：オンライン（ライブ配信、双方向型）	あり：オンライン（オンデマンド配信）	あり：オンライン（ライブ・オンデマンド混合）	あり：その他	なし	無回答		
全体	1289 100.0%	123 9.5%	234 18.2%	37 2.9%	40 3.1%	36 2.8%	751 58.3%	68 5.3%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	19 10.7%	27 15.3%	5 2.8%	6 3.4%	2 1.1%	107 60.5%	11 6.2%	
	成人看護学	196 100.0%	10 5.1%	27 13.8%	8 4.1%	4 2.0%	5 2.6%	125 63.8%	17 8.7%	
	老年看護学	143 100.0%	17 11.9%	33 23.1%	7 4.9%	6 4.2%	7 4.9%	68 47.6%	5 3.5%	
	母性看護学	107 100.0%	10 9.3%	16 15.0%	5 4.7%	1 0.9%	0 0.0%	73 68.2%	2 1.9%	
	小児看護学	121 100.0%	11 9.1%	18 14.9%	2 1.7%	3 2.5%	3 2.5%	80 66.1%	4 3.3%	
	精神看護学	105 100.0%	14 13.3%	12 11.4%	3 2.9%	4 3.8%	4 3.8%	63 60.0%	5 4.8%	
	在宅看護学	116 100.0%	13 11.2%	24 20.7%	4 3.4%	4 3.4%	5 4.3%	58 50.0%	8 6.9%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	12 8.5%	39 27.7%	1 0.7%	4 2.8%	4 2.8%	76 53.9%	5 3.5%	
	助産学実習	44 100.0%	2 4.5%	4 9.1%	0 0.0%	2 4.5%	0 0.0%	34 77.3%	2 4.5%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	15 12.2%	28 22.8%	2 1.6%	6 4.9%	6 4.9%	60 48.8%	6 4.9%	
	無回答	16 100.0%	0 0.0%	6 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 43.8%	3 18.8%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	21 14.9%	16 11.3%	5 3.5%	3 2.1%	3 2.1%	88 62.4%	5 3.5%
		関東	423 100.0%	31 7.3%	95 22.5%	13 3.1%	14 3.3%	15 3.5%	236 55.8%	19 4.5%
中部		246 100.0%	19 7.7%	19 7.7%	8 3.3%	7 2.8%	6 2.4%	174 70.7%	13 5.3%	
関西・近畿		243 100.0%	27 11.1%	62 25.5%	5 2.1%	10 4.1%	6 2.5%	125 51.4%	8 3.3%	
中国・四国		140 100.0%	10 7.1%	23 16.4%	3 2.1%	5 3.6%	4 2.9%	84 60.0%	11 7.9%	
九州・沖縄		96 100.0%	15 15.6%	19 19.8%	3 3.1%	1 1.0%	2 2.1%	44 45.8%	12 12.5%	

調査B<日本看護系大学協議会(JANPU)>

IV. 臨地での実習延期・短縮・中止に伴う、実習内容・方法変更の対応・工夫（代替え）についてお聞かせください。

1. 対応・工夫（代替え）の実態

	合計	患者（看護の対象）の招聘								
		あり：対面	あり：オンライン （ライブ配信、双方向型）	あり：オンライン （オンデマンド配信）	あり：オンライン （ライブ・オンデマンド混合）	あり：その他	なし	無回答		
全体	1289 100.0%	42 3.3%	79 6.1%	17 1.3%	6 0.5%	24 1.9%	1028 79.8%	93 7.2%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	7 4.0%	7 4.0%	0 0.0%	1 0.6%	1 0.6%	143 80.8%	18 10.2%	
	成人看護学	196 100.0%	7 3.6%	13 6.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.5%	157 80.1%	16 8.2%	
	老年看護学	143 100.0%	3 2.1%	15 10.5%	5 3.5%	0 0.0%	2 1.4%	110 76.9%	8 5.6%	
	母性看護学	107 100.0%	6 5.6%	8 7.5%	1 0.9%	0 0.0%	2 1.9%	87 81.3%	3 2.8%	
	小児看護学	121 100.0%	2 1.7%	3 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	5 4.1%	106 87.6%	5 4.1%	
	精神看護学	105 100.0%	4 3.8%	7 6.7%	2 1.9%	0 0.0%	3 2.9%	83 79.0%	6 5.7%	
	在宅看護学	116 100.0%	3 2.6%	5 4.3%	4 3.4%	3 2.6%	2 1.7%	89 76.7%	10 8.6%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	2 1.4%	8 5.7%	1 0.7%	2 1.4%	2 1.4%	115 81.6%	11 7.8%	
	助産学実習	44 100.0%	2 4.5%	2 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.3%	37 84.1%	2 4.5%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	4 3.3%	10 8.1%	4 3.3%	0 0.0%	3 2.4%	92 74.8%	10 8.1%	
	無回答	16 100.0%	2 12.5%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 56.3%	4 25.0%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	4 2.8%	4 2.8%	2 1.4%	0 0.0%	1 0.7%	121 85.8%	9 6.4%
		関東	423 100.0%	17 4.0%	28 6.6%	9 2.1%	1 0.2%	10 2.4%	332 78.5%	26 6.1%
中部		246 100.0%	6 2.4%	10 4.1%	2 0.8%	3 1.2%	4 1.6%	205 83.3%	16 6.5%	
関西・近畿		243 100.0%	6 2.5%	25 10.3%	4 1.6%	0 0.0%	3 1.2%	192 79.0%	13 5.3%	
中国・四国		140 100.0%	3 2.1%	6 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.4%	114 81.4%	15 10.7%	
九州・沖縄		96 100.0%	6 6.3%	6 6.3%	0 0.0%	2 2.1%	4 4.2%	64 66.7%	14 14.6%	

	合計	XR（仮想現実VR、拡張現実AR、複合現実MR）演習							
		あり：市販のもの （体験プログラムなど）	あり：教員作成	あり：市販のもの （体験プログラムなど）と教員作成の混合	あり：その他	なし	無回答		
全体	1289 100.0%	24 1.9%	70 5.4%	25 1.9%	16 1.2%	1047 81.2%	107 8.3%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	1 0.6%	11 6.2%	0 0.0%	1 0.6%	144 81.4%	20 11.3%	
	成人看護学	196 100.0%	4 2.0%	18 9.2%	1 0.5%	3 1.5%	152 77.6%	18 9.2%	
	老年看護学	143 100.0%	1 0.7%	3 2.1%	8 5.6%	2 1.4%	123 86.0%	6 4.2%	
	母性看護学	107 100.0%	1 0.9%	7 6.5%	4 3.7%	3 2.8%	87 81.3%	5 4.7%	
	小児看護学	121 100.0%	2 1.7%	5 4.1%	3 2.5%	0 0.0%	103 85.1%	8 6.6%	
	精神看護学	105 100.0%	7 6.7%	4 3.8%	1 1.0%	1 1.0%	84 80.0%	8 7.6%	
	在宅看護学	116 100.0%	3 2.6%	3 2.6%	1 0.9%	1 0.9%	95 81.9%	13 11.2%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	5 3.5%	5 3.5%	4 2.8%	5 3.5%	110 78.0%	12 8.5%	
	助産学実習	44 100.0%	0 0.0%	4 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	37 84.1%	3 6.8%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	0 0.0%	9 7.3%	3 2.4%	0 0.0%	101 82.1%	10 8.1%	
	無回答	16 100.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	11 68.8%	4 25.0%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	3 2.1%	4 2.8%	3 2.1%	2 1.4%	117 83.0%	12 8.5%
		関東	423 100.0%	8 1.9%	24 5.7%	5 1.2%	8 1.9%	348 82.3%	30 7.1%
中部		246 100.0%	6 2.4%	11 4.5%	3 1.2%	2 0.8%	205 83.3%	19 7.7%	
関西・近畿		243 100.0%	2 0.8%	22 9.1%	8 3.3%	2 0.8%	194 79.8%	15 6.2%	
中国・四国		140 100.0%	3 2.1%	5 3.6%	1 0.7%	1 0.7%	112 80.0%	18 12.9%	
九州・沖縄		96 100.0%	2 2.1%	4 4.2%	5 5.2%	1 1.0%	71 74.0%	13 13.5%	

調査B<日本看護系大学協議会(JANPU)>

2. 学生によって実習内容・方法が異なった場合（例：臨地での実習有無、受け持ち患者の有無など）、学修体験の格差を是正するための対応はされましたか。

1) 学修体験の格差を是正するための対応

	合計	学修体験の格差を是正するための対応の有無				
		対応あり	対応なし	無回答		
全体	1289 100.0%	644 50.0%	560 43.4%	85 6.6%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	57 32.2%	98 55.4%	22 12.4%	
	成人看護学	196 100.0%	104 53.1%	76 38.8%	16 8.2%	
	老年看護学	143 100.0%	75 52.4%	58 40.6%	10 7.0%	
	母性看護学	107 100.0%	72 67.3%	31 29.0%	4 3.7%	
	小児看護学	121 100.0%	59 48.8%	56 46.3%	6 5.0%	
	精神看護学	105 100.0%	54 51.4%	46 43.8%	5 4.8%	
	在宅看護学	116 100.0%	56 48.3%	53 45.7%	7 6.0%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	57 40.4%	78 55.3%	6 4.3%	
	助産学実習	44 100.0%	30 68.2%	13 29.5%	1 2.3%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	72 58.5%	47 38.2%	4 3.3%	
	無回答	16 100.0%	8 50.0%	4 25.0%	4 25.0%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	57 40.4%	71 50.4%	13 9.2%
		関東	423 100.0%	192 45.4%	197 46.6%	34 8.0%
		中部	246 100.0%	132 53.7%	103 41.9%	11 4.5%
関西・近畿		243 100.0%	140 57.6%	88 36.2%	15 6.2%	
中国・四国		140 100.0%	70 50.0%	64 45.7%	6 4.3%	
九州・沖縄		96 100.0%	53 55.2%	37 38.5%	6 6.3%	

2) 対応の具体的な内容

	合計	対応の具体的な内容					
		学生間で、学修体験の共有	評価項目の調整	その他	無回答		
全体	644 100.0%	311 48.3%	114 17.7%	181 28.1%	38 5.9%		
該当する専門領域	基礎看護学	57 100.0%	26 45.6%	7 12.3%	17 29.8%	7 12.3%	
	成人看護学	104 100.0%	41 39.4%	27 26.0%	31 29.8%	5 4.8%	
	老年看護学	75 100.0%	28 37.3%	21 28.0%	24 32.0%	2 2.7%	
	母性看護学	72 100.0%	43 59.7%	8 11.1%	19 26.4%	2 2.8%	
	小児看護学	59 100.0%	28 47.5%	16 27.1%	14 23.7%	1 1.7%	
	精神看護学	54 100.0%	25 46.3%	13 24.1%	13 24.1%	3 5.6%	
	在宅看護学	56 100.0%	30 53.6%	8 14.3%	14 25.0%	4 7.1%	
	看護の統合と実践	57 100.0%	25 43.9%	8 14.0%	17 29.8%	7 12.3%	
	助産学実習	30 100.0%	14 46.7%	0 0.0%	13 43.3%	3 10.0%	
	公衆衛生看護学実習	72 100.0%	47 65.3%	5 6.9%	17 23.6%	3 4.2%	
	無回答	8 100.0%	4 50.0%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	
	設置ブロック	北海道・東北	57 100.0%	30 52.6%	11 19.3%	14 24.6%	2 3.5%
		関東	192 100.0%	95 49.5%	31 16.1%	52 27.1%	14 7.3%
		中部	132 100.0%	53 40.2%	37 28.0%	33 25.0%	9 6.8%
関西・近畿		140 100.0%	68 48.6%	19 13.6%	45 32.1%	8 5.7%	
中国・四国		70 100.0%	37 52.9%	9 12.9%	21 30.0%	3 4.3%	
九州・沖縄		53 100.0%	28 52.8%	7 13.2%	16 30.2%	2 3.8%	

調査B<日本看護系大学協議会(JANPU)>

3. 臨地での実習短縮・中止に伴い、実習内容・方法の変更への対応・工夫（代替え）の結果、実習目標の到達状況についてお聞かせください。

1) 知識・技術・態度に関する実習目標の到達状況について、通常の実習内容・方法と比べてご回答ください。

	合計	知識に関すること						判断できない	無回答	
		代替方法の方が大きく上回った	代替方法の方がやや上回った	同程度	代替方法の方がやや下回った	代替方法の方が大きく下回った				
全体	1289	96 7.4%	316 24.5%	520 40.3%	107 8.3%	12 0.9%	156 12.1%	82 6.4%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	14 7.9%	33 18.6%	86 48.6%	10 5.6%	1 0.6%	19 10.7%	14 7.9%	
	成人看護学	196 100.0%	14 7.1%	55 28.1%	69 35.2%	10 5.1%	3 1.5%	29 14.8%	16 8.2%	
	老年看護学	143 100.0%	11 7.7%	38 26.6%	54 37.8%	16 11.2%	1 0.7%	20 14.0%	3 2.1%	
	母性看護学	107 100.0%	8 7.5%	27 25.2%	52 48.6%	2 1.9%	0 0.0%	11 10.3%	7 6.5%	
	小児看護学	121 100.0%	15 12.4%	34 28.1%	47 38.8%	9 7.4%	1 0.8%	10 8.3%	5 4.1%	
	精神看護学	105 100.0%	6 5.7%	23 21.9%	47 44.8%	11 10.5%	2 1.9%	14 13.3%	2 1.9%	
	在宅看護学	116 100.0%	10 8.6%	27 23.3%	36 31.0%	18 15.5%	3 2.6%	15 12.9%	7 6.0%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	11 7.8%	34 24.1%	64 45.4%	10 7.1%	0 0.0%	15 10.6%	7 5.0%	
	助産学実習	44 100.0%	0 0.0%	10 22.7%	14 31.8%	7 15.9%	0 0.0%	7 15.9%	6 13.6%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	5 4.1%	31 25.2%	45 36.6%	14 11.4%	1 0.8%	15 12.2%	12 9.8%	
	無回答	16 100.0%	2 12.5%	4 25.0%	6 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	3 18.8%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	11 7.8%	38 27.0%	55 39.0%	10 7.1%	3 2.1%	18 12.8%	6 4.3%
		関東	423 100.0%	29 6.9%	103 24.3%	179 42.3%	40 9.5%	2 0.5%	48 11.3%	22 5.2%
中部		246 100.0%	20 8.1%	61 24.8%	97 39.4%	19 7.7%	2 0.8%	28 11.4%	19 7.7%	
関西・近畿		243 100.0%	23 9.5%	53 21.8%	97 39.9%	22 9.1%	2 0.8%	30 12.3%	16 6.6%	
中国・四国		140 100.0%	10 7.1%	31 22.1%	57 40.7%	13 9.3%	1 0.7%	19 13.6%	9 6.4%	
九州・沖縄		96 100.0%	3 3.1%	30 31.3%	35 36.5%	3 3.1%	2 2.1%	13 13.5%	10 10.4%	

	合計	技術に関すること						判断できない	無回答	
		代替方法の方が大きく上回った	代替方法の方がやや上回った	同程度	代替方法の方がやや下回った	代替方法の方が大きく下回った				
全体	1289	21 1.6%	52 4.0%	240 18.6%	400 31.0%	199 15.4%	294 22.8%	83 6.4%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	2 1.1%	2 1.1%	39 22.0%	55 31.1%	27 15.3%	38 21.5%	14 7.9%	
	成人看護学	196 100.0%	0 0.0%	7 3.6%	31 15.8%	58 29.6%	42 21.4%	42 21.4%	16 8.2%	
	老年看護学	143 100.0%	2 1.4%	6 4.2%	22 15.4%	44 30.8%	30 21.0%	36 25.2%	3 2.1%	
	母性看護学	107 100.0%	5 4.7%	5 4.7%	25 23.4%	35 32.7%	8 7.5%	22 20.6%	7 6.5%	
	小児看護学	121 100.0%	4 3.3%	5 4.1%	21 17.4%	35 28.9%	34 28.1%	17 14.0%	5 4.1%	
	精神看護学	105 100.0%	3 2.9%	3 2.9%	18 17.1%	36 34.3%	12 11.4%	31 29.5%	2 1.9%	
	在宅看護学	116 100.0%	1 0.9%	6 5.2%	17 14.7%	36 31.0%	16 13.8%	33 28.4%	7 6.0%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	2 1.4%	6 4.3%	35 24.8%	42 29.8%	15 10.6%	33 23.4%	8 5.7%	
	助産学実習	44 100.0%	1 2.3%	1 2.3%	4 9.1%	16 36.4%	8 18.2%	8 18.2%	6 13.6%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	1 0.8%	10 8.1%	25 20.3%	41 33.3%	5 4.1%	29 23.6%	12 9.8%	
	無回答	16 100.0%	0 0.0%	1 6.3%	3 18.8%	2 12.5%	2 12.5%	5 31.3%	3 18.8%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	3 2.1%	7 5.0%	15 10.6%	41 29.1%	30 21.3%	39 27.7%	6 4.3%
		関東	423 100.0%	10 2.4%	16 3.8%	90 21.3%	141 33.3%	56 13.2%	88 20.8%	22 5.2%
中部		246 100.0%	2 0.8%	8 3.3%	49 19.9%	76 30.9%	46 18.7%	46 18.7%	19 7.7%	
関西・近畿		243 100.0%	3 1.2%	8 3.3%	44 18.1%	76 31.3%	36 14.8%	59 24.3%	17 7.0%	
中国・四国		140 100.0%	3 2.1%	7 5.0%	23 16.4%	40 28.6%	18 12.9%	40 28.6%	9 6.4%	
九州・沖縄		96 100.0%	0 0.0%	6 6.3%	19 19.8%	26 27.1%	13 13.5%	22 22.9%	10 10.4%	

調査B<日本看護系大学協議会(JANPU)>

3. 臨地での実習短縮・中止に伴い、実習内容・方法の変更への対応・工夫（代替え）の結果、実習目標の到達状況についてお聞かせください。

	合計	態度に関すること						判断できない	無回答	
		代替方法の方が大きく上回った	代替方法の方がやや上回った	同程度	代替方法の方がやや下回った	代替方法の方が大きく下回った				
全体	1289 100.0%	22 1.7%	78 6.1%	553 42.9%	206 16.0%	50 3.9%	296 23.0%	84 6.5%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	3 1.7%	12 6.8%	79 44.6%	30 16.9%	8 4.5%	31 17.5%	14 7.9%	
	成人看護学	196 100.0%	2 1.0%	9 4.6%	68 34.7%	31 15.8%	10 5.1%	60 30.6%	16 8.2%	
	老年看護学	143 100.0%	4 2.8%	7 4.9%	63 44.1%	29 20.3%	3 2.1%	34 23.8%	3 2.1%	
	母性看護学	107 100.0%	2 1.9%	3 2.8%	59 55.1%	13 12.1%	1 0.9%	22 20.6%	7 6.5%	
	小児看護学	121 100.0%	5 4.1%	11 9.1%	49 40.5%	24 19.8%	8 6.6%	18 14.9%	6 5.0%	
	精神看護学	105 100.0%	1 1.0%	5 4.8%	45 42.9%	20 19.0%	3 2.9%	29 27.6%	2 1.9%	
	在宅看護学	116 100.0%	1 0.9%	10 8.6%	42 36.2%	16 13.8%	6 5.2%	34 29.3%	7 6.0%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	1 0.7%	11 7.8%	73 51.8%	15 10.6%	3 2.1%	30 21.3%	8 5.7%	
	助産学実習	44 100.0%	0 0.0%	1 2.3%	17 38.6%	7 15.9%	4 9.1%	9 20.5%	6 13.6%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	2 1.6%	6 4.9%	55 44.7%	19 15.4%	2 1.6%	27 22.0%	12 9.8%	
	無回答	16 100.0%	1 6.3%	3 18.8%	3 18.8%	2 12.5%	2 12.5%	2 12.5%	3 18.8%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	1 0.7%	8 5.7%	57 40.4%	27 19.1%	6 4.3%	36 25.5%	6 4.3%
		関東	423 100.0%	8 1.9%	27 6.4%	186 44.0%	70 16.5%	12 2.8%	97 22.9%	23 5.4%
		中部	246 100.0%	5 2.0%	20 8.1%	97 39.4%	46 18.7%	9 3.7%	50 20.3%	19 7.7%
関西・近畿		243 100.0%	5 2.1%	14 5.8%	114 46.9%	30 12.3%	14 5.8%	49 20.2%	17 7.0%	
中国・四国		140 100.0%	3 2.1%	3 2.1%	59 42.1%	19 13.6%	5 3.6%	42 30.0%	9 6.4%	
九州・沖縄		96 100.0%	0 0.0%	6 6.3%	40 41.7%	14 14.6%	4 4.2%	22 22.9%	10 10.4%	

2) 実習内容・方法の変更への対応・工夫（代替え）を行っても、到達が困難であった到達目標はありましたか。

	合計	2) 達成が困難であった到達目標について				
		達成が困難な到達目標はあった	達成が困難な到達目標はなかった	無回答		
全体	1289 100.0%	654 50.7%	544 42.2%	91 7.1%		
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	73 41.2%	89 50.3%	15 8.5%	
	成人看護学	196 100.0%	105 53.6%	72 36.7%	19 9.7%	
	老年看護学	143 100.0%	83 58.0%	56 39.2%	4 2.8%	
	母性看護学	107 100.0%	52 48.6%	48 44.9%	7 6.5%	
	小児看護学	121 100.0%	67 55.4%	47 38.8%	7 5.8%	
	精神看護学	105 100.0%	67 63.8%	36 34.3%	2 1.9%	
	在宅看護学	116 100.0%	61 52.6%	46 39.7%	9 7.8%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	60 42.6%	75 53.2%	6 4.3%	
	助産学実習	44 100.0%	20 45.5%	17 38.6%	7 15.9%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	58 47.2%	54 43.9%	11 8.9%	
	無回答	16 100.0%	8 50.0%	4 25.0%	4 25.0%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	78 55.3%	53 37.6%	10 7.1%
		関東	423 100.0%	193 45.6%	199 47.0%	31 7.3%
		中部	246 100.0%	126 51.2%	104 42.3%	16 6.5%
関西・近畿		243 100.0%	131 53.9%	96 39.5%	16 6.6%	
中国・四国		140 100.0%	81 57.9%	52 37.1%	7 5.0%	
九州・沖縄		96 100.0%	45 46.9%	40 41.7%	11 11.5%	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

V. 遠地での実習延期・短縮・中止に伴う、ご担当科目の実習形態の変更についてお聞かせください。

		合計	実習時期	遠隔実習と 学内実習	学内実習	その他	無回答	
全体		1289 100.0%	326 25.3%	422 32.7%	371 28.8%	98 7.6%	72 5.6%	
該当する専門領域	基礎看護学	177 100.0%	40 22.6%	47 26.6%	61 34.5%	14 7.9%	15 8.5%	
	成人看護学	196 100.0%	40 20.4%	73 37.2%	48 24.5%	17 8.7%	18 9.2%	
	老年看護学	143 100.0%	37 25.9%	51 35.7%	41 28.7%	13 9.1%	1 0.7%	
	母性看護学	107 100.0%	21 19.6%	49 45.8%	31 29.0%	3 2.8%	3 2.8%	
	小児看護学	121 100.0%	26 21.5%	50 41.3%	28 23.1%	11 9.1%	6 5.0%	
	精神看護学	105 100.0%	39 37.1%	27 25.7%	28 26.7%	9 8.6%	2 1.9%	
	在宅看護学	116 100.0%	45 38.8%	29 25.0%	27 23.3%	7 6.0%	8 6.9%	
	看護の統合と実践	141 100.0%	40 28.4%	44 31.2%	43 30.5%	11 7.8%	3 2.1%	
	助産学実習	44 100.0%	3 6.8%	10 22.7%	25 56.8%	3 6.8%	3 6.8%	
	公衆衛生看護学実習	123 100.0%	33 26.8%	35 28.5%	35 28.5%	9 7.3%	11 8.9%	
	無回答	16 100.0%	2 12.5%	7 43.8%	4 25.0%	1 6.3%	2 12.5%	
	設置ブロック	北海道・東北	141 100.0%	34 24.1%	44 31.2%	50 35.5%	9 6.4%	4 2.8%
		関東	423 100.0%	117 27.7%	153 36.2%	97 22.9%	36 8.5%	20 4.7%
中部		246 100.0%	73 29.7%	66 26.8%	74 30.1%	16 6.5%	17 6.9%	
関西・近畿		243 100.0%	58 23.9%	86 35.4%	70 28.8%	17 7.0%	12 4.9%	
中国・四国		140 100.0%	26 18.6%	44 31.4%	50 35.7%	12 8.6%	8 5.7%	
九州・沖縄		96 100.0%	18 18.8%	29 30.2%	30 31.3%	8 8.3%	11 11.5%	

2. 遠隔授業形式による実習と学内実習でのよかった点を選択してください。

1) 遠隔授業形式による実習のよかった点

		合計	学生の学修進度が把握しやすい			
			よかった点 であると思 う	よかった点 であると思 わない	無回答	
全体		846 100.0%	487 57.6%	248 29.3%	111 13.1%	
該当する専門領域	基礎看護学	101 100.0%	53 52.5%	33 32.7%	15 14.9%	
	成人看護学	130 100.0%	75 57.7%	37 28.5%	18 13.8%	
	老年看護学	101 100.0%	58 57.4%	27 26.7%	16 15.8%	
	母性看護学	73 100.0%	48 65.8%	18 24.7%	7 9.6%	
	小児看護学	87 100.0%	47 54.0%	28 32.2%	12 13.8%	
	精神看護学	75 100.0%	37 49.3%	25 33.3%	13 17.3%	
	在宅看護学	81 100.0%	53 65.4%	21 25.9%	7 8.6%	
	看護の統合と実践	95 100.0%	54 56.8%	28 29.5%	13 13.7%	
	助産学実習	16 100.0%	9 56.3%	3 18.8%	4 25.0%	
	公衆衛生看護学実習	77 100.0%	46 59.7%	26 33.8%	5 6.5%	
	無回答	10 100.0%	7 70.0%	2 20.0%	1 10.0%	
	設置ブロック	北海道・東北	87 100.0%	41 47.1%	34 39.1%	12 13.8%
		関東	306 100.0%	182 59.5%	81 26.5%	43 14.1%
中部		155 100.0%	96 61.9%	39 25.2%	20 12.9%	
関西・近畿		161 100.0%	93 57.8%	54 33.5%	14 8.7%	
中国・四国		82 100.0%	42 51.2%	27 32.9%	13 15.9%	
九州・沖縄		55 100.0%	33 60.0%	13 23.6%	9 16.4%	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

V. 産地での実習延期・短縮・中止に伴う、ご担当科目の実習形態の変更についてお聞かせください。

		合計	学生の参加状況が把握しやすい			
			よかった点 であると思 う	よかった点 であるとは 思わない	無回答	
全体		846 100.0%	508 60.0%	229 27.1%	109 12.9%	
該当する専門領域	基礎看護学	101 100.0%	65 64.4%	21 20.8%	15 14.9%	
	成人看護学	130 100.0%	67 51.5%	45 34.6%	18 13.8%	
	老年看護学	101 100.0%	61 60.4%	23 22.8%	17 16.8%	
	母性看護学	73 100.0%	46 63.0%	21 28.8%	6 8.2%	
	小児看護学	87 100.0%	44 50.6%	31 35.6%	12 13.8%	
	精神看護学	75 100.0%	44 58.7%	17 22.7%	14 18.7%	
	在宅看護学	81 100.0%	54 66.7%	20 24.7%	7 8.6%	
	看護の統合と実践	95 100.0%	57 60.0%	27 28.4%	11 11.6%	
	助産学実習	16 100.0%	9 56.3%	4 25.0%	3 18.8%	
	公衆衛生看護学実習	77 100.0%	54 70.1%	18 23.4%	5 6.5%	
	無回答	10 100.0%	7 70.0%	2 20.0%	1 10.0%	
	設置ブロック	北海道・東北	87 100.0%	53 60.9%	22 25.3%	12 13.8%
		関東	306 100.0%	180 58.8%	83 27.1%	43 14.1%
中部		155 100.0%	93 60.0%	43 27.7%	19 12.3%	
関西・近畿		161 100.0%	105 65.2%	42 26.1%	14 8.7%	
中国・四国		82 100.0%	44 53.7%	26 31.7%	12 14.6%	
九州・沖縄		55 100.0%	33 60.0%	13 23.6%	9 16.4%	

		合計	学生に教材が提示しやすい			
			よかった点 であると思 う	よかった点 であるとは 思わない	無回答	
全体		846 100.0%	487 57.6%	248 29.3%	111 13.1%	
該当する専門領域	基礎看護学	101 100.0%	59 58.4%	25 24.8%	17 16.8%	
	成人看護学	130 100.0%	60 46.2%	50 38.5%	20 15.4%	
	老年看護学	101 100.0%	66 65.3%	20 19.8%	15 14.9%	
	母性看護学	73 100.0%	34 46.6%	32 43.8%	7 9.6%	
	小児看護学	87 100.0%	51 58.6%	24 27.6%	12 13.8%	
	精神看護学	75 100.0%	44 58.7%	18 24.0%	13 17.3%	
	在宅看護学	81 100.0%	57 70.4%	17 21.0%	7 8.6%	
	看護の統合と実践	95 100.0%	56 58.9%	28 29.5%	11 11.6%	
	助産学実習	16 100.0%	6 37.5%	7 43.8%	3 18.8%	
	公衆衛生看護学実習	77 100.0%	45 58.4%	27 35.1%	5 6.5%	
	無回答	10 100.0%	9 90.0%	0 0.0%	1 10.0%	
	設置ブロック	北海道・東北	87 100.0%	45 51.7%	31 35.6%	11 12.6%
		関東	306 100.0%	179 58.5%	84 27.5%	43 14.1%
中部		155 100.0%	97 62.6%	41 26.5%	17 11.0%	
関西・近畿		161 100.0%	94 58.4%	50 31.1%	17 10.6%	
中国・四国		82 100.0%	38 46.3%	30 36.6%	14 17.1%	
九州・沖縄		55 100.0%	34 61.8%	12 21.8%	9 16.4%	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

V. 臨地での実習延期・短縮・中止に伴う、ご担当科目の実習形態の変更についてお聞かせください。

	合計	学生とコミュニケーションがとりやすい				
		よかった点であると思う	よかった点であるとは思わない	無回答		
全体	846 100.0%	266 31.4%	472 55.8%	108 12.8%		
該当する専門領域	基礎看護学	101 100.0%	29 28.7%	57 56.4%	15 14.9%	
	成人看護学	130 100.0%	36 27.7%	76 58.5%	18 13.8%	
	老年看護学	101 100.0%	37 36.6%	49 48.5%	15 14.9%	
	母性看護学	73 100.0%	23 31.5%	43 58.9%	7 9.6%	
	小児看護学	87 100.0%	22 25.3%	53 60.9%	12 13.8%	
	精神看護学	75 100.0%	19 25.3%	42 56.0%	14 18.7%	
	在宅看護学	81 100.0%	30 37.0%	44 54.3%	7 8.6%	
	看護の統合と実践	95 100.0%	31 32.6%	53 55.8%	11 11.6%	
	助産学実習	16 100.0%	6 37.5%	7 43.8%	3 18.8%	
	公衆衛生看護学実習	77 100.0%	28 36.4%	44 57.1%	5 6.5%	
	無回答	10 100.0%	5 50.0%	4 40.0%	1 10.0%	
	設置ブロック	北海道・東北	87 100.0%	22 25.3%	53 60.9%	12 13.8%
		関東	306 100.0%	99 32.4%	166 54.2%	41 13.4%
中部		155 100.0%	55 35.5%	80 51.6%	20 12.9%	
関西・近畿		161 100.0%	53 32.9%	94 58.4%	14 8.7%	
中国・四国		82 100.0%	21 25.6%	49 59.8%	12 14.6%	
九州・沖縄		55 100.0%	16 29.1%	30 54.5%	9 16.4%	

	合計	実習の準備が軽減した				
		よかった点であると思う	よかった点であるとは思わない	無回答		
全体	846 100.0%	68 8.0%	653 77.2%	125 14.8%		
該当する専門領域	基礎看護学	101 100.0%	11 10.9%	73 72.3%	17 16.8%	
	成人看護学	130 100.0%	7 5.4%	104 80.0%	19 14.6%	
	老年看護学	101 100.0%	10 9.9%	74 73.3%	17 16.8%	
	母性看護学	73 100.0%	6 8.2%	58 79.5%	9 12.3%	
	小児看護学	87 100.0%	3 3.4%	72 82.8%	12 13.8%	
	精神看護学	75 100.0%	11 14.7%	49 65.3%	15 20.0%	
	在宅看護学	81 100.0%	5 6.2%	69 85.2%	7 8.6%	
	看護の統合と実践	95 100.0%	8 8.4%	72 75.8%	15 15.8%	
	助産学実習	16 100.0%	0 0.0%	12 75.0%	4 25.0%	
	公衆衛生看護学実習	77 100.0%	5 6.5%	65 84.4%	7 9.1%	
	無回答	10 100.0%	2 20.0%	5 50.0%	3 30.0%	
	設置ブロック	北海道・東北	87 100.0%	7 8.0%	68 78.2%	12 13.8%
		関東	306 100.0%	23 7.5%	235 76.8%	48 15.7%
中部		155 100.0%	14 9.0%	117 75.5%	24 15.5%	
関西・近畿		161 100.0%	10 6.2%	133 82.6%	18 11.2%	
中国・四国		82 100.0%	8 9.8%	60 73.2%	14 17.1%	
九州・沖縄		55 100.0%	6 10.9%	40 72.7%	9 16.4%	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

V. 臨地での実習延期・短縮・中止に伴う、ご担当科目の実習形態の変更についてお聞かせください。

	合計	学生の学修意欲が高まった				
		よかった点 であると思 う	よかった点 であるとは 思わない	無回答		
全体	846 100.0%	224 26.5%	497 58.7%	125 14.8%		
該当する専門領域	基礎看護学	101 100.0%	34 33.7%	51 50.5%	16 15.8%	
	成人看護学	130 100.0%	31 23.8%	79 60.8%	20 15.4%	
	老年看護学	101 100.0%	31 30.7%	50 49.5%	20 19.8%	
	母性看護学	73 100.0%	16 21.9%	49 67.1%	8 11.0%	
	小児看護学	87 100.0%	19 21.8%	56 64.4%	12 13.8%	
	精神看護学	75 100.0%	17 22.7%	43 57.3%	15 20.0%	
	在宅看護学	81 100.0%	25 30.9%	48 59.3%	8 9.9%	
	看護の統合と実践	95 100.0%	23 24.2%	59 62.1%	13 13.7%	
	助産学実習	16 100.0%	3 18.8%	9 56.3%	4 25.0%	
	公衆衛生看護学実習	77 100.0%	19 24.7%	51 66.2%	7 9.1%	
	無回答	10 100.0%	6 60.0%	2 20.0%	2 20.0%	
	設置ブロック	北海道・東北	87 100.0%	17 19.5%	58 66.7%	12 13.8%
		関東	306 100.0%	92 30.1%	166 54.2%	48 15.7%
中部		155 100.0%	38 24.5%	91 58.7%	26 16.8%	
関西・近畿		161 100.0%	50 31.1%	94 58.4%	17 10.6%	
中国・四国		82 100.0%	16 19.5%	53 64.6%	13 15.9%	
九州・沖縄		55 100.0%	11 20.0%	35 63.6%	9 16.4%	

	合計	学生の自己学修時間が増えた				
		よかった点 であると思 う	よかった点 であるとは 思わない	無回答		
全体	846 100.0%	524 61.9%	203 24.0%	119 14.1%		
該当する専門領域	基礎看護学	101 100.0%	58 57.4%	25 24.8%	18 17.8%	
	成人看護学	130 100.0%	73 56.2%	39 30.0%	18 13.8%	
	老年看護学	101 100.0%	62 61.4%	22 21.8%	17 16.8%	
	母性看護学	73 100.0%	50 68.5%	16 21.9%	7 9.6%	
	小児看護学	87 100.0%	56 64.4%	18 20.7%	13 14.9%	
	精神看護学	75 100.0%	42 56.0%	19 25.3%	14 18.7%	
	在宅看護学	81 100.0%	50 61.7%	24 29.6%	7 8.6%	
	看護の統合と実践	95 100.0%	60 63.2%	21 22.1%	14 14.7%	
	助産学実習	16 100.0%	10 62.5%	3 18.8%	3 18.8%	
	公衆衛生看護学実習	77 100.0%	55 71.4%	15 19.5%	7 9.1%	
	無回答	10 100.0%	8 80.0%	1 10.0%	1 10.0%	
	設置ブロック	北海道・東北	87 100.0%	53 60.9%	23 26.4%	11 12.6%
		関東	306 100.0%	175 57.2%	82 26.8%	49 16.0%
中部		155 100.0%	97 62.6%	36 23.2%	22 14.2%	
関西・近畿		161 100.0%	119 73.9%	29 18.0%	13 8.1%	
中国・四国		82 100.0%	46 56.1%	22 26.8%	14 17.1%	
九州・沖縄		55 100.0%	34 61.8%	11 20.0%	10 18.2%	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

V. 臨地での実習延期・短縮・中止に伴う、ご担当科目の実習形態の変更についてお聞かせください。

2) 学内実習のよかった点

		合計	学生の学修進度が把握しやすい			
			よかった点 であると思 う	よかった点 であるとは 思わない	無回答	
全体		891 100.0%	632 70.9%	146 16.4%	113 12.7%	
該当する専門領域	基礎看護学	122 100.0%	89 73.0%	18 14.8%	15 12.3%	
	成人看護学	138 100.0%	97 70.3%	24 17.4%	17 12.3%	
	老年看護学	105 100.0%	75 71.4%	18 17.1%	12 11.4%	
	母性看護学	83 100.0%	68 81.9%	9 10.8%	6 7.2%	
	小児看護学	89 100.0%	62 69.7%	15 16.9%	12 13.5%	
	精神看護学	64 100.0%	40 62.5%	10 15.6%	14 21.9%	
	在宅看護学	63 100.0%	44 69.8%	11 17.5%	8 12.7%	
	看護の統合と実践	98 100.0%	64 65.3%	17 17.3%	17 17.3%	
	助産学実習	38 100.0%	25 65.8%	9 23.7%	4 10.5%	
	公衆衛生看護学実習	79 100.0%	58 73.4%	14 17.7%	7 8.9%	
	無回答	12 100.0%	10 83.3%	1 8.3%	1 8.3%	
	設置ブロック	北海道・東北	103 100.0%	75 72.8%	17 16.5%	11 10.7%
		関東	286 100.0%	187 65.4%	52 18.2%	47 16.4%
		中部	156 100.0%	120 76.9%	20 12.8%	16 10.3%
関西・近畿		173 100.0%	128 74.0%	26 15.0%	19 11.0%	
中国・四国		106 100.0%	78 73.6%	17 16.0%	11 10.4%	
九州・沖縄		67 100.0%	44 65.7%	14 20.9%	9 13.4%	

		合計	学生の参加状況が把握しやすい			
			よかった点 であると思 う	よかった点 であるとは 思わない	無回答	
全体		891 100.0%	645 72.4%	128 14.4%	118 13.2%	
該当する専門領域	基礎看護学	122 100.0%	90 73.8%	15 12.3%	17 13.9%	
	成人看護学	138 100.0%	101 73.2%	17 12.3%	20 14.5%	
	老年看護学	105 100.0%	78 74.3%	14 13.3%	13 12.4%	
	母性看護学	83 100.0%	68 81.9%	9 10.8%	6 7.2%	
	小児看護学	89 100.0%	57 64.0%	18 20.2%	14 15.7%	
	精神看護学	64 100.0%	41 64.1%	10 15.6%	13 20.3%	
	在宅看護学	63 100.0%	44 69.8%	11 17.5%	8 12.7%	
	看護の統合と実践	98 100.0%	72 73.5%	12 12.2%	14 14.3%	
	助産学実習	38 100.0%	25 65.8%	8 21.1%	5 13.2%	
	公衆衛生看護学実習	79 100.0%	59 74.7%	13 16.5%	7 8.9%	
	無回答	12 100.0%	10 83.3%	1 8.3%	1 8.3%	
	設置ブロック	北海道・東北	103 100.0%	79 76.7%	13 12.6%	11 10.7%
		関東	286 100.0%	187 65.4%	46 16.1%	53 18.5%
		中部	156 100.0%	121 77.6%	21 13.5%	14 9.0%
関西・近畿		173 100.0%	136 78.6%	18 10.4%	19 11.0%	
中国・四国		106 100.0%	77 72.6%	17 16.0%	12 11.3%	
九州・沖縄		67 100.0%	45 67.2%	13 19.4%	9 13.4%	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

V. 産地での実習延期・短縮・中止に伴う、ご担当科目の実習形態の変更についてお聞かせください。

	合計	学生に教材が提示しやすい				
		よかった点 であると思 う	よかった点 であるとは 思わない	無回答		
全体	891 100.0%	579 65.0%	195 21.9%	117 13.1%		
該当する専門領域	基礎看護学	122 100.0%	73 59.8%	32 26.2%	17 13.9%	
	成人看護学	138 100.0%	87 63.0%	31 22.5%	20 14.5%	
	老年看護学	105 100.0%	74 70.5%	19 18.1%	12 11.4%	
	母性看護学	83 100.0%	59 71.1%	18 21.7%	6 7.2%	
	小児看護学	89 100.0%	62 69.7%	14 15.7%	13 14.6%	
	精神看護学	64 100.0%	38 59.4%	12 18.8%	14 21.9%	
	在宅看護学	63 100.0%	46 73.0%	9 14.3%	8 12.7%	
	看護の統合と実践	98 100.0%	62 63.3%	22 22.4%	14 14.3%	
	助産学実習	38 100.0%	21 55.3%	12 31.6%	5 13.2%	
	公衆衛生看護学実習	79 100.0%	50 63.3%	23 29.1%	6 7.6%	
	無回答	12 100.0%	7 58.3%	3 25.0%	2 16.7%	
	設置ブロック	北海道・東北	103 100.0%	64 62.1%	29 28.2%	10 9.7%
		関東	286 100.0%	174 60.8%	60 21.0%	52 18.2%
		中部	156 100.0%	105 67.3%	36 23.1%	15 9.6%
関西・近畿		173 100.0%	121 69.9%	32 18.5%	20 11.6%	
中国・四国		106 100.0%	70 66.0%	25 23.6%	11 10.4%	
九州・沖縄		67 100.0%	45 67.2%	13 19.4%	9 13.4%	

	合計	学生とコミュニケーションがとりやすい				
		よかった点 であると思 う	よかった点 であるとは 思わない	無回答		
全体	891 100.0%	610 68.5%	163 18.3%	118 13.2%		
該当する専門領域	基礎看護学	122 100.0%	86 70.5%	19 15.6%	17 13.9%	
	成人看護学	138 100.0%	88 63.8%	29 21.0%	21 15.2%	
	老年看護学	105 100.0%	73 69.5%	20 19.0%	12 11.4%	
	母性看護学	83 100.0%	66 79.5%	11 13.3%	6 7.2%	
	小児看護学	89 100.0%	61 68.5%	14 15.7%	14 15.7%	
	精神看護学	64 100.0%	39 60.9%	12 18.8%	13 20.3%	
	在宅看護学	63 100.0%	45 71.4%	10 15.9%	8 12.7%	
	看護の統合と実践	98 100.0%	66 67.3%	18 18.4%	14 14.3%	
	助産学実習	38 100.0%	26 68.4%	7 18.4%	5 13.2%	
	公衆衛生看護学実習	79 100.0%	52 65.8%	20 25.3%	7 8.9%	
	無回答	12 100.0%	8 66.7%	3 25.0%	1 8.3%	
	設置ブロック	北海道・東北	103 100.0%	72 69.9%	20 19.4%	11 10.7%
		関東	286 100.0%	176 61.5%	57 19.9%	53 18.5%
		中部	156 100.0%	113 72.4%	28 17.9%	15 9.6%
関西・近畿		173 100.0%	125 72.3%	29 16.8%	19 11.0%	
中国・四国		106 100.0%	76 71.7%	19 17.9%	11 10.4%	
九州・沖縄		67 100.0%	48 71.6%	10 14.9%	9 13.4%	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

V. 當地での実習延期・短縮・中止に伴う、ご担当科目の実習形態の変更についてお聞かせください。

		合計	実習の準備が軽減した			
			よかった点 であると思 う	よかった点 であるとは 思わない	無回答	
全体		891 100.0%	82 9.2%	679 76.2%	130 14.6%	
該当する専門領域	基礎看護学	122 100.0%	14 11.5%	89 73.0%	19 15.6%	
	成人看護学	138 100.0%	8 5.8%	111 80.4%	19 13.8%	
	老年看護学	105 100.0%	14 13.3%	75 71.4%	16 15.2%	
	母性看護学	83 100.0%	10 12.0%	64 77.1%	9 10.8%	
	小児看護学	89 100.0%	4 4.5%	71 79.8%	14 15.7%	
	精神看護学	64 100.0%	5 7.8%	45 70.3%	14 21.9%	
	在宅看護学	63 100.0%	5 7.9%	50 79.4%	8 12.7%	
	看護の統合と実践	98 100.0%	7 7.1%	76 77.6%	15 15.3%	
	助産学実習	38 100.0%	5 13.2%	28 73.7%	5 13.2%	
	公衆衛生看護学実習	79 100.0%	8 10.1%	63 79.7%	8 10.1%	
	無回答	12 100.0%	2 16.7%	7 58.3%	3 25.0%	
	設置ブロック	北海道・東北	103 100.0%	11 10.7%	80 77.7%	12 11.7%
		関東	286 100.0%	17 5.9%	214 74.8%	55 19.2%
		中部	156 100.0%	23 14.7%	113 72.4%	20 12.8%
関西・近畿		173 100.0%	16 9.2%	137 79.2%	20 11.6%	
中国・四国		106 100.0%	9 8.5%	83 78.3%	14 13.2%	
九州・沖縄		67 100.0%	6 9.0%	52 77.6%	9 13.4%	

		合計	学生の学修意欲が高まった			
			よかった点 であると思 う	よかった点 であるとは 思わない	無回答	
全体		891 100.0%	323 36.3%	437 49.0%	131 14.7%	
該当する専門領域	基礎看護学	122 100.0%	48 39.3%	54 44.3%	20 16.4%	
	成人看護学	138 100.0%	42 30.4%	74 53.6%	22 15.9%	
	老年看護学	105 100.0%	33 31.4%	56 53.3%	16 15.2%	
	母性看護学	83 100.0%	41 49.4%	35 42.2%	7 8.4%	
	小児看護学	89 100.0%	35 39.3%	40 44.9%	14 15.7%	
	精神看護学	64 100.0%	15 23.4%	35 54.7%	14 21.9%	
	在宅看護学	63 100.0%	21 33.3%	34 54.0%	8 12.7%	
	看護の統合と実践	98 100.0%	45 45.9%	38 38.8%	15 15.3%	
	助産学実習	38 100.0%	12 31.6%	21 55.3%	5 13.2%	
	公衆衛生看護学実習	79 100.0%	27 34.2%	45 57.0%	7 8.9%	
	無回答	12 100.0%	4 33.3%	5 41.7%	3 25.0%	
	設置ブロック	北海道・東北	103 100.0%	36 35.0%	56 54.4%	11 10.7%
		関東	286 100.0%	96 33.6%	134 46.9%	56 19.6%
		中部	156 100.0%	66 42.3%	71 45.5%	19 12.2%
関西・近畿		173 100.0%	65 37.6%	86 49.7%	22 12.7%	
中国・四国		106 100.0%	38 35.8%	54 50.9%	14 13.2%	
九州・沖縄		67 100.0%	22 32.8%	36 53.7%	9 13.4%	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

V. 臨地での実習延期・短縮・中止に伴う、ご担当科目の実習形態の変更についてお聞かせください。

		合計	学生の自己学修時間が増えた			
			よかった点 であると思 う	よかった点 であるとは 思わない	無回答	
全体		891 100.0%	497 55.8%	267 30.0%	127 14.3%	
該当する専門領域	基礎看護学	122 100.0%	69 56.6%	33 27.0%	20 16.4%	
	成人看護学	138 100.0%	75 54.3%	46 33.3%	17 12.3%	
	老年看護学	105 100.0%	56 53.3%	32 30.5%	17 16.2%	
	母性看護学	83 100.0%	59 71.1%	16 19.3%	8 9.6%	
	小児看護学	89 100.0%	48 53.9%	28 31.5%	13 14.6%	
	精神看護学	64 100.0%	28 43.8%	22 34.4%	14 21.9%	
	在宅看護学	63 100.0%	40 63.5%	15 23.8%	8 12.7%	
	看護の統合と実践	98 100.0%	50 51.0%	31 31.6%	17 17.3%	
	助産学実習	38 100.0%	26 68.4%	7 18.4%	5 13.2%	
	公衆衛生看護学実習	79 100.0%	42 53.2%	31 39.2%	6 7.6%	
	無回答	12 100.0%	4 33.3%	6 50.0%	2 16.7%	
	設置ブロック	北海道・東北	103 100.0%	57 55.3%	36 35.0%	10 9.7%
		関東	286 100.0%	126 44.1%	106 37.1%	54 18.9%
中部		156 100.0%	95 60.9%	39 25.0%	22 14.1%	
関西・近畿		173 100.0%	117 67.6%	36 20.8%	20 11.6%	
中国・四国		106 100.0%	64 60.4%	30 28.3%	12 11.3%	
九州・沖縄		67 100.0%	38 56.7%	20 29.9%	9 13.4%	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

Ⅶ. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

		合計	実習時期			
			調整あり	調整なし	無回答	
全体		1121 100.0%	728 64.9%	393 35.1%	362	
該当する専門領域	基礎看護学	154 100.0%	88 57.1%	66 42.9%	70	
	成人看護学	176 100.0%	118 67.0%	58 33.0%	54	
	老年看護学	122 100.0%	79 64.8%	43 35.2%	37	
	母性看護学	99 100.0%	60 60.6%	39 39.4%	25	
	小児看護学	106 100.0%	65 61.3%	41 38.7%	30	
	精神看護学	90 100.0%	52 57.8%	38 42.2%	33	
	在宅看護学	99 100.0%	60 60.6%	39 39.4%	32	
	看護の統合と実践	116 100.0%	76 65.5%	40 34.5%	33	
	助産学実習	38 100.0%	37 97.4%	1 2.6%	11	
	公衆衛生看護学実習	111 100.0%	87 78.4%	24 21.6%	25	
	無回答	10 100.0%	6 60.0%	4 40.0%	12	
	設置ブロック	北海道・東北	120 100.0%	75 62.5%	45 37.5%	40
		関東	353 100.0%	235 66.6%	118 33.4%	121
中部		223 100.0%	142 63.7%	81 36.3%	55	
関西・近畿		212 100.0%	147 69.3%	65 30.7%	73	
中国・四国		123 100.0%	73 59.3%	50 40.7%	49	
九州・沖縄		90 100.0%	56 62.2%	34 37.8%	24	

		合計	受け入れ人数			
			調整あり	調整なし	無回答	
全体		1113 100.0%	746 67.0%	367 33.0%	370	
該当する専門領域	基礎看護学	150 100.0%	95 63.3%	55 36.7%	74	
	成人看護学	175 100.0%	121 69.1%	54 30.9%	55	
	老年看護学	121 100.0%	87 71.9%	34 28.1%	38	
	母性看護学	98 100.0%	76 77.6%	22 22.4%	26	
	小児看護学	105 100.0%	76 72.4%	29 27.6%	31	
	精神看護学	90 100.0%	61 67.8%	29 32.2%	33	
	在宅看護学	99 100.0%	68 68.7%	31 31.3%	32	
	看護の統合と実践	116 100.0%	73 62.9%	43 37.1%	33	
	助産学実習	38 100.0%	28 73.7%	10 26.3%	11	
	公衆衛生看護学実習	110 100.0%	55 50.0%	55 50.0%	26	
	無回答	11 100.0%	6 54.5%	5 45.5%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	120 100.0%	73 60.8%	47 39.2%	40
		関東	350 100.0%	246 70.3%	104 29.7%	124
中部		221 100.0%	158 71.5%	63 28.5%	57	
関西・近畿		212 100.0%	144 67.9%	68 32.1%	73	
中国・四国		124 100.0%	72 58.1%	52 41.9%	48	
九州・沖縄		86 100.0%	53 61.6%	33 38.4%	28	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

Ⅶ. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、ブルダウンリストから選択してください。

		合計	受け入れ日数			
			調整あり	調整なし	無回答	
全体		1113 100.0%	839 75.4%	274 24.6%	370	
該当する専門領域	基礎看護学	151 100.0%	108 71.5%	43 28.5%	73	
	成人看護学	175 100.0%	142 81.1%	33 18.9%	55	
	老年看護学	121 100.0%	98 81.0%	23 19.0%	38	
	母性看護学	98 100.0%	74 75.5%	24 24.5%	26	
	小児看護学	105 100.0%	74 70.5%	31 29.5%	31	
	精神看護学	90 100.0%	62 68.9%	28 31.1%	33	
	在宅看護学	99 100.0%	73 73.7%	26 26.3%	32	
	看護の統合と実践	116 100.0%	81 69.8%	35 30.2%	33	
	助産学実習	38 100.0%	32 84.2%	6 15.8%	11	
	公衆衛生看護学実習	110 100.0%	89 80.9%	21 19.1%	26	
	無回答	10 100.0%	6 60.0%	4 40.0%	12	
	設置ブロック	北海道・東北	120 100.0%	81 67.5%	39 32.5%	40
		関東	351 100.0%	271 77.2%	80 22.8%	123
		中部	222 100.0%	167 75.2%	55 24.8%	56
関西・近畿		210 100.0%	165 78.6%	45 21.4%	75	
中国・四国		123 100.0%	82 66.7%	41 33.3%	49	
九州・沖縄		87 100.0%	73 83.9%	14 16.1%	27	

		合計	実習時間（臨地での実習時間、開始時間・終了時間など）			
			調整あり	調整なし	無回答	
全体		1112 100.0%	833 74.9%	279 25.1%	371	
該当する専門領域	基礎看護学	149 100.0%	110 73.8%	39 26.2%	75	
	成人看護学	176 100.0%	135 76.7%	41 23.3%	54	
	老年看護学	121 100.0%	95 78.5%	26 21.5%	38	
	母性看護学	98 100.0%	76 77.6%	22 22.4%	26	
	小児看護学	104 100.0%	81 77.9%	23 22.1%	32	
	精神看護学	91 100.0%	67 73.6%	24 26.4%	32	
	在宅看護学	98 100.0%	77 78.6%	21 21.4%	33	
	看護の統合と実践	116 100.0%	78 67.2%	38 32.8%	33	
	助産学実習	38 100.0%	28 73.7%	10 26.3%	11	
	公衆衛生看護学実習	110 100.0%	78 70.9%	32 29.1%	26	
	無回答	11 100.0%	8 72.7%	3 27.3%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	119 100.0%	74 62.2%	45 37.8%	41
		関東	351 100.0%	287 81.8%	64 18.2%	123
		中部	221 100.0%	161 72.9%	60 27.1%	57
関西・近畿		210 100.0%	161 76.7%	49 23.3%	75	
中国・四国		124 100.0%	83 66.9%	41 33.1%	48	
九州・沖縄		87 100.0%	67 77.0%	20 23.0%	27	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

Ⅶ. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、ブルダウンリストから選択してください。

		合計	使用病棟・部署			
			調整あり	調整なし	無回答	
全体		1097 100.0%	666 60.7%	431 39.3%	386	
該当する専門領域	基礎看護学	149 100.0%	99 66.4%	50 33.6%	75	
	成人看護学	175 100.0%	123 70.3%	52 29.7%	55	
	老年看護学	119 100.0%	74 62.2%	45 37.8%	40	
	母性看護学	98 100.0%	54 55.1%	44 44.9%	26	
	小児看護学	102 100.0%	54 52.9%	48 47.1%	34	
	精神看護学	90 100.0%	51 56.7%	39 43.3%	33	
	在宅看護学	96 100.0%	44 45.8%	52 54.2%	35	
	看護の統合と実践	113 100.0%	73 64.6%	40 35.4%	36	
	助産学実習	38 100.0%	24 63.2%	14 36.8%	11	
	公衆衛生看護学実習	106 100.0%	63 59.4%	43 40.6%	30	
	無回答	11 100.0%	7 63.6%	4 36.4%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	116 100.0%	60 51.7%	56 48.3%	44
		関東	347 100.0%	222 64.0%	125 36.0%	127
		中部	216 100.0%	127 58.8%	89 41.2%	62
関西・近畿		209 100.0%	135 64.6%	74 35.4%	76	
中国・四国		124 100.0%	67 54.0%	57 46.0%	48	
九州・沖縄		85 100.0%	55 64.7%	30 35.3%	29	

		合計	学生の体調管理方法			
			調整あり	調整なし	無回答	
全体		1112 100.0%	1026 92.3%	86 7.7%	371	
該当する専門領域	基礎看護学	149 100.0%	131 87.9%	18 12.1%	75	
	成人看護学	177 100.0%	172 97.2%	5 2.8%	53	
	老年看護学	120 100.0%	113 94.2%	7 5.8%	39	
	母性看護学	99 100.0%	90 90.9%	9 9.1%	25	
	小児看護学	104 100.0%	97 93.3%	7 6.7%	32	
	精神看護学	93 100.0%	85 91.4%	8 8.6%	30	
	在宅看護学	99 100.0%	88 88.9%	11 11.1%	32	
	看護の統合と実践	113 100.0%	99 87.6%	14 12.4%	36	
	助産学実習	38 100.0%	37 97.4%	1 2.6%	11	
	公衆衛生看護学実習	109 100.0%	105 96.3%	4 3.7%	27	
	無回答	11 100.0%	9 81.8%	2 18.2%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	117 100.0%	106 90.6%	11 9.4%	43
		関東	352 100.0%	328 93.2%	24 6.8%	122
		中部	220 100.0%	204 92.7%	16 7.3%	58
関西・近畿		210 100.0%	189 90.0%	21 10.0%	75	
中国・四国		125 100.0%	117 93.6%	8 6.4%	47	
九州・沖縄		88 100.0%	82 93.2%	6 6.8%	26	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

VII. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

		合計	学生の実習可否判断基準（発熱、自覚症状、健康観察の結果、行動履歴など）			
			調整あり	調整なし	無回答	
全体		1111 100.0%	1021 91.9%	90 8.1%	372	
該当する専門領域	基礎看護学	148 100.0%	129 87.2%	19 12.8%	76	
	成人看護学	177 100.0%	171 96.6%	6 3.4%	53	
	老年看護学	120 100.0%	112 93.3%	8 6.7%	39	
	母性看護学	99 100.0%	92 92.9%	7 7.1%	25	
	小児看護学	105 100.0%	98 93.3%	7 6.7%	31	
	精神看護学	93 100.0%	84 90.3%	9 9.7%	30	
	在宅看護学	98 100.0%	86 87.8%	12 12.2%	33	
	看護の統合と実践	113 100.0%	99 87.6%	14 12.4%	36	
	助産学実習	38 100.0%	37 97.4%	1 2.6%	11	
	公衆衛生看護学実習	109 100.0%	105 96.3%	4 3.7%	27	
	無回答	11 100.0%	8 72.7%	3 27.3%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	117 100.0%	104 88.9%	13 11.1%	43
		関東	352 100.0%	327 92.9%	25 7.1%	122
		中部	218 100.0%	202 92.7%	16 7.3%	60
関西・近畿		210 100.0%	188 89.5%	22 10.5%	75	
中国・四国		125 100.0%	116 92.8%	9 7.2%	47	
九州・沖縄		89 100.0%	84 94.4%	5 5.6%	25	

		合計	学生が感染もしくは、濃厚接触者になった場合の対応方法			
			調整あり	調整なし	無回答	
全体		1109 100.0%	1010 91.1%	99 8.9%	374	
該当する専門領域	基礎看護学	148 100.0%	123 83.1%	25 16.9%	76	
	成人看護学	177 100.0%	171 96.6%	6 3.4%	53	
	老年看護学	119 100.0%	109 91.6%	10 8.4%	40	
	母性看護学	99 100.0%	91 91.9%	8 8.1%	25	
	小児看護学	105 100.0%	96 91.4%	9 8.6%	31	
	精神看護学	93 100.0%	85 91.4%	8 8.6%	30	
	在宅看護学	97 100.0%	87 89.7%	10 10.3%	34	
	看護の統合と実践	113 100.0%	99 87.6%	14 12.4%	36	
	助産学実習	38 100.0%	36 94.7%	2 5.3%	11	
	公衆衛生看護学実習	109 100.0%	106 97.2%	3 2.8%	27	
	無回答	11 100.0%	7 63.6%	4 36.4%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	116 100.0%	104 89.7%	12 10.3%	44
		関東	352 100.0%	320 90.9%	32 9.1%	122
		中部	218 100.0%	199 91.3%	19 8.7%	60
関西・近畿		210 100.0%	188 89.5%	22 10.5%	75	
中国・四国		125 100.0%	116 92.8%	9 7.2%	47	
九州・沖縄		88 100.0%	83 94.3%	5 5.7%	26	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

VII. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

		合計	学生の実習時間外のごし方 (都道府県外への外出、アルバイト等)			
			調整あり	調整なし	無回答	
全体		1108 100.0%	1003 90.5%	105 9.5%	375	
該当する専門領域	基礎看護学	146 100.0%	127 87.0%	19 13.0%	78	
	成人看護学	176 100.0%	168 95.5%	8 4.5%	54	
	老年看護学	119 100.0%	108 90.8%	11 9.2%	40	
	母性看護学	99 100.0%	91 91.9%	8 8.1%	25	
	小児看護学	105 100.0%	99 94.3%	6 5.7%	31	
	精神看護学	93 100.0%	81 87.1%	12 12.9%	30	
	在宅看護学	98 100.0%	84 85.7%	14 14.3%	33	
	看護の統合と実践	114 100.0%	100 87.7%	14 12.3%	35	
	助産学実習	38 100.0%	36 94.7%	2 5.3%	11	
	公衆衛生看護学実習	109 100.0%	102 93.6%	7 6.4%	27	
	無回答	11 100.0%	7 63.6%	4 36.4%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	118 100.0%	106 89.8%	12 10.2%	42
		関東	351 100.0%	318 90.6%	33 9.4%	123
中部		217 100.0%	200 92.2%	17 7.8%	61	
関西・近畿		209 100.0%	179 85.6%	30 14.4%	76	
中国・四国		125 100.0%	117 93.6%	8 6.4%	47	
九州・沖縄		88 100.0%	83 94.3%	5 5.7%	26	

		合計	PCR検査等の実施と結果の開示			
			調整あり	調整なし	無回答	
全体		1090 100.0%	499 45.8%	591 54.2%	393	
該当する専門領域	基礎看護学	145 100.0%	56 38.6%	89 61.4%	79	
	成人看護学	175 100.0%	91 52.0%	84 48.0%	55	
	老年看護学	115 100.0%	54 47.0%	61 53.0%	44	
	母性看護学	97 100.0%	52 53.6%	45 46.4%	27	
	小児看護学	105 100.0%	51 48.6%	54 51.4%	31	
	精神看護学	89 100.0%	38 42.7%	51 57.3%	34	
	在宅看護学	97 100.0%	41 42.3%	56 57.7%	34	
	看護の統合と実践	113 100.0%	51 45.1%	62 54.9%	36	
	助産学実習	38 100.0%	20 52.6%	18 47.4%	11	
	公衆衛生看護学実習	105 100.0%	39 37.1%	66 62.9%	31	
	無回答	11 100.0%	6 54.5%	5 45.5%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	112 100.0%	40 35.7%	72 64.3%	48
		関東	347 100.0%	189 54.5%	158 45.5%	127
中部		216 100.0%	82 38.0%	134 62.0%	62	
関西・近畿		208 100.0%	102 49.0%	106 51.0%	77	
中国・四国		123 100.0%	43 35.0%	80 65.0%	49	
九州・沖縄		84 100.0%	43 51.2%	41 48.8%	30	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

VII. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

	合計	受け持ち患者				
		調整あり	調整なし	無回答		
全体	1070 100.0%	683 63.8%	387 36.2%	413		
該当する専門領域	基礎看護学	145 100.0%	76 52.4%	69 47.6%	79	
	成人看護学	174 100.0%	120 69.0%	54 31.0%	56	
	老年看護学	115 100.0%	75 65.2%	40 34.8%	44	
	母性看護学	96 100.0%	64 66.7%	32 33.3%	28	
	小児看護学	101 100.0%	69 68.3%	32 31.7%	35	
	精神看護学	89 100.0%	46 51.7%	43 48.3%	34	
	在宅看護学	97 100.0%	74 76.3%	23 23.7%	34	
	看護の統合と実践	110 100.0%	69 62.7%	41 37.3%	39	
	助産学実習	38 100.0%	27 71.1%	11 28.9%	11	
	公衆衛生看護学実習	94 100.0%	58 61.7%	36 38.3%	42	
	無回答	11 100.0%	5 45.5%	6 54.5%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	113 100.0%	62 54.9%	51 45.1%	47
		関東	343 100.0%	234 68.2%	109 31.8%	131
		中部	206 100.0%	126 61.2%	80 38.8%	72
関西・近畿		204 100.0%	133 65.2%	71 34.8%	81	
中国・四国		122 100.0%	66 54.1%	56 45.9%	50	
九州・沖縄		82 100.0%	62 75.6%	20 24.4%	32	

	合計	実習方法の調整（申し送り参加、看護ケア方法、見学への変更など）				
		調整あり	調整なし	無回答		
全体	1091 100.0%	851 78.0%	240 22.0%	392		
該当する専門領域	基礎看護学	145 100.0%	100 69.0%	45 31.0%	79	
	成人看護学	175 100.0%	134 76.6%	41 23.4%	55	
	老年看護学	117 100.0%	98 83.8%	19 16.2%	42	
	母性看護学	96 100.0%	79 82.3%	17 17.7%	28	
	小児看護学	104 100.0%	85 81.7%	19 18.3%	32	
	精神看護学	89 100.0%	62 69.7%	27 30.3%	34	
	在宅看護学	97 100.0%	78 80.4%	19 19.6%	34	
	看護の統合と実践	113 100.0%	81 71.7%	32 28.3%	36	
	助産学実習	38 100.0%	35 92.1%	3 7.9%	11	
	公衆衛生看護学実習	106 100.0%	93 87.7%	13 12.3%	30	
	無回答	11 100.0%	6 54.5%	5 45.5%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	117 100.0%	75 64.1%	42 35.9%	43
		関東	347 100.0%	284 81.8%	63 18.2%	127
		中部	214 100.0%	164 76.6%	50 23.4%	64
関西・近畿		205 100.0%	163 79.5%	42 20.5%	80	
中国・四国		124 100.0%	91 73.4%	33 26.6%	48	
九州・沖縄		84 100.0%	74 88.1%	10 11.9%	30	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

VII. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

	合計	カンファレンス開催方法				
		調整あり	調整なし	無回答		
全体	1094 100.0%	803 73.4%	291 26.6%	389		
該当する専門領域	基礎看護学	145 100.0%	100 69.0%	45 31.0%	79	
	成人看護学	177 100.0%	138 78.0%	39 22.0%	53	
	老年看護学	117 100.0%	91 77.8%	26 22.2%	42	
	母性看護学	97 100.0%	74 76.3%	23 23.7%	27	
	小児看護学	104 100.0%	84 80.8%	20 19.2%	32	
	精神看護学	90 100.0%	64 71.1%	26 28.9%	33	
	在宅看護学	97 100.0%	74 76.3%	23 23.7%	34	
	看護の統合と実践	114 100.0%	81 71.1%	33 28.9%	35	
	助産学実習	38 100.0%	24 63.2%	14 36.8%	11	
	公衆衛生看護学実習	104 100.0%	69 66.3%	35 33.7%	32	
	無回答	11 100.0%	4 36.4%	7 63.6%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	117 100.0%	75 64.1%	42 35.9%	43
		関東	350 100.0%	272 77.7%	78 22.3%	124
		中部	214 100.0%	161 75.2%	53 24.8%	64
関西・近畿		205 100.0%	148 72.2%	57 27.8%	80	
中国・四国		124 100.0%	86 69.4%	38 30.6%	48	
九州・沖縄		84 100.0%	61 72.6%	23 27.4%	30	

	合計	電子カルテならびにカルテ室の使用方法				
		調整あり	調整なし	無回答		
全体	1058 100.0%	464 43.9%	594 56.1%	425		
該当する専門領域	基礎看護学	143 100.0%	54 37.8%	89 62.2%	81	
	成人看護学	176 100.0%	84 47.7%	92 52.3%	54	
	老年看護学	115 100.0%	54 47.0%	61 53.0%	44	
	母性看護学	96 100.0%	43 44.8%	53 55.2%	28	
	小児看護学	101 100.0%	47 46.5%	54 53.5%	35	
	精神看護学	89 100.0%	41 46.1%	48 53.9%	34	
	在宅看護学	97 100.0%	49 50.5%	48 49.5%	34	
	看護の統合と実践	109 100.0%	48 44.0%	61 56.0%	40	
	助産学実習	38 100.0%	17 44.7%	21 55.3%	11	
	公衆衛生看護学実習	84 100.0%	25 29.8%	59 70.2%	52	
	無回答	10 100.0%	2 20.0%	8 80.0%	12	
	設置ブロック	北海道・東北	113 100.0%	36 31.9%	77 68.1%	47
		関東	341 100.0%	160 46.9%	181 53.1%	133
		中部	207 100.0%	88 42.5%	119 57.5%	71
関西・近畿		197 100.0%	86 43.7%	111 56.3%	88	
中国・四国		119 100.0%	49 41.2%	70 58.8%	53	
九州・沖縄		81 100.0%	45 55.6%	36 44.4%	33	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

VII. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、ブルダウニリストから選択してください。

	合計	学生記録場所の確保と3密対策				
		調整あり	調整なし	無回答		
全体	1091 100.0%	906 83.0%	185 17.0%	392		
該当する専門領域	基礎看護学	144 100.0%	105 72.9%	39 27.1%	80	
	成人看護学	175 100.0%	164 93.7%	11 6.3%	55	
	老年看護学	118 100.0%	101 85.6%	17 14.4%	41	
	母性看護学	98 100.0%	82 83.7%	16 16.3%	26	
	小児看護学	104 100.0%	86 82.7%	18 17.3%	32	
	精神看護学	90 100.0%	74 82.2%	16 17.8%	33	
	在宅看護学	97 100.0%	75 77.3%	22 22.7%	34	
	看護の統合と実践	111 100.0%	87 78.4%	24 21.6%	38	
	助産学実習	38 100.0%	36 94.7%	2 5.3%	11	
	公衆衛生看護学実習	105 100.0%	87 82.9%	18 17.1%	31	
	無回答	11 100.0%	9 81.8%	2 18.2%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	116 100.0%	81 69.8%	35 30.2%	44
		関東	347 100.0%	288 83.0%	59 17.0%	127
		中部	215 100.0%	182 84.7%	33 15.3%	63
関西・近畿		204 100.0%	174 85.3%	30 14.7%	81	
中国・四国		124 100.0%	106 85.5%	18 14.5%	48	
九州・沖縄		85 100.0%	75 88.2%	10 11.8%	29	

	合計	学生更衣場所の確保と3密対策				
		調整あり	調整なし	無回答		
全体	1080 100.0%	833 77.1%	247 22.9%	403		
該当する専門領域	基礎看護学	145 100.0%	103 71.0%	42 29.0%	79	
	成人看護学	175 100.0%	152 86.9%	23 13.1%	55	
	老年看護学	119 100.0%	98 82.4%	21 17.6%	40	
	母性看護学	97 100.0%	77 79.4%	20 20.6%	27	
	小児看護学	105 100.0%	91 86.7%	14 13.3%	31	
	精神看護学	90 100.0%	71 78.9%	19 21.1%	33	
	在宅看護学	97 100.0%	67 69.1%	30 30.9%	34	
	看護の統合と実践	111 100.0%	79 71.2%	32 28.8%	38	
	助産学実習	38 100.0%	32 84.2%	6 15.8%	11	
	公衆衛生看護学実習	92 100.0%	54 58.7%	38 41.3%	44	
	無回答	11 100.0%	9 81.8%	2 18.2%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	113 100.0%	74 65.5%	39 34.5%	47
		関東	348 100.0%	270 77.6%	78 22.4%	126
		中部	214 100.0%	172 80.4%	42 19.6%	64
関西・近畿		203 100.0%	168 82.8%	35 17.2%	82	
中国・四国		121 100.0%	86 71.1%	35 28.9%	51	
九州・沖縄		81 100.0%	63 77.8%	18 22.2%	33	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

VII. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、ブルダウンリストから選択してください。

	合計	学生昼食場所の確保と3密対策				
		調整あり	調整なし	無回答		
全体	1092 100.0%	907 83.1%	185 16.9%	391		
該当する専門領域	基礎看護学	144 100.0%	107 74.3%	37 25.7%	80	
	成人看護学	176 100.0%	162 92.0%	14 8.0%	54	
	老年看護学	118 100.0%	100 84.7%	18 15.3%	41	
	母性看護学	98 100.0%	84 85.7%	14 14.3%	26	
	小児看護学	105 100.0%	91 86.7%	14 13.3%	31	
	精神看護学	91 100.0%	77 84.6%	14 15.4%	32	
	在宅看護学	97 100.0%	74 76.3%	23 23.7%	34	
	看護の統合と実践	112 100.0%	87 77.7%	25 22.3%	37	
	助産学実習	38 100.0%	34 89.5%	4 10.5%	11	
	公衆衛生看護学実習	102 100.0%	82 80.4%	20 19.6%	34	
	無回答	11 100.0%	9 81.8%	2 18.2%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	115 100.0%	85 73.9%	30 26.1%	45
		関東	352 100.0%	296 84.1%	56 15.9%	122
		中部	213 100.0%	181 85.0%	32 15.0%	65
関西・近畿		205 100.0%	175 85.4%	30 14.6%	80	
中国・四国		124 100.0%	98 79.0%	26 21.0%	48	
九州・沖縄		83 100.0%	72 86.7%	11 13.3%	31	

	合計	学生が使用する更衣室・昼食場所等の消毒				
		調整あり	調整なし	無回答		
全体	1086 100.0%	876 80.7%	210 19.3%	397		
該当する専門領域	基礎看護学	143 100.0%	105 73.4%	38 26.6%	81	
	成人看護学	175 100.0%	152 86.9%	23 13.1%	55	
	老年看護学	119 100.0%	102 85.7%	17 14.3%	40	
	母性看護学	97 100.0%	84 86.6%	13 13.4%	27	
	小児看護学	106 100.0%	91 85.8%	15 14.2%	30	
	精神看護学	90 100.0%	71 78.9%	19 21.1%	33	
	在宅看護学	97 100.0%	71 73.2%	26 26.8%	34	
	看護の統合と実践	112 100.0%	83 74.1%	29 25.9%	37	
	助産学実習	38 100.0%	31 81.6%	7 18.4%	11	
	公衆衛生看護学実習	98 100.0%	77 78.6%	21 21.4%	38	
	無回答	11 100.0%	9 81.8%	2 18.2%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	114 100.0%	85 74.6%	29 25.4%	46
		関東	350 100.0%	282 80.6%	68 19.4%	124
		中部	214 100.0%	173 80.8%	41 19.2%	64
関西・近畿		204 100.0%	173 84.8%	31 15.2%	81	
中国・四国		121 100.0%	91 75.2%	30 24.8%	51	
九州・沖縄		83 100.0%	72 86.7%	11 13.3%	31	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

Ⅶ. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

		合計	感染防護用具の準備			
			調整あり	調整なし	無回答	
全体		1097 100.0%	928 84.6%	169 15.4%	386	
該当する専門領域	基礎看護学	145 100.0%	113 77.9%	32 22.1%	79	
	成人看護学	176 100.0%	160 90.9%	16 9.1%	54	
	老年看護学	119 100.0%	105 88.2%	14 11.8%	40	
	母性看護学	97 100.0%	84 86.6%	13 13.4%	27	
	小児看護学	106 100.0%	95 89.6%	11 10.4%	30	
	精神看護学	91 100.0%	78 85.7%	13 14.3%	32	
	在宅看護学	98 100.0%	79 80.6%	19 19.4%	33	
	看護の統合と実践	112 100.0%	90 80.4%	22 19.6%	37	
	助産学実習	38 100.0%	33 86.8%	5 13.2%	11	
	公衆衛生看護学実習	104 100.0%	84 80.8%	20 19.2%	32	
	無回答	11 100.0%	7 63.6%	4 36.4%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	115 100.0%	93 80.9%	22 19.1%	45
		関東	354 100.0%	303 85.6%	51 14.4%	120
		中部	216 100.0%	183 84.7%	33 15.3%	62
関西・近畿		205 100.0%	174 84.9%	31 15.1%	80	
中国・四国		123 100.0%	101 82.1%	22 17.9%	49	
九州・沖縄		84 100.0%	74 88.1%	10 11.9%	30	

		合計	実習施設への入室方法（入り口、入室時の健康チェックなど）			
			調整あり	調整なし	無回答	
全体		1086 100.0%	900 82.9%	186 17.1%	397	
該当する専門領域	基礎看護学	142 100.0%	106 74.6%	36 25.4%	82	
	成人看護学	176 100.0%	155 88.1%	21 11.9%	54	
	老年看護学	118 100.0%	100 84.7%	18 15.3%	41	
	母性看護学	96 100.0%	81 84.4%	15 15.6%	28	
	小児看護学	104 100.0%	93 89.4%	11 10.6%	32	
	精神看護学	90 100.0%	79 87.8%	11 12.2%	33	
	在宅看護学	97 100.0%	71 73.2%	26 26.8%	34	
	看護の統合と実践	112 100.0%	94 83.9%	18 16.1%	37	
	助産学実習	38 100.0%	33 86.8%	5 13.2%	11	
	公衆衛生看護学実習	102 100.0%	80 78.4%	22 21.6%	34	
	無回答	11 100.0%	8 72.7%	3 27.3%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	115 100.0%	85 73.9%	30 26.1%	45
		関東	349 100.0%	290 83.1%	59 16.9%	125
		中部	214 100.0%	185 86.4%	29 13.6%	64
関西・近畿		203 100.0%	171 84.2%	32 15.8%	82	
中国・四国		123 100.0%	99 80.5%	24 19.5%	49	
九州・沖縄		82 100.0%	70 85.4%	12 14.6%	32	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

Ⅶ. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

	合計	実習施設設備の使用方法（エレベーター、廊下、売店など）				
		調整あり	調整なし	無回答		
全体	1077 100.0%	626 58.1%	451 41.9%	406		
該当する専門領域	基礎看護学	142 100.0%	70 49.3%	72 50.7%	82	
	成人看護学	175 100.0%	117 66.9%	58 33.1%	55	
	老年看護学	118 100.0%	74 62.7%	44 37.3%	41	
	母性看護学	95 100.0%	63 66.3%	32 33.7%	29	
	小児看護学	104 100.0%	61 58.7%	43 41.3%	32	
	精神看護学	89 100.0%	48 53.9%	41 46.1%	34	
	在宅看護学	96 100.0%	44 45.8%	52 54.2%	35	
	看護の統合と実践	112 100.0%	73 65.2%	39 34.8%	37	
	助産学実習	38 100.0%	26 68.4%	12 31.6%	11	
	公衆衛生看護学実習	97 100.0%	45 46.4%	52 53.6%	39	
	無回答	11 100.0%	5 45.5%	6 54.5%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	113 100.0%	53 46.9%	60 53.1%	47
		関東	347 100.0%	216 62.2%	131 37.8%	127
中部		213 100.0%	125 58.7%	88 41.3%	65	
関西・近畿		203 100.0%	125 61.6%	78 38.4%	82	
中国・四国		120 100.0%	57 47.5%	63 52.5%	52	
九州・沖縄		81 100.0%	50 61.7%	31 38.3%	33	

	合計	実習施設の移動可能場所、病棟までの通路など				
		調整あり	調整なし	無回答		
全体	1072 100.0%	569 53.1%	503 46.9%	411		
該当する専門領域	基礎看護学	142 100.0%	61 43.0%	81 57.0%	82	
	成人看護学	173 100.0%	108 62.4%	65 37.6%	57	
	老年看護学	118 100.0%	68 57.6%	50 42.4%	41	
	母性看護学	95 100.0%	54 56.8%	41 43.2%	29	
	小児看護学	104 100.0%	60 57.7%	44 42.3%	32	
	精神看護学	89 100.0%	42 47.2%	47 52.8%	34	
	在宅看護学	96 100.0%	39 40.6%	57 59.4%	35	
	看護の統合と実践	111 100.0%	66 59.5%	45 40.5%	38	
	助産学実習	38 100.0%	24 63.2%	14 36.8%	11	
	公衆衛生看護学実習	95 100.0%	41 43.2%	54 56.8%	41	
	無回答	11 100.0%	6 54.5%	5 45.5%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	112 100.0%	46 41.1%	66 58.9%	48
		関東	344 100.0%	194 56.4%	150 43.6%	130
中部		213 100.0%	123 57.7%	90 42.3%	65	
関西・近畿		202 100.0%	112 55.4%	90 44.6%	83	
中国・四国		120 100.0%	51 42.5%	69 57.5%	52	
九州・沖縄		81 100.0%	43 53.1%	38 46.9%	33	

調査B <日本看護系大学協議会(JANPU)>

VII. 感染予防のために実習施設と調整・確認していることすべてについて、プルダウンリストから選択してください。

		合計	実習委託費の変更			
			調整あり	調整なし	無回答	
全体		1069 100.0%	195 18.2%	874 81.8%	414	
該当する専門領域	基礎看護学	141 100.0%	20 14.2%	121 85.8%	83	
	成人看護学	169 100.0%	26 15.4%	143 84.6%	61	
	老年看護学	118 100.0%	33 28.0%	85 72.0%	41	
	母性看護学	95 100.0%	19 20.0%	76 80.0%	29	
	小児看護学	104 100.0%	19 18.3%	85 81.7%	32	
	精神看護学	89 100.0%	17 19.1%	72 80.9%	34	
	在宅看護学	93 100.0%	14 15.1%	79 84.9%	38	
	看護の統合と実践	110 100.0%	21 19.1%	89 80.9%	39	
	助産学実習	37 100.0%	8 21.6%	29 78.4%	12	
	公衆衛生看護学実習	102 100.0%	18 17.6%	84 82.4%	34	
	無回答	11 100.0%	0 0.0%	11 100.0%	11	
	設置ブロック	北海道・東北	114 100.0%	25 21.9%	89 78.1%	46
		関東	343 100.0%	54 15.7%	289 84.3%	131
中部		208 100.0%	35 16.8%	173 83.2%	70	
関西・近畿		201 100.0%	50 24.9%	151 75.1%	84	
中国・四国		121 100.0%	14 11.6%	107 88.4%	51	
九州・沖縄		82 100.0%	17 20.7%	65 79.3%	32	

【自由記述】 実習変更の対応・工夫（代替え）に 関する具体策の紹介

1

【No.1】

- 国立大学
- 関東
- 基礎看護学

- 学内の実習室に病室環境を作成し、病棟内の環境測定をした結果を提示し、その環境を考察してもらったり、患者の目線や看護師の目線にカメラを合わせ、配信し、寝ている患者から看護師がどのように見えるか、看護師の態度や姿勢により患者の感じ方がどのように変わるかをオンラインで患者体験できるようにし、実際に患者役の教員とコミュニケーションできるようにした。
- 1日の看護師の行動を後ろから撮影した写真を用い、病棟内を看護師と一緒に動く学生目線で、看護師の役割や機能を学べるようにした。
- 入学後、通学しておらず、学生同士の交流の機会がほとんどなかったため、グループでディスカッションし、全体でディスカッションした内容を共有する機会を多くもった。
- 2つの附属病院の看護部長にオンラインで講義をしていただくとともに、学生と双方向でディスカッションできる機会を持った。

3

基礎看護学 実習変更の対応・工夫（代替え）

2

実習変更の対応・工夫（代替え）

【No.2】

- 公立大学
- 関西・近畿
- 基礎看護学

- 本来統合科目であるから教員全体で行うが、on-lineの実習であったため、看護管理担当者2名と非常勤教員2名でおこなった。
- Zoomライブで看護部長、専門看護師、認定看護師を招聘した講義をおこなった。
- カンファレンスはZoomでのブレイクアウトミーティングを活用した。記録はオフィス365のFormsで毎日提出してもらい、教員もオンライン上で確認して次の日に返却することができた。またグループワークの作業には、オフィス365のonedriveとclassnote、そしてZoomを用いてパワーポイントを共同で作成することを可能にした。
- 大学の執行部があまりリーダーシップがとれずまた、Zoomの活用も大学では禁止されており（システムが脆弱）、暗黙のなかで実施したため、ほかの授業も対面ができずのオンデマンドの準備のなかでおこなったので本当に大変だった。しかし、ありとあらゆる使える機能を用いて実施したため、学生には熱意が伝わり、高評価を得た。おいつめられた中での実習であったが、がんばれば学生に思いは伝わると実感した。

4

実習変更の対応・工夫（代替え）

【No.3】

- 私立大学
- 関東
- 基礎看護学

1. 実習先と協働で作成した教材ビデオ：実習先の病室にて、実習先の看護師さんによる看護実践

実習先の看護師さんと協働しました。実習先の病棟で、現場の看護師さんへの看護を実践してもらい、その動画を教材としました。患者さん役は、看護職の卒業生に託していただきました。少しでも現場のリアルを伝えるため、病棟に協力していただきました（6月に撮影）。コロナ患者も受け入れられている病棟で、大変な中、本当にありがたかったです。他の科目の演習で模擬患者さんを依頼するときには、模擬患者を要請している組織に依頼し、シニアの男性に来ていただきますが、コロナ禍にて依頼することもできず、どうしようかと思っておりましたが、看護職の卒業生が協力してくださり、大変助かりました（困っている母校のために、一肌ぬいてくださいました）。東京の感染者数が落ち着いていない6月に、動画教材が作成できたのは、実習に行けない看護学生を心から心配して下さった看護の先輩方のご協力があったからです。ありがとうございました。

2. 上級生による「病棟での看護学生の1日」スライドの作成

基礎の実習では、病棟で看護学生が、どのようにふるまうのか、どこに向かっているのか、など、実習時の看護学生としての行動についても学びます。案内やWebでもそれができないため、次の成人の実習で病棟に行くときに、少しでも困らないように、朝、大学のロッカーに到着してから、張り脚下を通って付属の看護病棟にいき、病棟にはいって、どうするか、看護師さんにはどのような挨拶するか、など、「実習の1日」がわかるスライドを、実習を体験した上級生に学生目録で作成してもらいました。

3. 看護師さんからの応援メッセージ動画

4月からずっと在宅学習をしている学生たちが病棟の看護師さんと、少しでもコミュニケーションがとれるように、看護師さんからの応援メッセージ動画を制作し、学生に視聴してもらいました。学生のメッセージ動画への感想を、病棟看護師さんに届けて、時間差はありましたが、教員が両者間のコミュニケーションの媒介となりました。

4. オンラインコミュニケーション教材vSimの活用

オンラインコミュニケーション教材vSimを購入し、実習の一部として、活用しました。vSimでは10の患者シナリオがあり、その中から、基礎看護学実習で担当することの多い疾患を6つ選び、学生に体験してもらいました。個々の学生がvSimにて体験した内容は、実習グループ内にて発表し、学びを共有しました。

5

実習変更の対応・工夫（代替え）

【No.4】

- 国立大学
- 関西・近畿
- 成人看護学

● すべてオンラインでの実習としました。実習予定だった病棟で持ち得る事例に近い架空事例を用い、看護過程の展開を実施しました。架空事例の情報源は、一つがDVDとして市販されている周術期の教材をもとに作成した事例、もう一つは6月未だ公開されていたスマホ向けアプリ（はずびい）の各疾患の事例を使用しました。オリエンテーションや指導、カンファレンス、発表などにはすべてオンラインミーティングツールZOOMを使用しました。

● DVD事例により現実感をだすために、大学院生と教員に患者役を行ってもらい、ZOOMでインタビュー、情報収集、現在の状況をかたつともうようようにしました。また、患者体験をふかめるために、オンラインで公開されている患者さんの語りや患者さんのブログ、〇〇がんセンターの公開講座の録画を活用しました。

● 慢性領域では、2つの方法によりオンライン実習を行いました。一つは、学生の近い方で病気をもちながら生活している方に学生本人がインタビューを行い、その方の体験を看護展開の事例とさせていただきました。もう一つは、実習予定だった病棟に特徴的な疾患を持つ架空患者を考え、より現実的な状況の事例になるように病棟看護師の支援を受けながら事例を作成しました。この実習では、学生が個人で看護展開をした後、教員のグループを作り看護目標・計画について改めて検討し、ロールプレイ方式で看護計画を実施、発表しました。

7

成人看護学 実習変更の対応・工夫（代替え）

● 成人（慢性期）の実習であったことから、(1)事前学習として教員の開発したe-learningで疾病管理や患者教育の基礎を学習、(2)1週目は過去の実際の事例から看護過程の展開のシミュレーションと患者教育やカウンセリングの練習をオンライン（教員指導下のグループワーク、ロールプレイ）を行った。

● 2週目は、腎臓クリニックでリクルート（同意を得た）実際の患者にiPad（SIMカード入り）を郵送し、患者（1人）と学生（2人）が直接オンラインで、情報収集とアセスメント（1日目：1時間）、看護過程に基づいて患者教育の展開（3日目と5日目：各1時間）を行った。オンライン以外の時間は、学生は、教員の指導下、看護過程の展開、疾病管理の学習、教育教材作成などを行った。

● 実際にオンラインで、疾患を有する本物の患者やその家族と面談しながら患者教育が展開できたことは大変有効であった。オンライン上で学生は教材等を患者と共有し、運動などの動作を確認した。クリニックで医師が患者に依頼、同意文書は郵送。iPadは直前に各患者に郵送し、終了後は着払いでiPadを送り返してもらった。通信費がかからないようにSIMカードを使用した。

【No.5】

- 国立大学
- 中国・四国
- 成人看護学

8

実習変更の対応・工夫(代替え)

【No.6】

- 公立大学
- 北海道・東北
- 成人看護学

- できるだけ、2週間の入院経過に即した事例演習ができるように工夫した。
- 6事例(外科系3事例、内科系3事例)を教員が作成した。
- Webカルテを作成し、カルテのタブは、「患者基本情報1」「患者基本情報2」「経過表」「プログ्रेसノート」「薬剤処方」「検査」「手術記録」「その他」とした。
- 事例情報は、実習初日、3日目、5日目、8日目、10日目、実習最終日に新たな情報が更新されるようにし、
- 学生がその情報を入力し、タイムリーな看護アセスメント、看護計画立案、計画評価ができるよう工夫した。
- 臨床実習時と同様にオンラインで出席確認し、事例への実習(看護)計画を作成・発表し合い、演習に取組んだ。
- 看護実践は、1日のみ対面演習で実施。それ以外は、教員が患者役となり、オンラインで患者への問診やインタビュアー、退院指導を実施した。

9

実習変更の対応・工夫(代替え)

【No.7】

- 私立大学
- 九州・沖縄
- 成人看護学

- 遠隔実習にはなだったが、一部地域の医療従事者による臨床講義を取り入れた。
- 遠隔実習の具体的方法としては、模擬患者役割を担う教員と臨地実習指導者・教員役割を担う教員に役割分担し、学生が病棟で患者を受け持つて学ぶ方法と同じように、毎日模擬患者にオンライン上で関わり、看護過程の展開および実践ができるよう工夫した。朝のごあいさつ、意図的コミュニケーション、検温やケアの声掛け、教育プランの実施は学生が直接オンライン上で実践した。
- 実際に患者に触れて行う技術(検温、フィジカルイグザミネーション、状態観察)は、教員がその時だけ学生役になり、オンライン越しに学生からのような物品を準備するのか、技術もどかのように行うのかを指示してもらい、その通りに模擬患者に実践を行った。
- 模擬患者の客観的情報は模擬電子カルテを作成し、毎日情報を更新し、ZOOM上で開示した。開示時間も時間制限を行い、必要な情報を限られた時間内で正確に収集する力もつけることができるよう工夫した。
- VDT作業管理の視点で、オンラインに連続してつながる時間は60分を限度とし、適宜休憩を取り入れた。

10

老年看護学 実習変更の対応・工夫(代替え)

【No.8】

- 国立大学
- 関東
- 老年看護学

- 高齢患者体験として、トロミ剤を用いた嚥下体験を課した。トロミ剤は期末試験(対面式、筆記式)で学生全員が集合した折に配布した。
- また高齢者の概日リズム調整演習・教材として、学生が自分に足浴または手浴と昼寝を実施、起床時睡眠満足度調査票記載をもって昼寝の効果の評価する課題を課し、実施場面の静止画撮影としてポート提出にて評価した。

11

12

実習変更の対応・工夫（代替え）

【No.9】

- 公立大学
- 中部
- 老年看護学

- 看護過程を展開する実習では、教員が模擬認知症患者および模擬家族となつて、学生の立案した看護計画に沿った看護援助に対応している。学生は模擬患者の反応に応じて臨機応変に対処し、実践後の評価、再計画、再度実践を繰り返している。
- 地域包括ケアシステムの構成要素：介護、医療、予防、生活支援（福祉サービス）、住まいと住まいの方の視点をふまえ、高齢者が生活・療養する場（病院や施設）の特徴・役割、その場における多職種との連携・協働のあり方、家族への支援、看護の役割を考察させるために、介護老人福祉施設やデイサービス等で、看護師や多職種の業務場面や協働・連携場面、インタビュースとして施設の役割や大切にしていること、多職種が看護師に望むこと等撮影し、約3時間半の動画教材を作成し、活用している。
- 学生からは臨地での体験実習はできなかったが、自分が臨地で自力で学べる以上の内容を動画から学ぶことができたとの評価を得ている。

13

実習変更の対応・工夫（代替え）

【No.10】

- 私立大学
- 中国・四国
- 老年看護学

【オンラインの活用】

- Zoomを利用した施設入所中の高齢者とのコミュニケーション
- Zoomを利用した施設職員へのオンライン質問
- Google Sites: 学内者限定で、スマホやPCで確認できるWeb上の電子カルテシステムの作成を行った。
- Google Classroom: 学生との連絡等に使用
- Google Meet: 面談や指導に使用
- Google Form: 面談前の情報入力や自宅日の成果報告に使用

14

母性看護学 実習変更の対応・工夫（代替え）

【No.11】

- 国立大学
- 中国・四国
- 母性看護学

- 1クール2週間2グループ（合計12～13名）の実習のため、病棟2日間及び外来1日間のシャドーイング実習、学内での対面ケアシミュレーション、オンラインによる模擬事例展開の3種類を同時に進化した。
- オンライン模擬事例展開はいわゆるペーパーペーパメントではなく、模擬事例展開開始時点で極めて少ない情報のみを学生に提示し、実習教材として提示しているアセスメントの視点などを活用して、学生が自ら必要な情報に気づき、カルテ情報やケアを通して、対象者に情報を共有させていくという展開とした。
- オンライン上で学生が模擬患者（今年度は学外者の模擬妊産婦や家族を準備できなかったため、担当教員が妊産婦・家族役として対応）との関わりから情報共有した。
- また、模擬褥瘡と家族に対するケア計画の実施を通して対象者の全身状態の観察結果やケアに対する反応を評価し、受け持ち期間（4日間）を通して再アセスメント、計画、実施、評価というPDCAサイクルを循環的・継続的に展開し、可能な限り臨地に近いリアルな看護展開のための準備を行った。
- 学生からも他領域と異なり、リアルな看護展開であること、初めて実施、評価を行うことができたと、看護過程を展開する意味や意義を理解したという反応があった。
- ただし、事例は1グループの学生が全員が同じ事例を展開した。病棟・外来実習スケジュールのため展開日程がずれにくいため、1日に複数チャネルを教員が1人で同時進行した。対面ケアシミュレーションは模擬事例妊産婦を想定してシミュレーションを実施した。

15

16

実習変更の対応・工夫(代替え)

【No.12】

- 公立大学
- 中部
- 母性看護学

- 視聴覚教材は市販のものや実際の指導場面を撮影編集したもの、YouTubeの適切な動画を用いている。
- 褥婦及び新生児の看護展開は模型と、学生が褥婦役となり学生同士で看護ケアを展開している。教員が臨床指導者になり学生の行動計画からケア、指導、報告等を実施した。あらかじめ臨床指導者のキャラクターを10例設定しガチャポンくじのように学生にひかせて、教員は引いた指導者になりきり実習指導を行っている。学生からは臨場感・緊張感があると言われている。
- 分娩期の実習はシミュレーション演習の方法を取り入れている。

17

18

小児看護学 実習変更の対応・工夫(代替え)

実習変更の対応・工夫(代替え)

【No.13】

- 私立大学
- 中部
- 小児看護学

- 学内での実習となったため、事例2事例(重症心身障がい児・川崎病)を用いて看護過程の展開を行った。
- オンライン・メール・学内実習による看護過程の展開の個人指導を実施し、知識の理解に繋がった。また、重症心身障がい児・川崎病の視聴覚教材にて患児のイメージ化を図った。
- また、保育園実習では発達・年齢による保育の実際の視聴覚教材を活用し、知識を深めた上で、カンファレンスのディスカッションにより意見交換・共有を図った。
- 重症心身障がい児では関連図を用いて全体像の理解を深める目的で各自作成した関連図を用い、グループディスカッションにてグループにて共有し、全体で発表し、全員で共有した。ロールプレイでは川崎病の急性期・回復期・退院支援についてグループに役割分担し、ケアの内容や退院支援についてロールプレイし、画像にて撮影し、全体でディスカッションし、その後、実施・評価として記録に残した。
- 臨地での実習内容に近づけるために、創意工夫を行った。最後に面談・アンケートにて学内での実習での良かった点、学んだ内容、改善点について学生から話を聞いた。事例展開では個人指導により理解が深まり、ロールプレイを通し、患児の状況やケア内容、退院支援について学ぶ機会になったとの評価を得た。DVDにて保育園のイメージが出来たとの意見もあった。

19

20

精神看護学 実習変更の対応・工夫(代替え)

実習変更の対応・工夫(代替え)

【No.14】

- 公立大学
- 関東
- 精神看護学

- 4年次の当該科目では、3年次の病院での実習をふまえ、地域での生活を支える視点の強化を旨指している。
- 1週目は、広くメンタルヘルスに関する話題で各学生が関心を持っているテーマについてウェブ上で調査し、各自が得た情報についてプレゼンテーションした。
- 2週目は、精神保健医療福祉に関する様々な社会資源についてその法的基盤を含めた利用者像・利用方法・資源の特徴等についてグループで情報収集をした。その際、①青年期の患者 ②長期入院患者の退院支援 ③再発の危機を乗り越える ④就労を支援する ⑤家族を支援する ⑥その他(グループでテーマを作成)という6つのテーマからいずれかを各グループで選択し、そのテーマに沿った事例について、どのような資源を・どのようなプロセスで・どのように活用するか、という内容を盛り込んだストーリーを考え、事例紹介の形で社会資源についての説明をプレゼンテーションした。
- 3週目は、上の事例にさらに心理・社会的な背景を肉付けするために、家族背景・生育歴・病歴・幼少時の体験からクリアされていない葛藤やそれが発症・再発にどのように影響しているかを加えて患者の病の物語を描き出し、プレゼンテーションした。事例を学生が具体的にイメージしながら考え、このことで、精神障害をもつ人についてアセスメントする際のホーリスティックな視点を学習することにつながっていた。
- また、2週目と3週目にそれぞれ1回、オンラインの体験グループを行い、学生同士が今感じていることや体験していることを共有した。これまで学生たちはこうした機会をもったことがなく、初めて他の学生の意見を聞け、いろいろな考えがあることが分かったという声もあった。

21

在宅看護学 実習変更の対応・工夫(代替え)

23

実習変更の対応・工夫(代替え)

【No.15】

- 私立大学
- 関東
- 精神看護学

- 就労支援B型作業所に通う当事者とのリモート対話、配信動画を利用した看護過程の作成、精神保健医療看護職の理解を深めるための動画視聴、プロセズレコード作成、レポート作成を組み合わせて、到達目標に沿ってプログラムを組み立てた。教員は学生の学びが深められるよう、レポートコメントやカンファレンス等で指導を行い、目標に到達できるように指導を行った。以下、具体的に述べる。
- リモート対話は学生1人につき、30分×2回(合計1時間)1回目と2回目を数日あけて行った。事前にコミュニケーション技術講義と実際の対話を想定したロールプレイングを全員リモートで行った。リモートでの準備項目、注意事項、どのように対話に質問項目を組み込み、到達目標を達成できるか学生個人で考え、当日の行動目標計画に表した。当事者とのリモート対話当日は、実習指導者、学生、教員で打ち合わせを行動目標計画をもとに行なった。実習指導者の指導を受けて、当事者とのリモート対話を行い、学生は報告を行った。打ち合わせは朝、報告は午後に行い、学生全員で参加した。報告時、学生は実習目標に沿って実習指導者へ質問を行い、学びを深めた。
- 看護過程記録は、精神看護アセスメント動画配信を提示し、昨年度作成した看護過程演習記録を参考に作成するとした。最終提出までにリモート提出を2回行い、教員がコメントを返信した。看護過程記録は印刷して最終提出した。
- 精神保健医療福祉の理解を深めるための視聴動画を提示した。視聴動画リストを提示したから学生が選択して視聴した。視聴後、リモートにてカンファレンスを学生と教員で行い、印象深い内容からどのように学びにつなげたかを発表し、ディスカッションした。視聴した内容、学び、ディスカッションしたことなどを翌日までリモート提出を行った。教員は記録のすべてにコメントを付け返信した。
- 課題は、実習オリエンテーション時に提示、作成日前日と当日に伝え、作成のための準備を学生に促した。学生は、当事者との対話、実習指導者への質問、カンファレンス、教員との対話の中から自ら考えレポート作成できるように促した。
- プロセズレコード作成は、作成前の準備と書き方についての講義を実習初日に精神科認定看護師よりしてもらい、プロセズレコード提出後のコメント返却も行った。
- 毎日、実習終了時には学生主体のカンファレンスを行い、学びを整理深めた。
- 最終日には、学生が主体でリモートにて成果発表会を行った。司会・書記・タイムキーパーも学生が行い進めた。1人20分を発表と質疑応答時間とし、実習指導者からもコメントをいただき学びを深めた。

22

実習変更の対応・工夫(代替え)

【No.16】

- 私立大学
- 中部
- 在宅看護学

- ①実習指導者の招聘は、地域包括支援センターから指導者を実習クール(4クール)毎に1〜2名、対面でシークチャーしてもらいました。
- ②訪問看護ステーションから承諾を得た1事例の訪問看護場面の動画を提供いただき、その事例展開を実施しました。訪問看護ステーション管理者には、1回目はオンライン(Zoom)でオリエンテーションと事例に関する質疑応答、2回目は大学に来ていただき対面で学生の看護過程の展開の発表に対して講評をしていただきました。
- ③訪問診療医師に依頼し、オンライン(LINEビデオ通話)を活用してご承諾が得られた患者様のご自宅と一緒に同行訪問させていただきました(LINEビデオ通話はPCで繋ぎ、プロジェクトールにつないで大画面にしました)。一度に約20名が同行訪問可能で、医師からもとてもいい方法だと評価されました。難病の患者様などとLINEビデオ通話で繋いだ際、学生との質疑応答の時間を設けました。オンラインでしたが、実際の患者様の気持ちや姿勢と触れ合うことが出来て、非常に良い学びの機会となりました。
- 上記②③は、随地実習と同様に学生の守秘義務等の誓約書を訪問看護ステーション、訪問診療医に対して提出しました。

24

看護の統合と実践 実習変更の対応・工夫(代替え)

25

【No.17】

- 国立大学
- 関東
- 看護の統合と実践

- 実際には受け持つことが難しい患者の事例を通して(AYA世代のがん患者や終末期の患者、外国人患者、倫理的意思決定の検討が必要となる認知症高齢がん患者など)学生が知識、思考、感性をフル稼働して学びを得られるよう工夫し、成果が得られた。
- 外国人患者の役割を留学生に演じてもらい、情報収集、アセスメント、看護計画を立てる演習を行った。

26

実習変更の対応・工夫(代替え)

実習変更の対応・工夫(代替え)

【No.18】

- 公立大学
- 北海道・東北
- 看護の統合と実践

- 当初2か所の保健所および6つの市町村に分かれて実習する予定であったが、宿泊を伴う実習先は3月の時点で実習に行くことを辞退した。
- 大学に近い保健所で全員の实習を受けていただき、講義および事例検討を中心に保健所実習分を実施していただいた。
- 保健所の会議室に全員が入るのは困難なため、大半の講義を大学の講義室に指導者が交替で来て実施していただいた。市町村実習は中止し、学内実習を行った。
- 市町村保健師との交流・意見交換をオンラインで行った。学内実習では3年生の時に演習で取り組んだ家庭訪問事例や地域活動について学びを深め、健康教育や健康相談も後輩にビデオで見せられるものに仕上げるなど、例年よりも習得した技術や学びが深いものとなった。
- 今年度の経験で良かったものを次年度も取り入れたいと考えている。今年の実習で臨地に行けなかったことを残念に思う部分はあまりないというのが実感である。

27

実習変更の対応・工夫(代替え)

【No.19】

- 私立大学
- 関東
- 看護の統合と実践

- 特徴ある8つの病棟の看護マネジメントについて、看護管理者へのインタビューのビデオ映像および病棟の構造・マネジメント上不可欠な場面等をビデオ・写真撮影し、映像と管理ツール・管理関連資料からなる8つのマネジメント事例を作成し、これらの事例を用いて、オンラインZoom・ブレイクアウトセッション機能を活用し、ケースメソッドによるケース・ディスカッション(グループディスカッション・クラスディスカッション)を行った。
- オンライン(ライブ)で、事務局長・看護部長等の病院マネジメントの説明とQ&A、事例の8つの病棟師長へのQ&Aを行った。各病棟事例のビデオ・資料の視聴等の時間は約4時間。
- Step1: 特定機能病院としての〇〇大学病院のマネジメント説明(オンライン・ライブ)
- Step2: 8病棟の看護マネジメントの把握・事例視聴(個人)/グループ共有・師長Q&A(オンライン・ライブ)
- Step3: 8つの病棟の看護マネジメントの比較分析: グループディスカッションと発表(オンライン・ライブ)
- Step4: ケースメソッド: グループ・ディスカッション/クラス・ディスカッション(オンライン・ライブ)

28

実習変更の対応・工夫(代替え)

【No.20】

- 省庁大学校
- 関東
- 看護の統合と実践

- 地元自治体の健康課・地域包括と相談し、「認知症サポーター養成講座」の
出前講義(オンライン:ライブ・双方向)を配信した。
- 認知症のケアに関わる仮想事例のペーパーペイシエントでケアの関わり方・
援助計画を立案した。
- 非薬物療法として、ディ・ケアのアクティビティ、コグニサイズの援助計画を
立案し、オンラインで実演した。
- 認知症オンラインVR体験会(シルバークラウド社)の有料サービスを利用した。
- 実習施設の在宅医療支援部門の看護師長にオンライン(ライブ・双方向)講
義を依頼した。
- 健康長寿支援のテクノロジーについて、経産省・厚労省の公的サイトに掲載
の動画を教材として視聴し、ディスカッションを行った。
- End-of-life careについて、「もしバザゲーム」を用いてオンラインで話し合い、
また仮想事例ペーパーペイシエントの分析を行った。

29

30

助産学実習 実習変更の対応・工夫(代替え)

実習変更の対応・工夫(代替え)

【No.21】

- 国立大学
- 関東
- 助産学実習

- 模擬産婦事例は21事例作成し、同じ事例で同時期に演習(学内実
習(7月))を行わないように工夫した。
- 分娩介助シミュレーション演習を行うに当たっては、演習2週間前か
らの健康観察・行動記録を学生に毎日つけてもらい、助産実習室の
3密回避を徹底し、学生の更衣室も母性小児実習室の方に用意す
るなど環境準備も必要となった。
- 学生・教員が接近することを考え、マスク・フェイスシールドの着用、
手指消毒、手袋装着、演習ごとにファントーム、分娩台の消毒など
も感染予防策として行った。

31

32

公衆衛生看護学実習 実習変更の対応・工夫(代替え)

実習変更の対応・工夫（代替え）

【No.22】

- 事例：教員作成と、実習指導者作成のものを活用した。
- 実習指導者の招聘：対面とオンラインを実施した。
- ①健康保険団体の保健師に講師を依頼し、生活習慣病予防の保健指導に関する事例検討とロールプレイを対面で行った。
- ②県内市町村の保健センターに教員が出向き、食生活改善推進員および栄養士の講話をオンライン中継した。
- ③市町村保健師に事例を提供してもらい、家庭訪問継続支援の事例検討をオンラインで実施し、コメントを頂いた。
- ④保健所実習が県内各大学で中止となったため、県庁のご協力のもと、県内大学合同で保健師保健師のオンライン実習を実施した。
- ⑤産業看護職・養護教諭を講師としたオンライン実習（学校保健実習・産業保健実習）を実施した。
- ⑥他の学年の講義の講師として予定していた保健所長・保健師の講義に、実習生にも参加してもらった。
- 看護の対象者招聘：NPO団体ママの働き方応援隊に依頼し、オンラインで乳幼児親子とのふれあい体験を行った。

• 国立大学

• 関東

• 公衆衛生看護学実習

33

実習変更の対応・工夫（代替え）

【No.23】

- 通常の実習では、現地にて集団健康教育を実施しているが、今回は、通常の保健事業には参加しない（特定健診3年以上未受診者）など、地域診断によって導かれた分析結果をもとに、健康教育が必要なターゲット層を特定し、その対象に対する健康課題をテーマに健康教育の動画作成を行った。
- 通常の保険事業参加者は、意識や関心が高い人が多いが、今回の様な実施によって、真のハイリスク者へのアプローチ方法や教育内容を考えることができたのは評価できると考える。

• 国立大学

• 関西・近畿

• 公衆衛生看護学実習

34

<http://www.janpu.or.jp/wp/wp-content/uploads/2021/03/society5.0-yosizawa.pdf>

Society5.0時代の 看護学教育のDXとは

日本看護系大学協議会看護学教育質向上委員会
東北大学大学院医学系研究科

吉沢豊子

35

DX（Digital Transformation）とは？

- “Changes that the digital technology causes or influences in all aspects of human life.”（デジタル技術が人間生活の全ての面において起こす、あるいは影響を及ぼす諸変化）
（Eric Stolterman, 2004*）
→進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること

看護学教育におけるDXとは？

デジタル技術を活用し、看護学における講義や演習および実習を変革すること

* Erik Stolterman & Anna Croon Fors: "Information Technology and the Good Life," January 2004, DOI: 10.1007/1-4020-8095-6_45 <http://www8.informatik.umu.se/~acroon/Publicationer%20Anna/Stolterman.pdf>

36

看護学実習DX



バーチャル体験と看図アプローチを活用した成人看護学の学内実習展開の試み

藤田医科大学 保健衛生学部 看護学科
成人看護学 織田 千賀子



藤田医科大学
Copyright © FUJITA HEALTH UNIVERSITY. All rights reserved. 8

covid-19対応の実習による学習上の課題とVR体験による実習の補填

状況：成人看護学実習（周手術・クリティカル）の制限

	covid-19前の通常の陸地実習	covid-19対応の陸地実習
周手術	2週間：病棟実習、手術室見学実習（0.5日） ※受持ち患者の手術による観察に伴い、手術室、ICU・HCUで看護を経験する実習	1週間：病棟のみの実習（ICU・HCU・手術室での実習は不可） 1週間：学内実習
クリティカル	1週間：救命救急センターで、受持ち患者の看護の経験や見学をする実習	1週間：学内実習

課題：

- ・術直後～回復期に向けた看護の経験の機会を得られない
- ・術直後やクリティカルな状況にある患者のイメージの困難
- ・手術侵襲による生体反応・合併症は机上の空論のような認識

VR学習の目的：臨床現場を学内へ移行させた見学のような実習ではなく、自分身(看護者)として状況をとらえ看護人導く体験

- 1.術後を含めクリティカルな状況にある患者のイメージ化
- 2.既習知識（侵襲による生体反応や合併症）との関連付け
- 3.患者の状況(非言語メッセージ)から臨床推論
- 4.必要な看護について根拠に基づいた判断
- 5.全体の状況とフォアキャスト部分を往還し、看護実践の思考
6. ICUや救命救急センターの構造的特徴の理解

結果：

看護実践の実施には至らないが、時間をかけてリアルな体験することで、術直後やクリティカルな状況にある患者のイメージ化、臨床判断、興味味を帯びた生体反応・合併症の理解をすることができた。

バーチャル体験と看図アプローチによる実習補填の実際

ヘッドマウントディスプレイとPCを往還するVR体験から患者の状況を読み解き、看護を思考し深めることで、**あたかもICUで看護をしているような体験学習**

バーチャル体験に看図アプローチの技法を活用して、クリティカルな状況にある患者の状態を丁寧に読み解き、アセスメントし必要な看護について判断する。

※看図アプローチ：ピジュアルテキスト(写真や絵図)を「見る」ではなく「読むもの」として読み解いていく学習法



学習プロセス
看護770ページ1~4
学習課題
学生の学習状況

知的好奇心

2. 要素関連付け
(既存知識と関連付け)
根拠や目的

検索・想起

3. 外挿 (ビジュアル) にな
いものを検索

①患者の状態について根
拠つけて説明
②装着していると考えら
れる物とその理由

発見・探究

4. 言語化(文章化)
必要な観察と看護援助、
留意点

既知の知識に現実の状況を
重ねて新たに気づき
視野を広げて、更に探求
して看護を思考していた。

納得解

共有・討論

5. 全体交流・振り返り
相互交流により更に視野
を広め、ビジュアルデキ
ストと学習内容を根拠に
説明して討論していた。

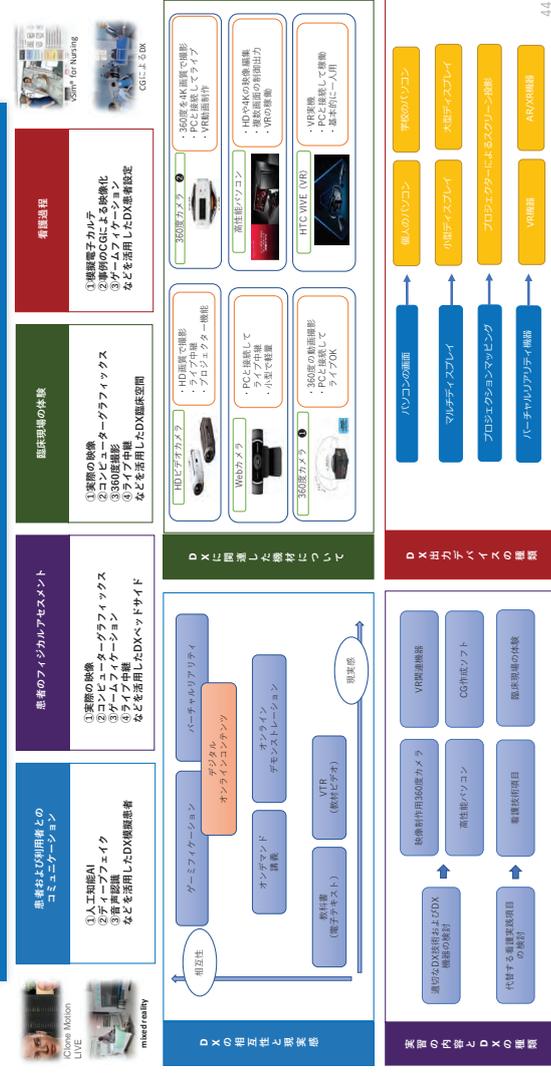
①細部までみて曖昧な部分
を明らかにし、情報を結
び付けて患者の状態を判
断していた
②既存知識と関連付けて装
着物を予測していた。

実習経験や既存知識を想起
する一方、知識不足を実感
していた。
ネット検索などを駆使して、
新たに発見していた。

Society 5.0時代の
看護学教育のDXとは
追加発言
これからの臨地実習DX



看護教育における臨地実習の代替DXの主な組み立て



DXを活用した代替実習の学習環境による段階的ステップ



JANPU 看護学教育質向上委員会

委員長	東北大学大学院	吉沢 豊子
	千葉大学大学院	石橋 みゆき
	日本赤十字豊田看護大学	鎌倉 やよい
	埼玉県立大学	善生 まり子
	聖路加国際大学	縄 秀志
	大阪府立大学	細田 泰子
	金沢医科大学	前田 修子
	広島大学大学院	森山 美知子

日本看護系大学協議会 看護学教育質向上委員会
2020年度 COVID-19に伴う看護学実習への影響調査
A調査・B調査報告書

編集・発行

一般社団法人 日本看護系大学協議会
〒101-0047
東京都千代田区内神田 2-11-5 大沢ビル 6階
TEL : 03-6206-9451、FAX : 03-6206-9452

印刷

協和印刷工業株式会社
〒136-0073
東京都江東区北砂 5-16-12
TEL : 03(6659)8131 (代表)
FAX : 03(6659)8132